

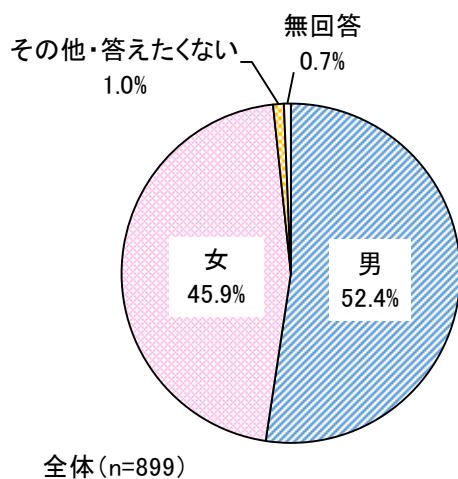
2. 子供アンケート結果

※属性別の分析では、生活状況別や世帯別の分析を行うため、子供と保護者がマッチングできたサンプルのみを対象として取り扱う。

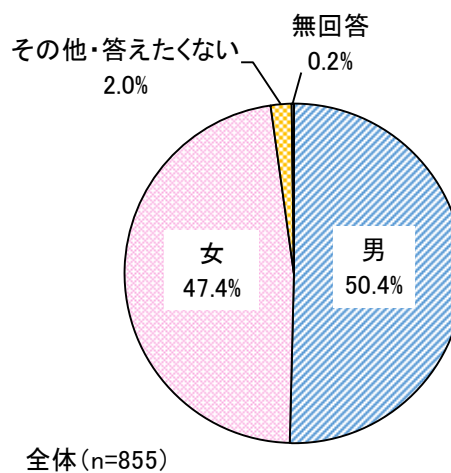
(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

【小学5年生】

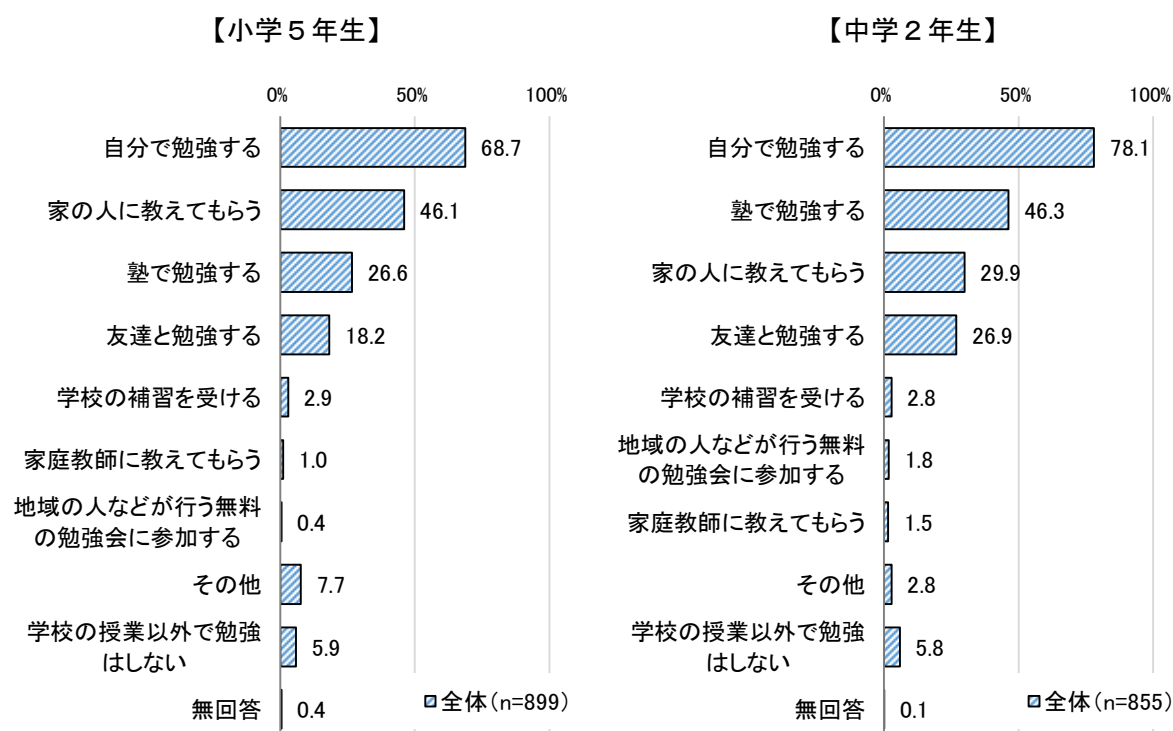


【中学2年生】



(2) 学習習慣

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)



【全体】

小学5年生、中学2年生ともに、「自分で勉強する」の割合が7割前後と高くなっている。次いで、小学5年生では「家の人に教えてもらう」(46.1%)、「塾で勉強する」(26.6%)、中学2年生では「塾で勉強する」(46.3%)、「家の人に教えてもらう」(29.9%)の順で続いている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-1参照)

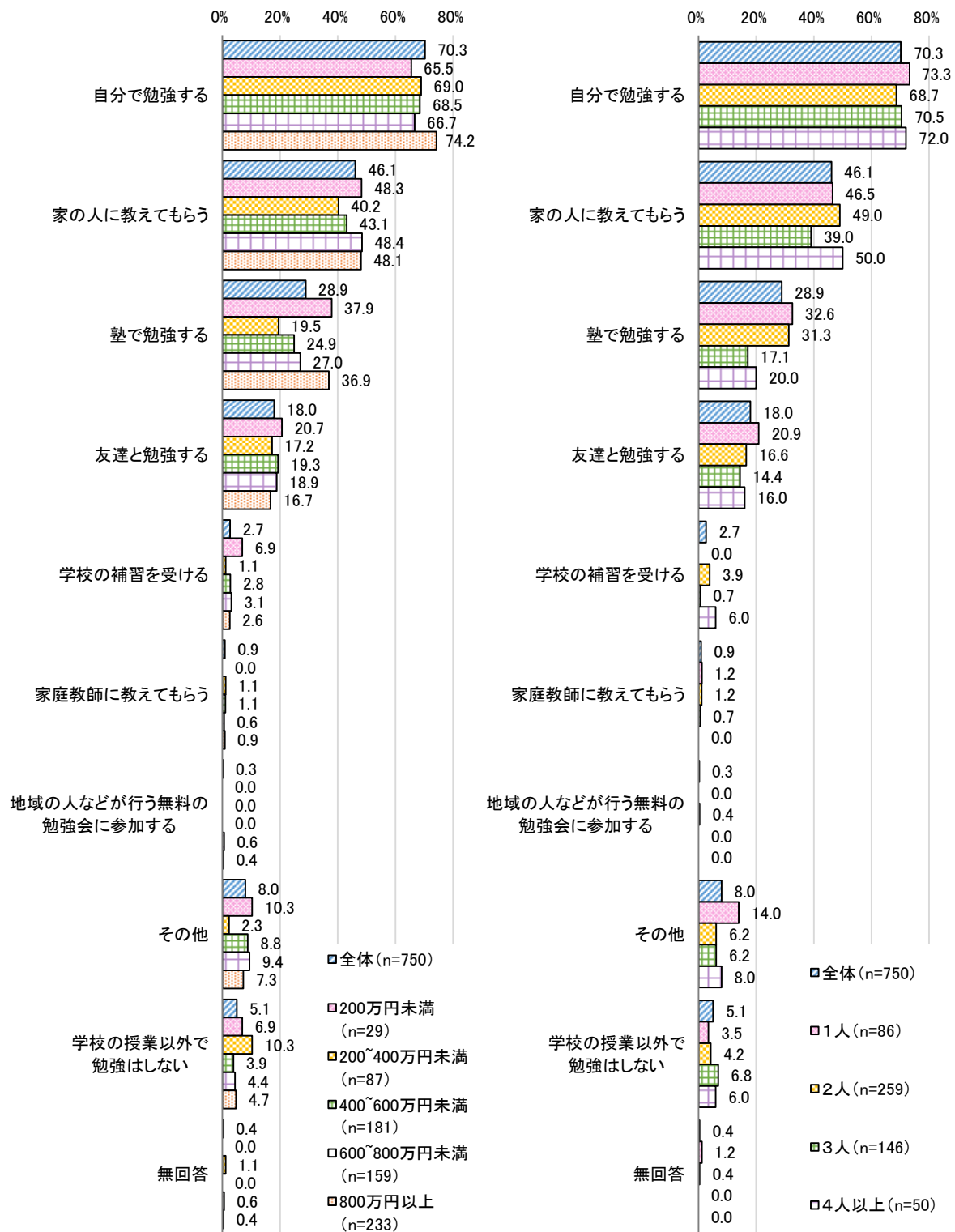
世帯年収別にみると、小学5年生では200万円以上の世帯では世帯年収が低いほど「塾で勉強する」の割合が低い傾向にある。中学2年生では200万円未満の世帯で「家の人に教えてもらう」(13.3%)の割合が低く、「友達と勉強する」(36.7%)の割合が高い。

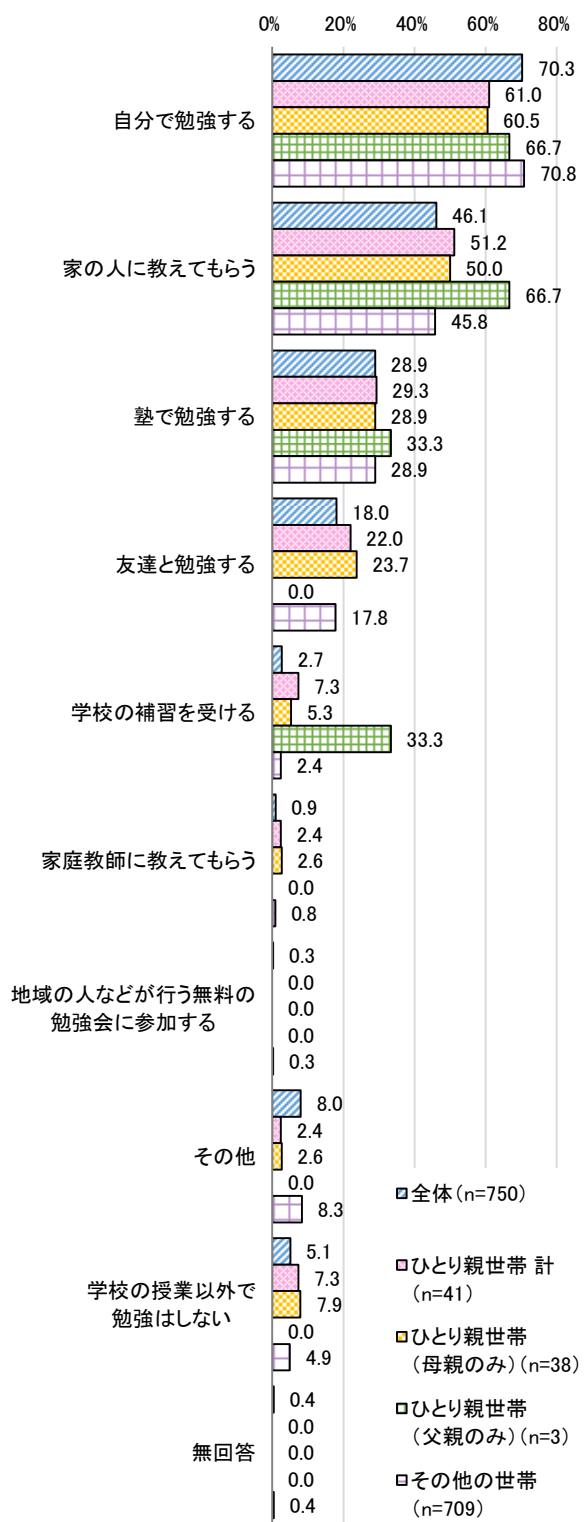
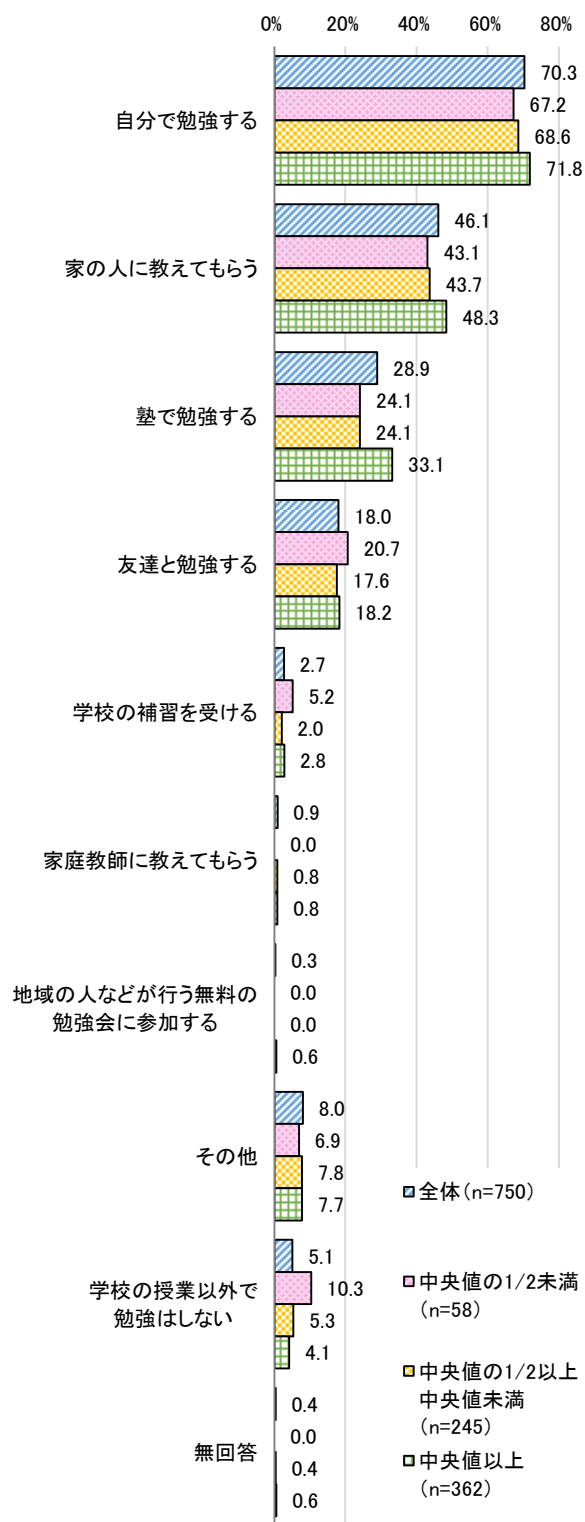
世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が多いほど「塾で勉強する」「友達と勉強する」の割合が低い傾向にある。中学2年生では子供の人数が1人の世帯で「塾で勉強する」(61.8%)の割合が高い。

生活状況別にみると、小学5年生、中学2年生ともに等価世帯収入が低いほど「塾で勉強する」や「家の人に教えてもらう」の割合が低い傾向にある。

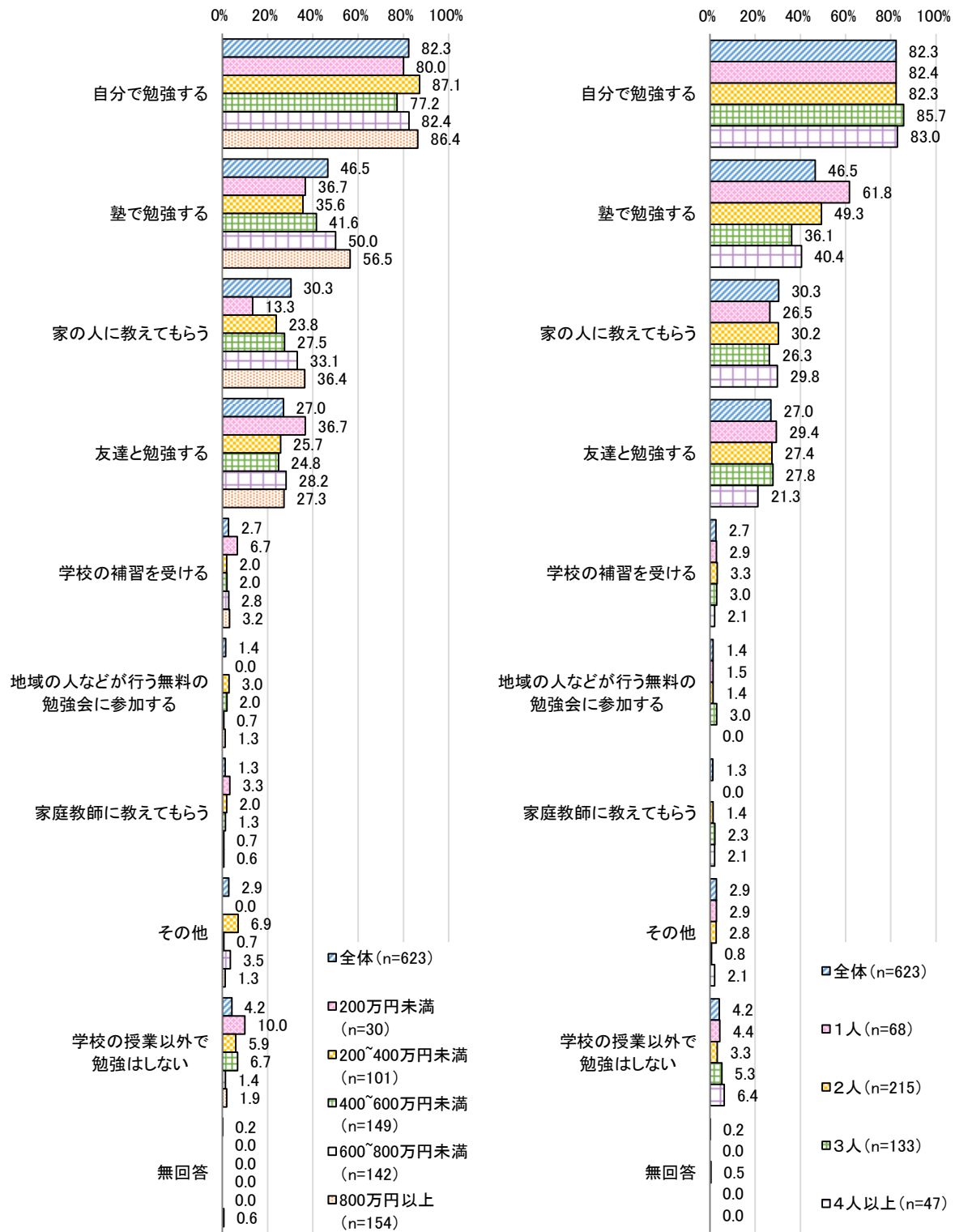
世帯別にみると、ひとり親世帯でその他の世帯より「自分で勉強する」の割合が低い。中学2年生ではひとり親世帯でその他の世帯より「塾で勉強する」の割合が低い。

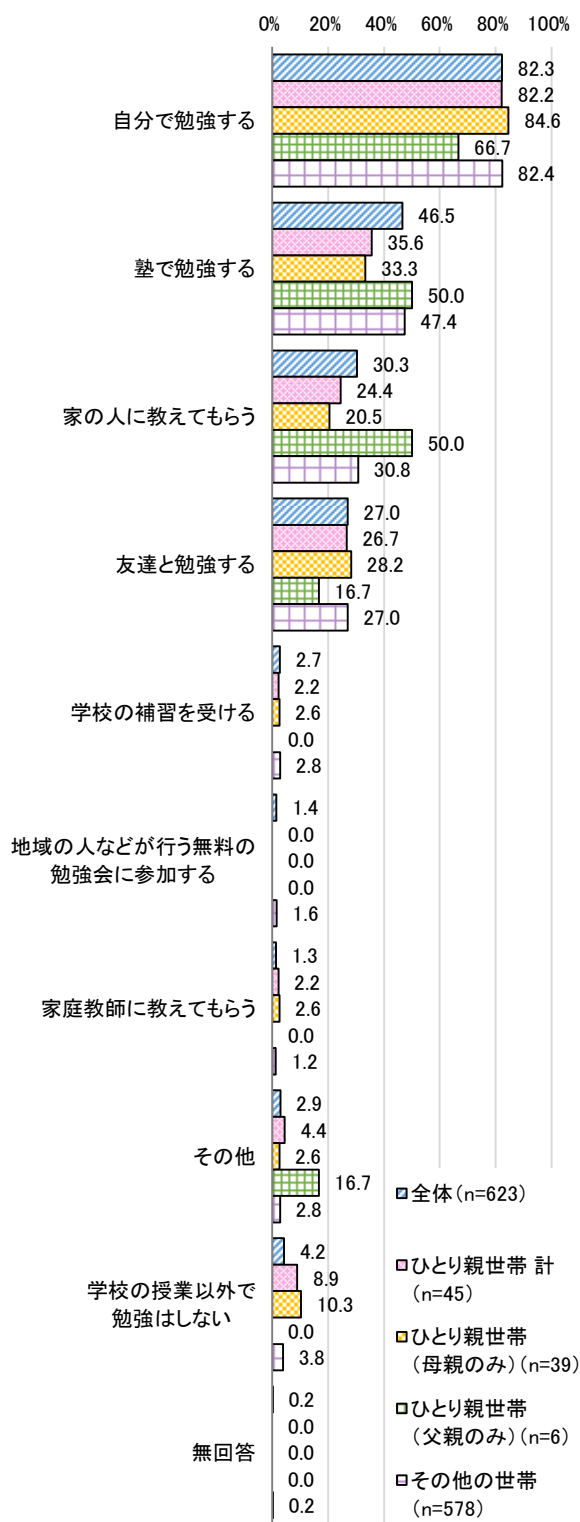
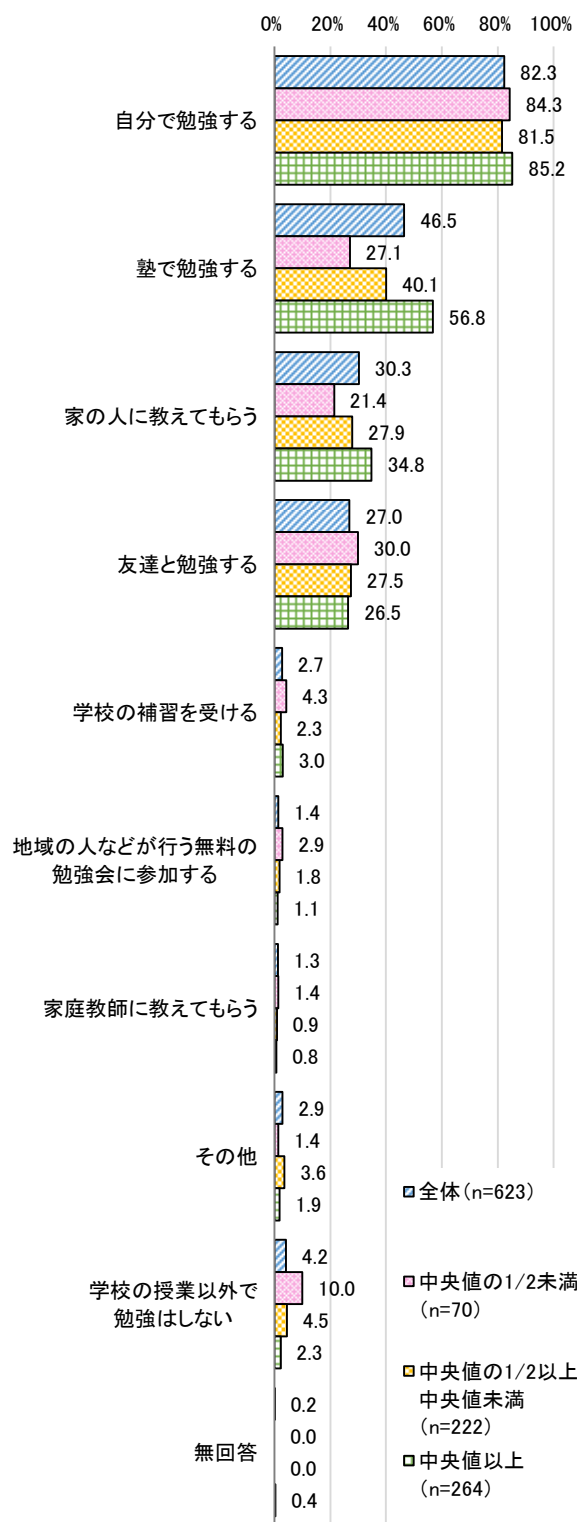
図表Ⅱ-2-1 学習習慣 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】





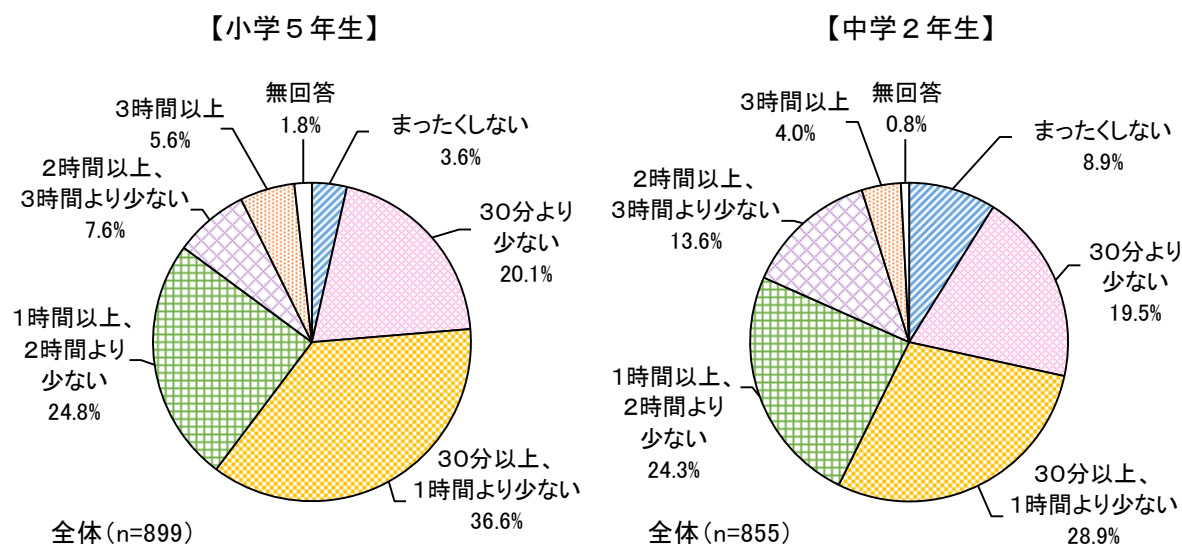
図表Ⅱ-2-1 学習習慣 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】





問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 ※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a, b それぞれについて、
 あてはまるもの1つに○)

a) 学校がある日(月～金曜日)



【全体】

小学5年生、中学2年生ともに、「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高くなっている。次いで、「1時間以上、2時間より少ない」、「30分より少ない」の順で続いている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-2 参照)

世帯年収別にみると、小学5年生では200～400万円未満の世帯で他の世帯より「30分以上、1時間より少ない」(42.5%)の割合が高い。中学2年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「まったくしない」(16.7%)の割合が高い。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では大きな差はみられない。中学2年生では子供の人数が4人以上の世帯で「まったくしない」(19.1%)の割合が高い。

生活状況別にみると、小学5年生では「中央値の1/2以上中央値未満」で「3時間以上」(1.6%)の割合が低い。中学2年生では等価世帯収入が低いほど「まったくしない」の割合が高い傾向にある。

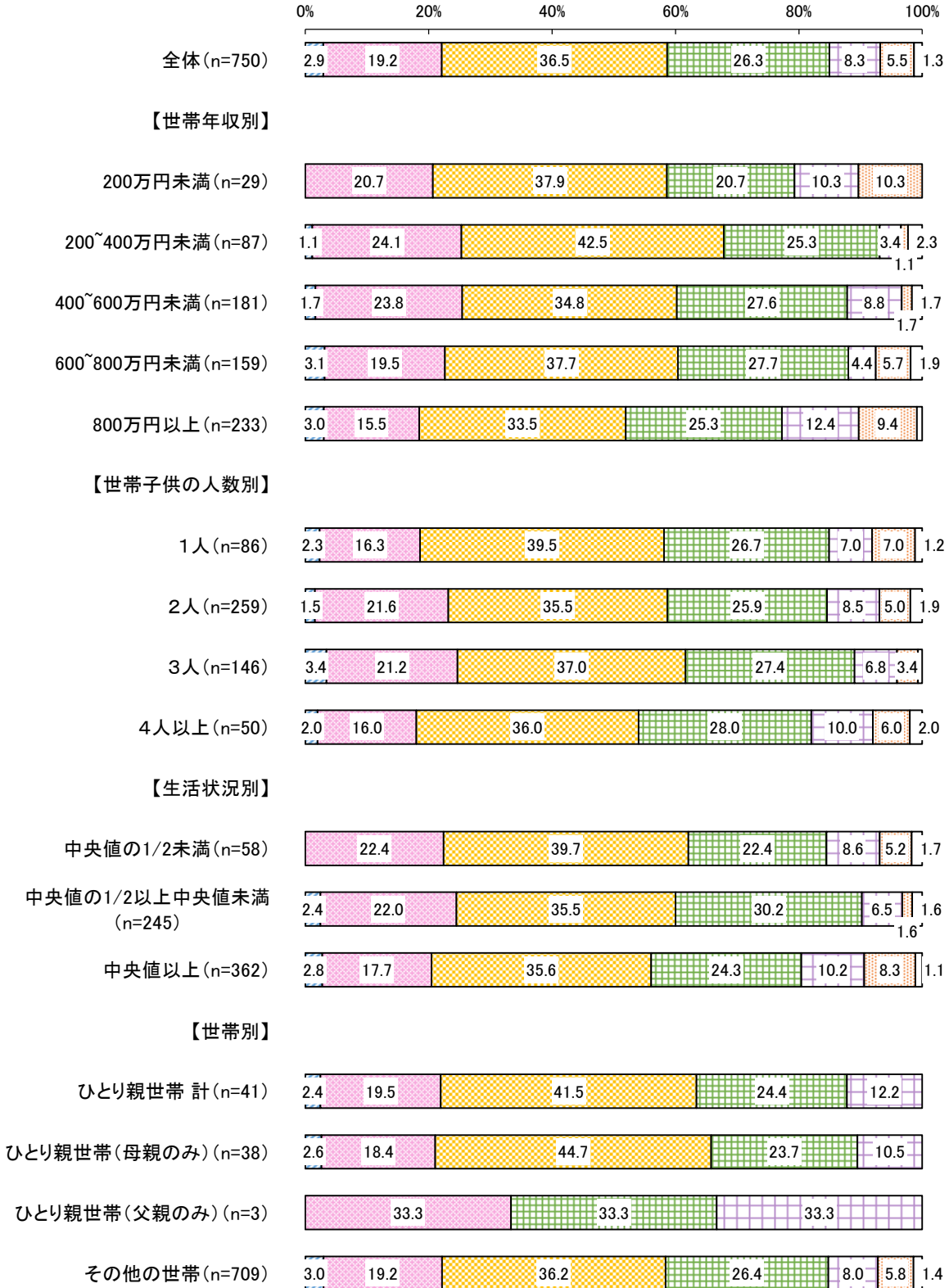
世帯別にみると、小学5年生では大きな差はみられない。中学2年生ではひとり親世帯ではその他の世帯より勉強時間が短い傾向にある。

図表Ⅱ-2-2 学校がある日の勉強時間 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

- まったくしない
- 30分より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 3時間以上
- 無回答

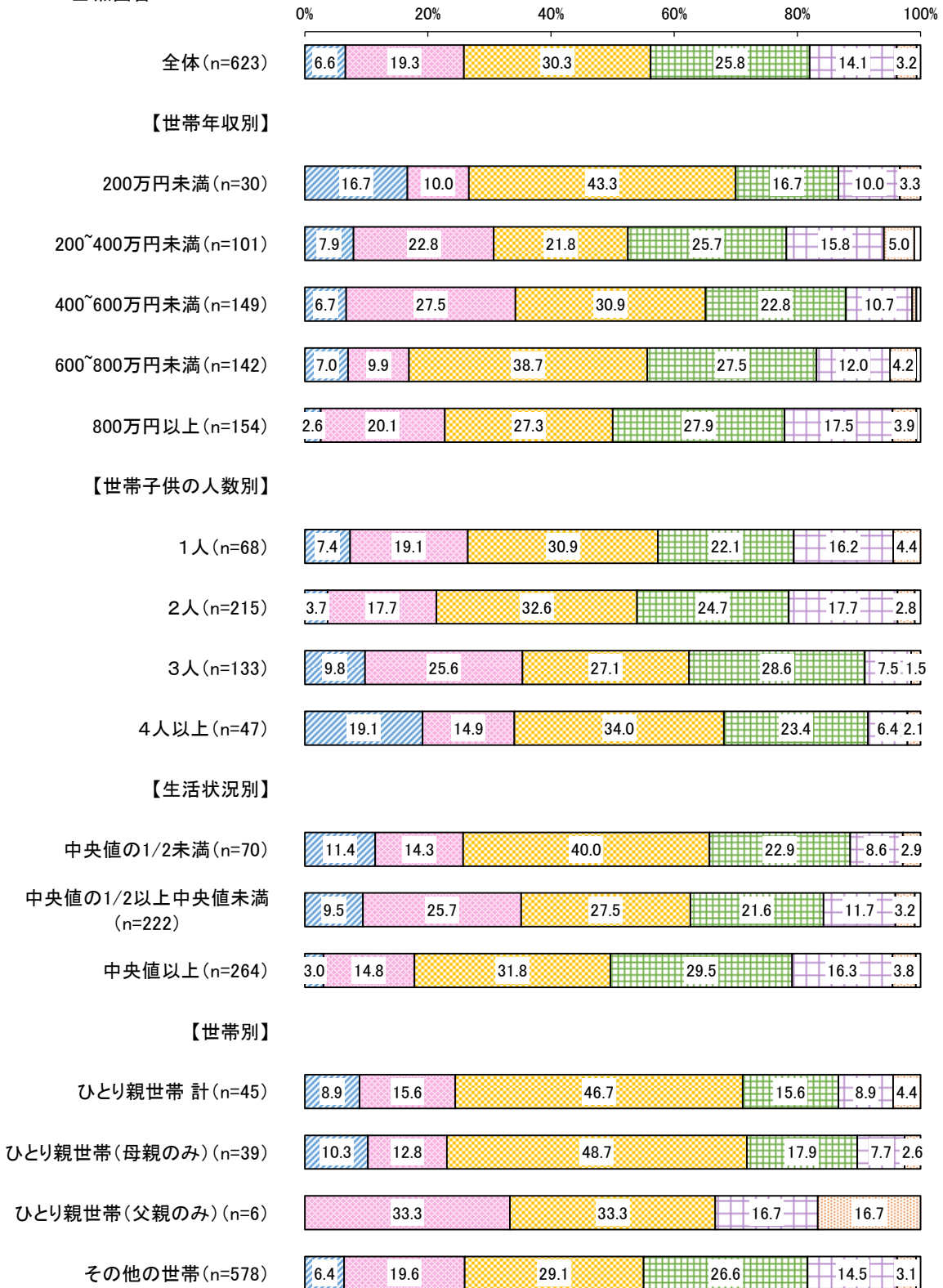


図表Ⅱ-2-2 学校がある日の勉強時間 2/2

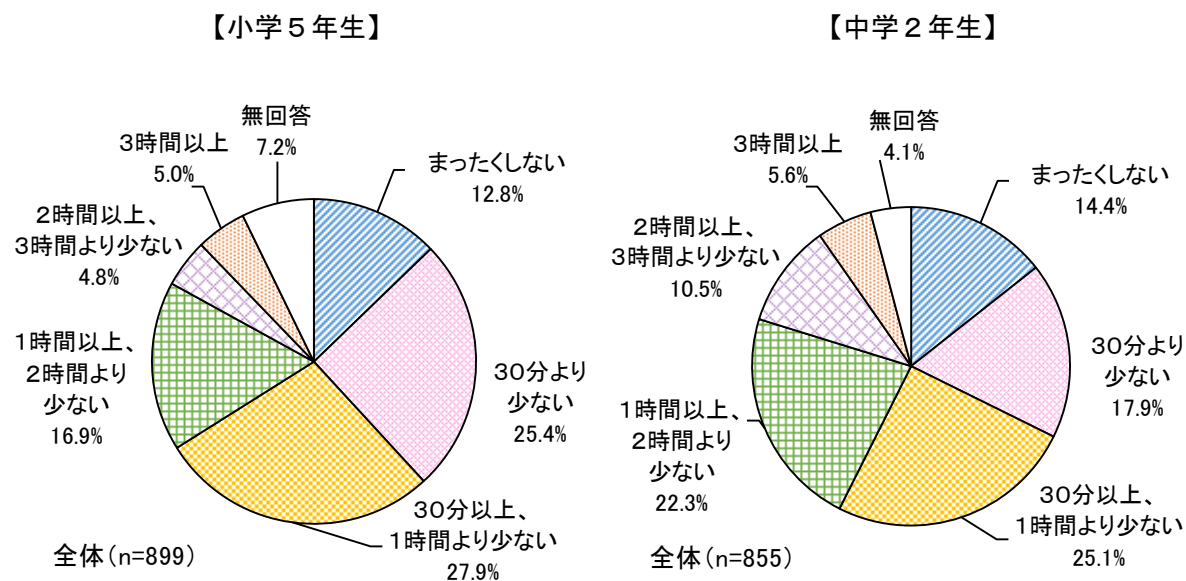
(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

- まったくしない
- 30分より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 3時間以上
- 無回答



b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）



【全体】

小学5年生、中学2年生ともに、「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高くなっている。次いで、小学5年生では「30分より少ない」(25.4%)、「1時間以上、2時間より少ない」(16.9%)の順で続いている。中学2年生では「1時間以上、2時間より少ない」(22.3%)、「30分より少ない」(17.9%)の順で続いている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-3参照)

世帯年収別にみると、小学5年生では200～400万円未満の世帯で他の世帯より勉強時間が短い。中学2年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「まったくしない」(20.0%)の割合が高い。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が多いほど30分未満の割合が高い傾向にある。中学2年生では子供の人数が多いほど勉強時間が短い傾向にある。

生活状況別にみると、小学5年生では等価世帯収入が低いほど1時間以上勉強する割合が低い。中学2年生では等価世帯収入が低いほど「まったくしない」の割合が高い傾向にある。

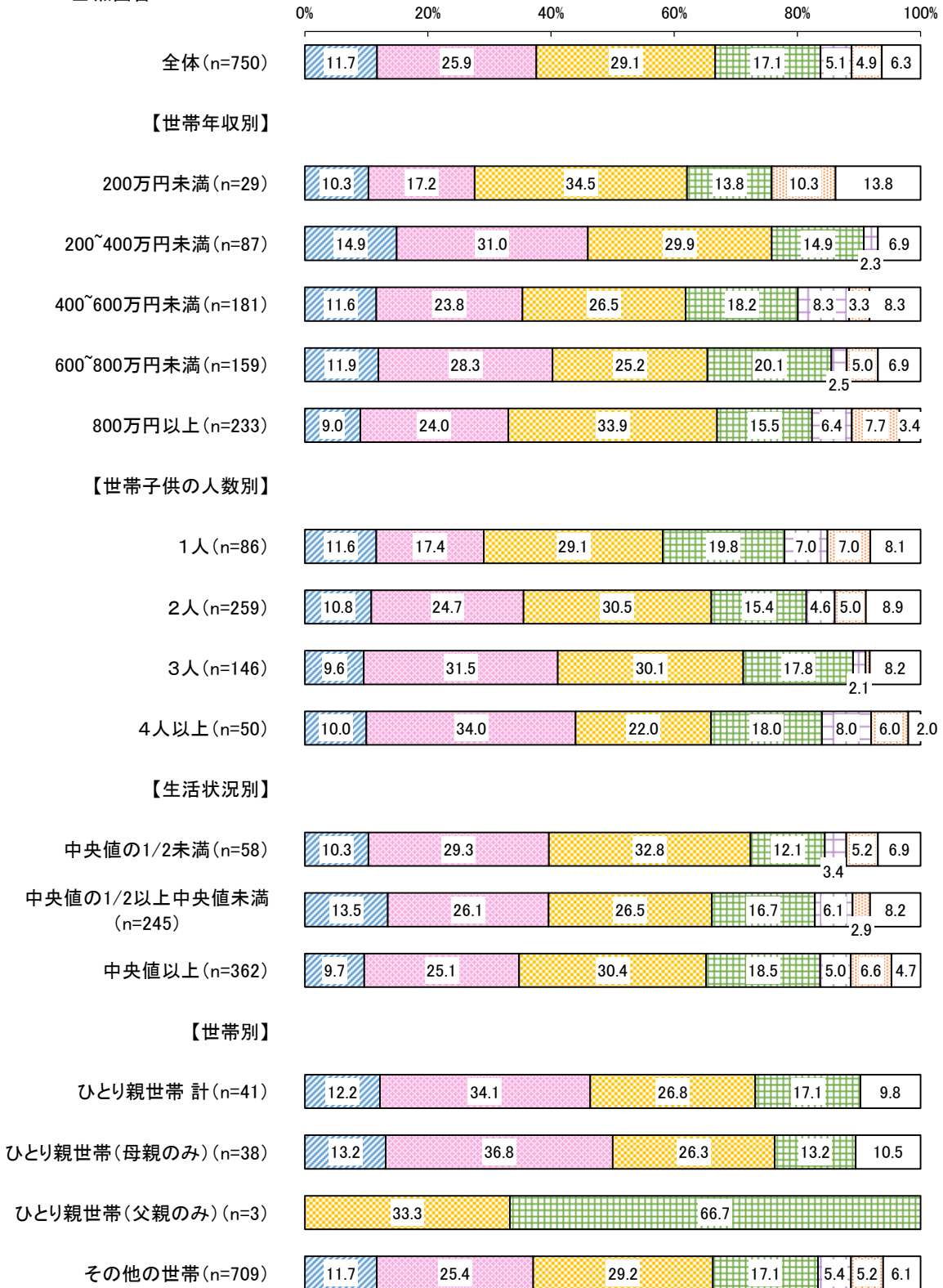
世帯別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯ではその他の世帯より勉強時間が短い傾向にある。

図表Ⅱ-2-3 学校がない日の勉強時間 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

- まったくしない
- 30分より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 3時間以上
- 無回答

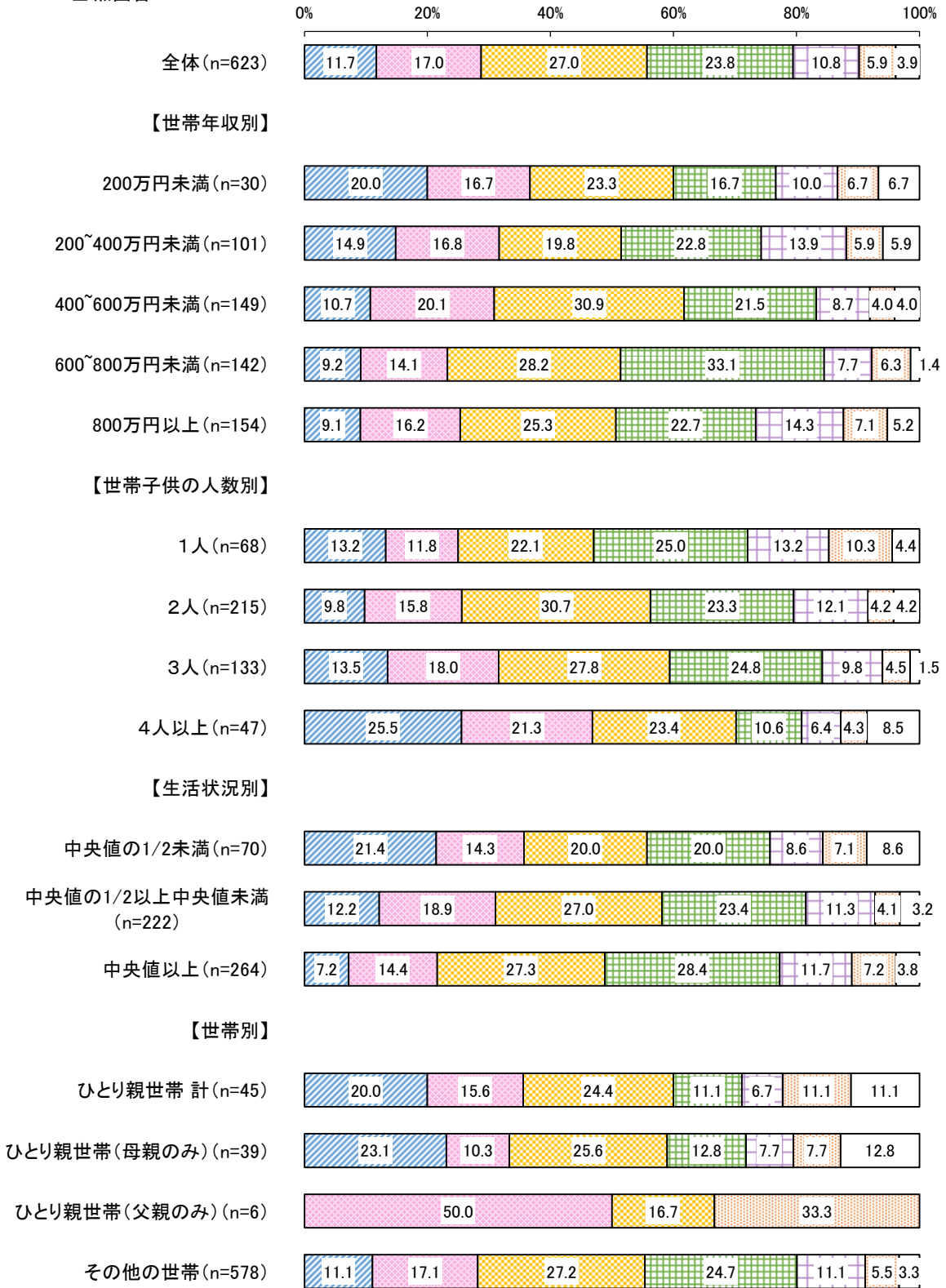


図表Ⅱ-2-3 学校がない日の勉強時間 2/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

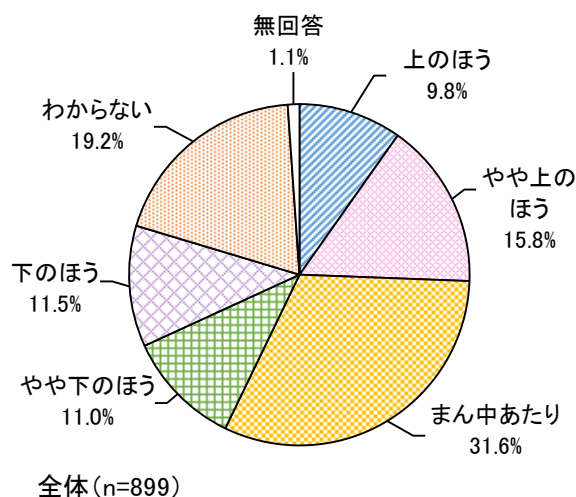
- まったくしない
- 30分より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 3時間以上
- 無回答



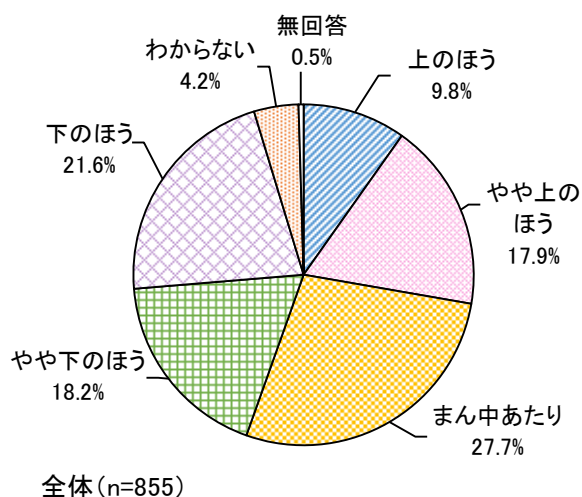
(3) 学習成績

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

【小学5年生】



【中学2年生】



【全体】

小学5年生、中学2年生ともに、「まん中あたり」の割合が3割前後で高くなっている。次いで、小学5年生では「わからない」(19.2%)、「やや上のほう」(15.8%)、「下のほう」(11.5%)、中学2年生では「下のほう」(21.6%)、「やや下のほう」(18.2%)、「やや上のほう」(17.9%)の順で続いている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-4 参照)

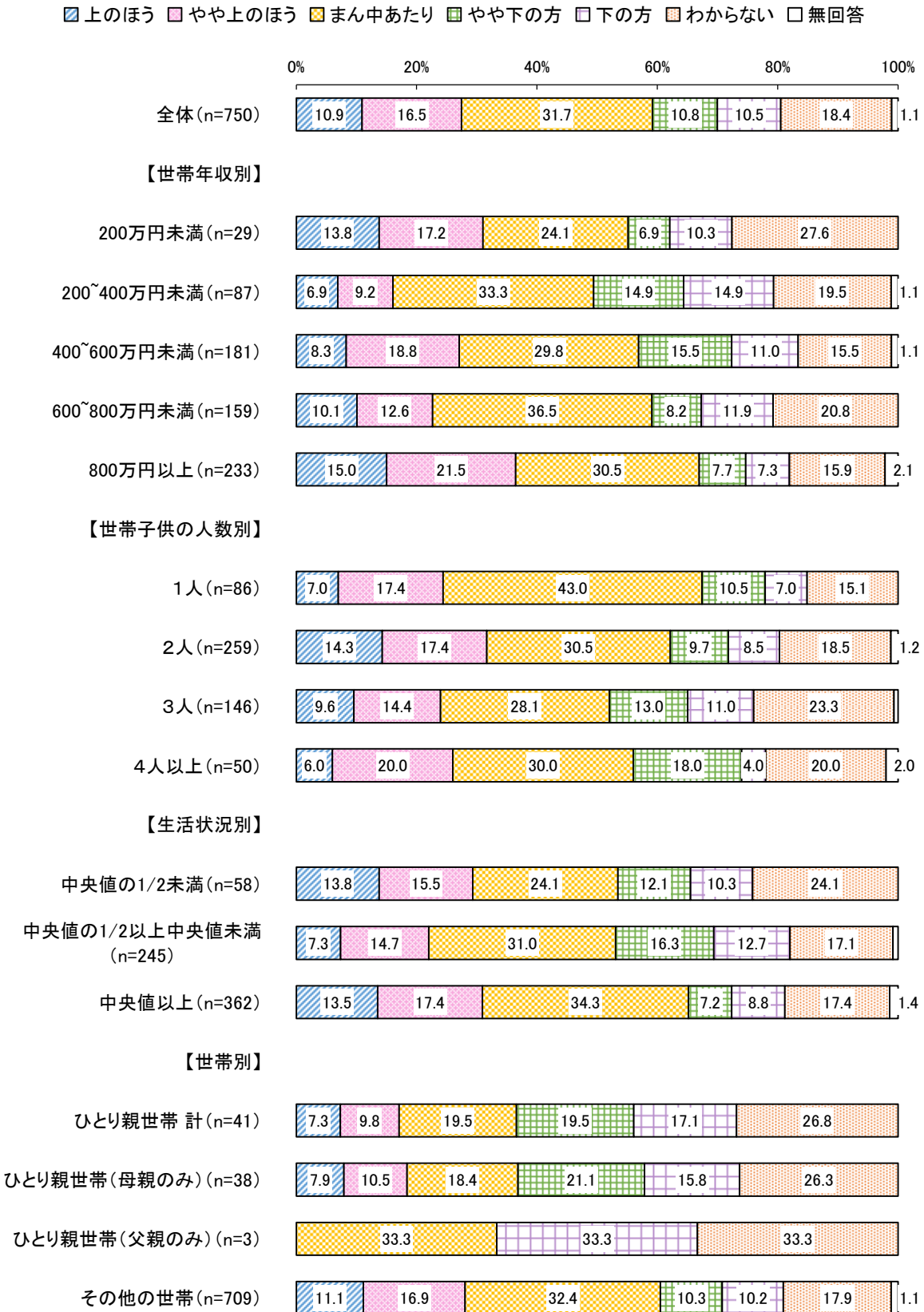
世帯年収別にみると、小学5年生では200~400万円未満の世帯で他の世帯より「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が低い。中学2年生では世帯年収が低いほど「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が低く、「下のほう」と「やや下のほう」を合わせた割合が高い傾向にある。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が2人の世帯で他の世帯より「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が高い。中学2年生では子供の人数が多いほど「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が低く、「下のほう」と「やや下のほう」を合わせた割合が高い傾向にある。

生活状況別にみると、小学5年生では「中央値の1/2以上中央値未満」で「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が低く、中学2年生では等価世帯収入が低いほど「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が低い。

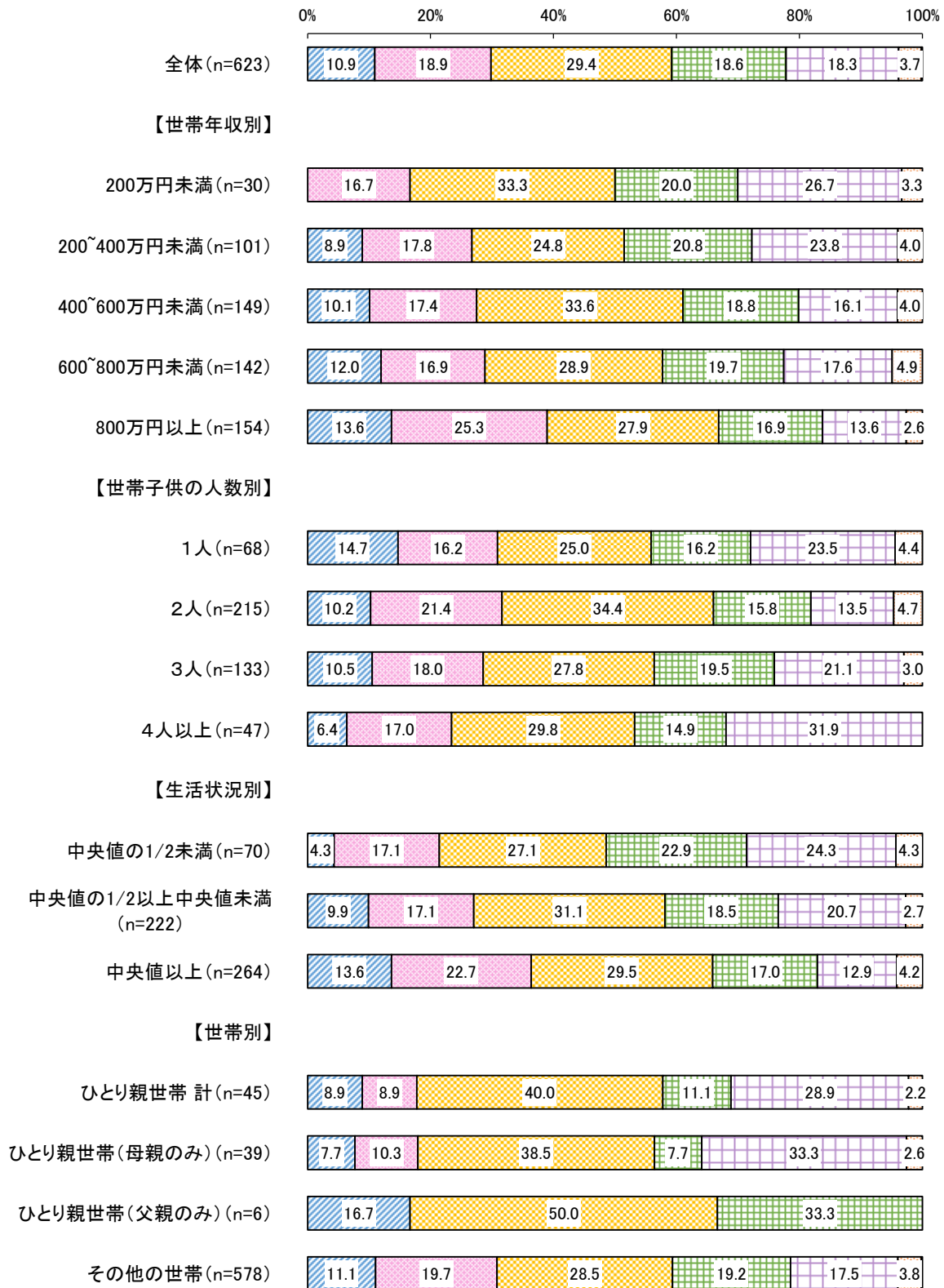
世帯別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯ではその他の世帯より「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合が低く、「下のほう」と「やや下のほう」を合わせた割合が高い。

図表Ⅱ-2-4 学習成績 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】



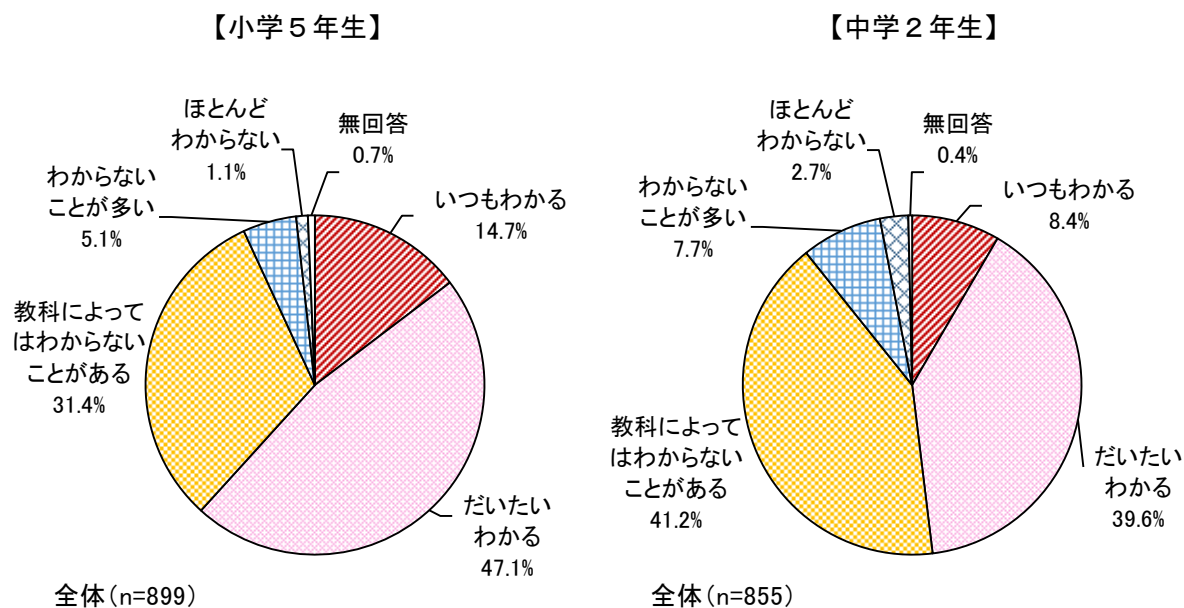
図表Ⅱ-2-4 学習成績 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】

■上のほう ■やや上のほう ■まん中あたり ■やや下の方 ■下の方 ■わからない □無回答



(4) 授業の理解度

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)



【全体】

小学5年生では、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が61.7%、「教科によってはわからないことがある」が31.4%、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合が6.2%となっている。中学2年生では、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が48.1%、「教科によってはわからないことがある」が42.1%、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合が10.4%となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-5 参照)

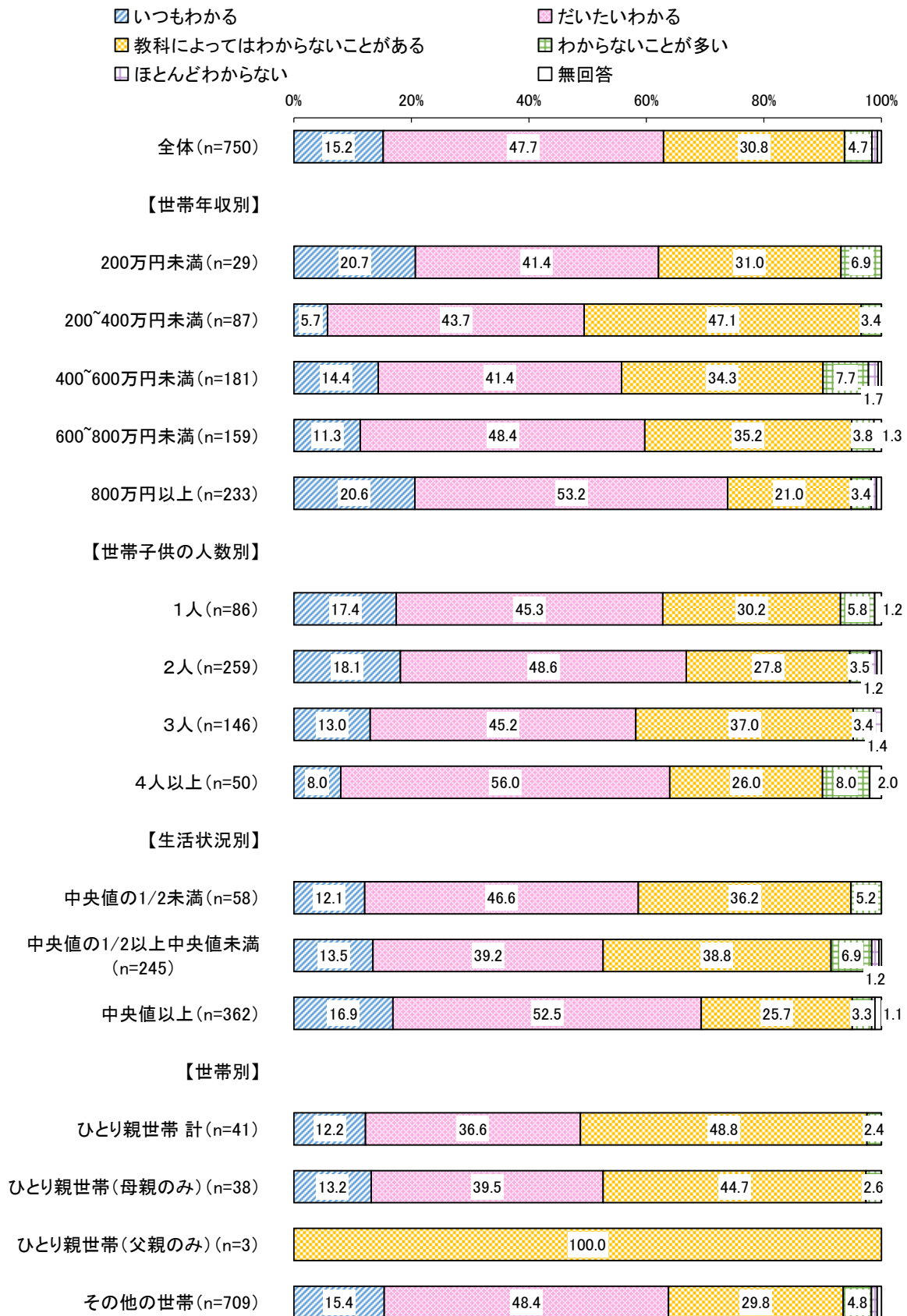
世帯年収別にみると、小学5年生では200～400万円未満の世帯で他の世帯より「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が低い。中学2年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が低い。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、子供の人数が4人以上の世帯で他の世帯より「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合が高い。

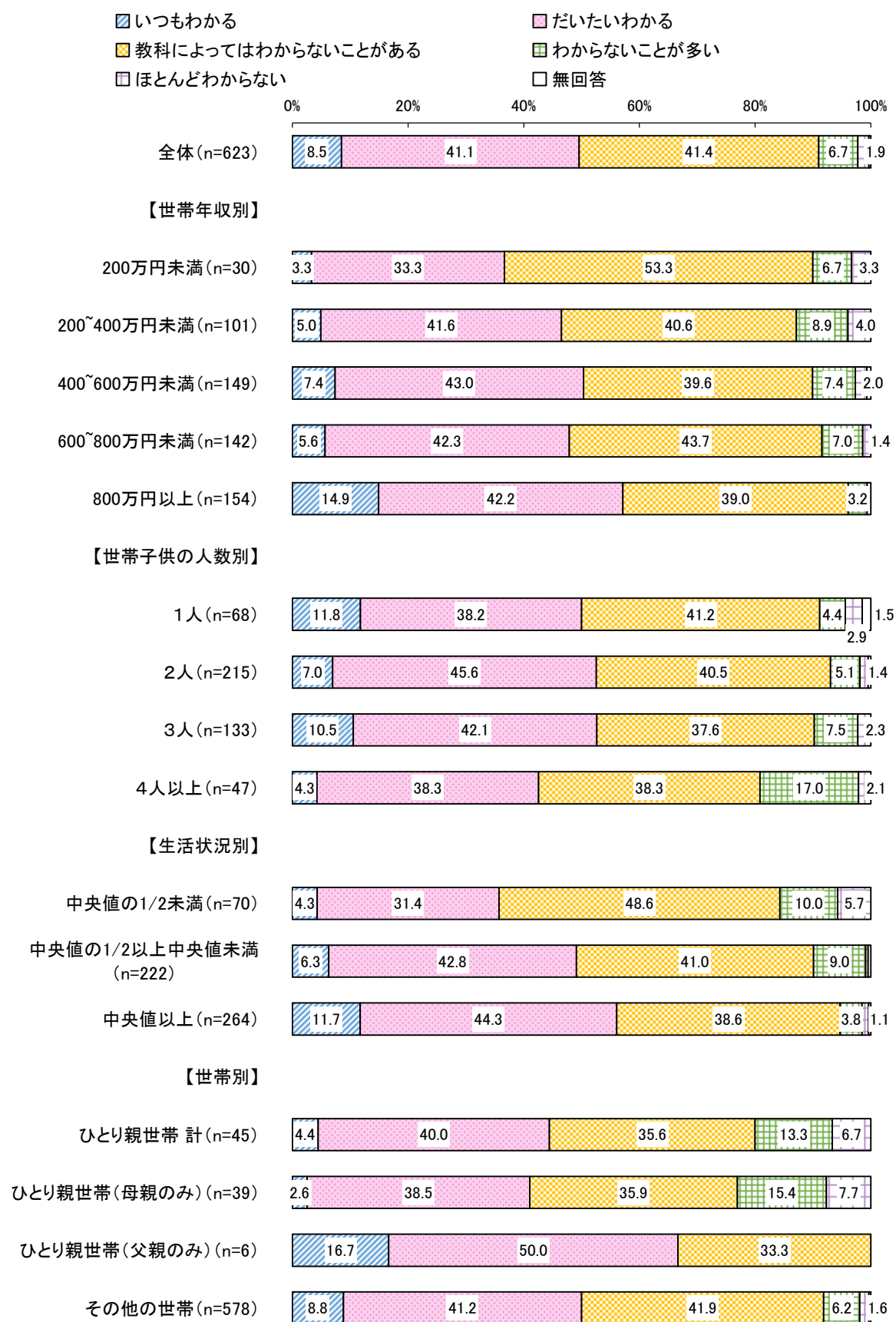
生活状況別にみると、小学5年生では「中央値以上」で「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が高い。中学2年生では等価世帯収入が低いほど「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が低い。

世帯別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯ではその他の世帯より「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が低い。

図表Ⅱ-2-5 授業の理解度 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】

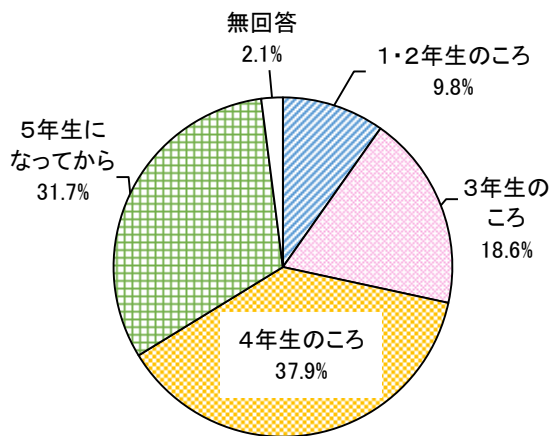


図表Ⅱ-2-5 授業の理解度 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】



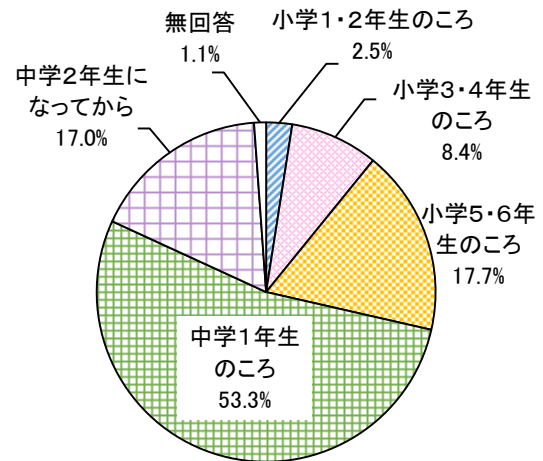
問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

【小学5年生】



全体(n=338)

【中学2年生】



全体(n=441)

【全体】

小学5年生では、「4年生のころ」(37.9%)の割合が最も高く、次いで「5年生になってから」(31.7%)、「3年生のころ」(18.6%)となっている。中学2年生では、「中学1年生のころ」(53.3%)の割合が最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」(17.7%)、「中学2年生になってから」(17.0%)となっている。

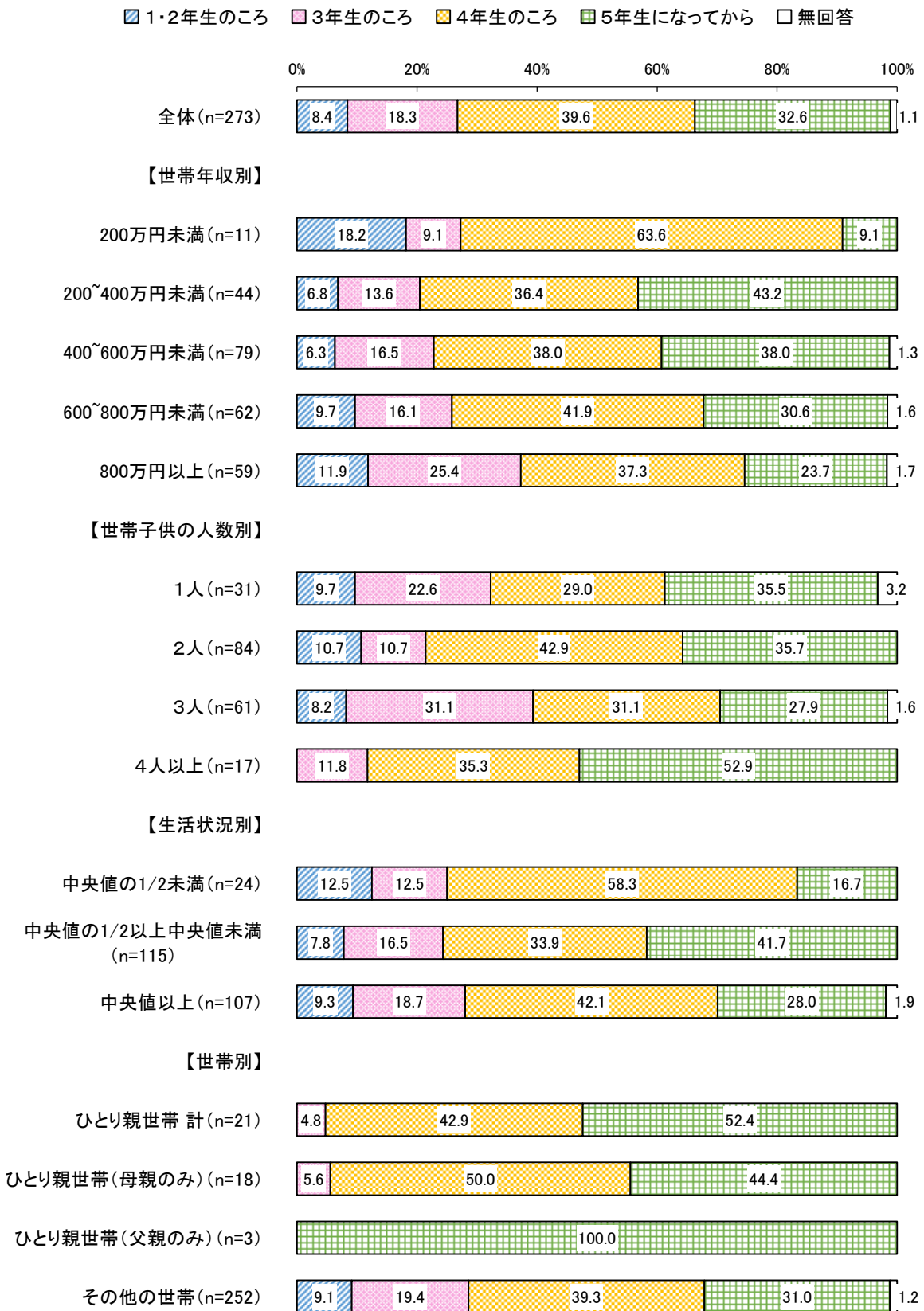
【属性別】(図表Ⅱ-2-6参照)

いずれの属性でも、小学5年生では小学4年生以降、中学2年生では中学1年生以降で授業がわからないことがあるようになった割合が過半数を占めている。

図表Ⅱ-2-6 授業がわからなくなった時期 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

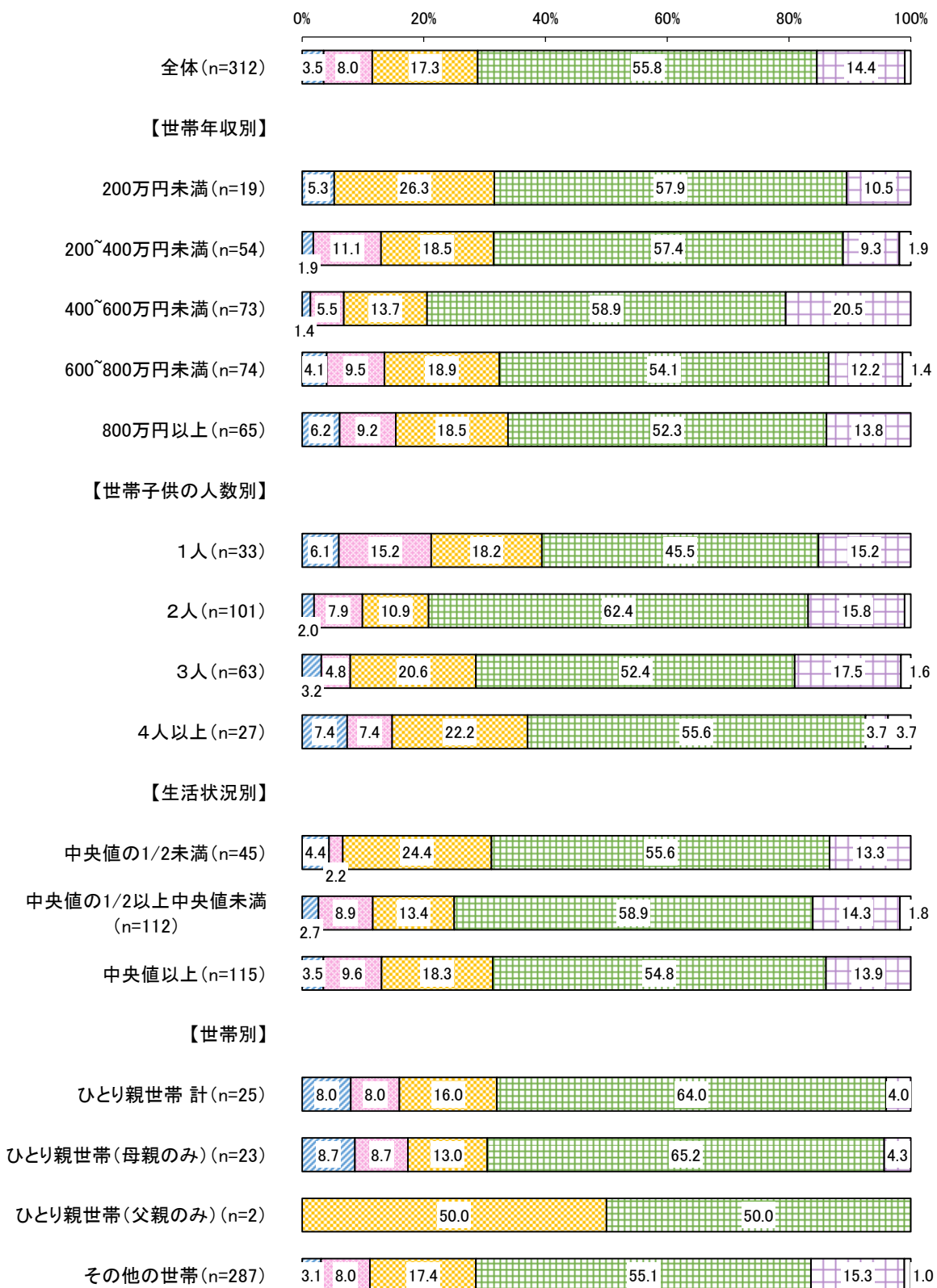


図表Ⅱ-2-6 授業がわからなくなった時期 2/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

■ 小学1・2年生のころ ■ 小学3・4年生のころ ■ 小学5・6年生のころ
■ 中学1年生のころ ■ 中学2年生になってから □ 無回答

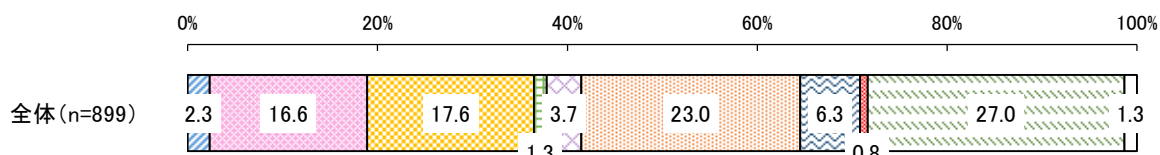


(5) 進学希望

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

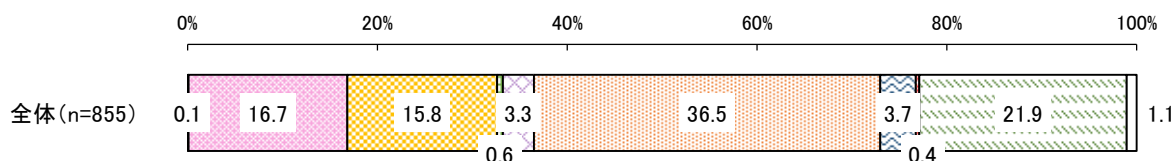
【小学5年生】

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- まだわからない
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- その他
- 無回答



【中学2年生】

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- まだわからない
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- その他
- 無回答



【全体】

小学5年生では、「わからない」(27.0%)の割合が最も高く、次いで「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(23.0%)、「中学、高校、専門学校」(17.6%)、「中学、高校」(16.6%)となっている。中学2年生では、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(36.5%)の割合が最も高く、次いで「わからない」(21.9%)、「中学、高校」(16.7%)、「中学、高校、専門学校」(15.8%)となっている。

【属性別】（図表Ⅱ-2-7 参照）

世帯年収別にみると、小学5年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「中学、高校」の割合が高い。中学2年生では世帯年収が低いほど「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が低い傾向にある。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が多いほど「中学、高校」「中学、高校、専門学校」の割合が高い傾向にある。中学2年生では子供の3人の世帯で他の世帯より「中学、高校」の割合が高い傾向にある。

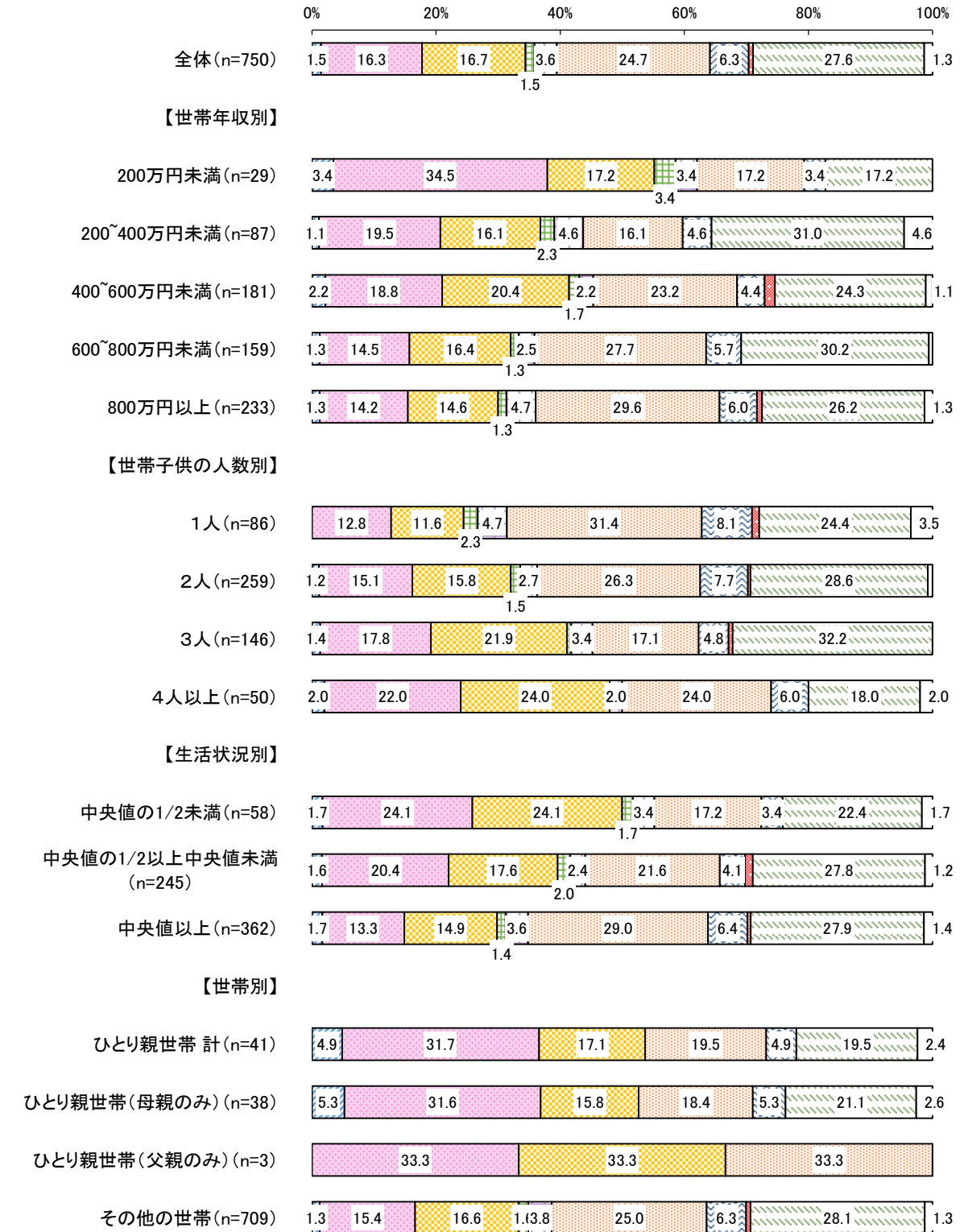
生活状況別にみると、小学5年生、中学2年生ともに等価世帯収入が低いほど「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が低い傾向にある。

世帯別にみると、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯ではその他の世帯より「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が低い。

図表Ⅱ-2-7 進学希望 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

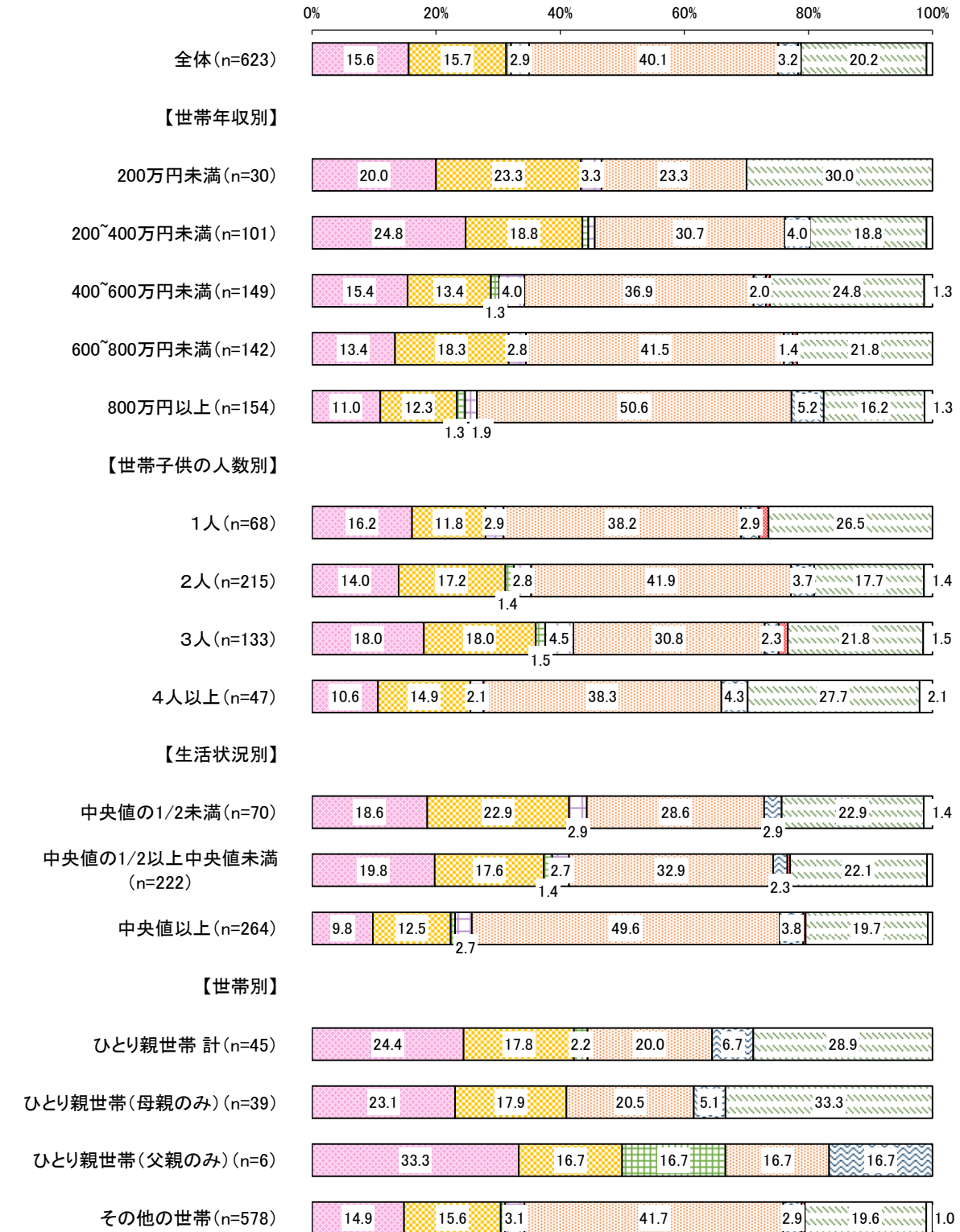
- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- その他
- まだわからない
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 無回答



図表Ⅱ-2-7 進学希望 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

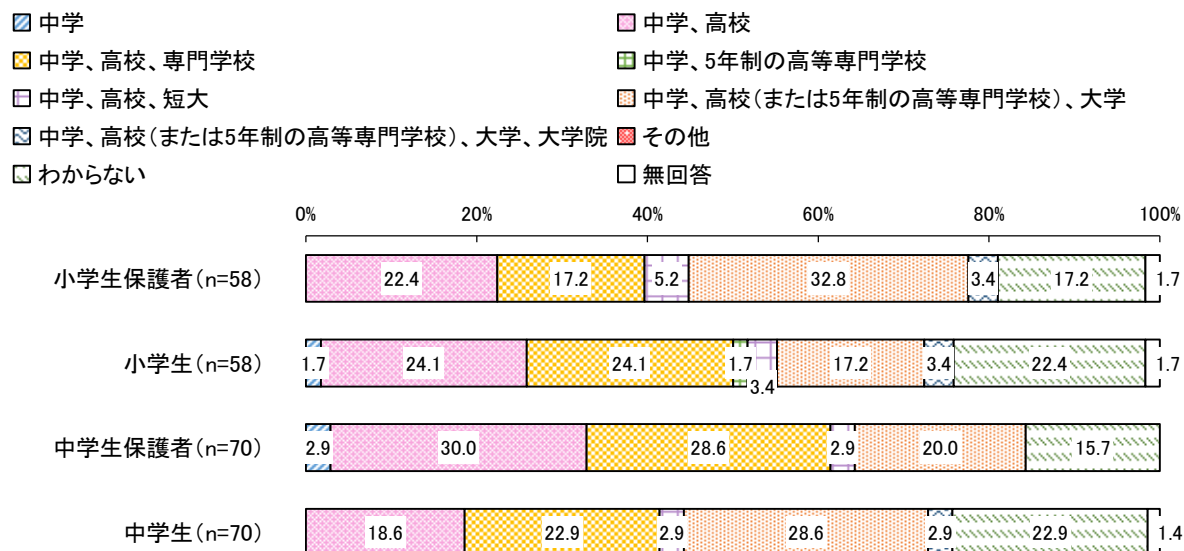
- 中学
- 中学、高校
- 中学、高校、専門学校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- その他
- まだわからない
- 無回答



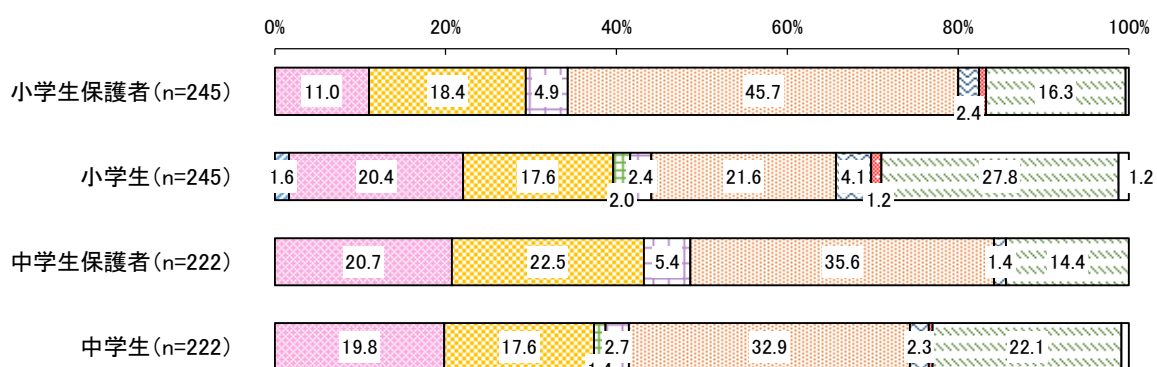
※ 生活状況別 保護者との進学希望の差

保護者との進学希望の差は、小学5年生では生活状況に関係なく、子どもより保護者の方が「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」までの進学を希望している割合が高い。中学2年生では「中央値の1/2未満」で保護者より子どもの方が「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」までの進学を希望している割合が高くなっている。

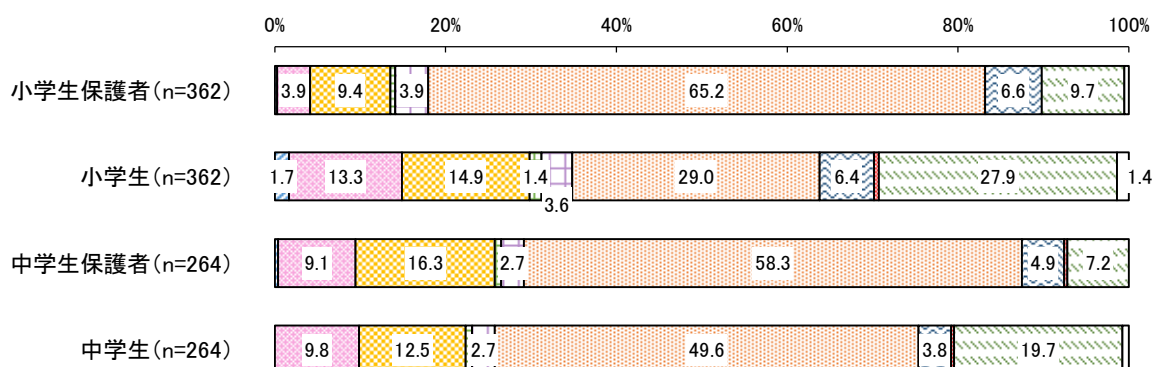
【中央値の1/2未満】



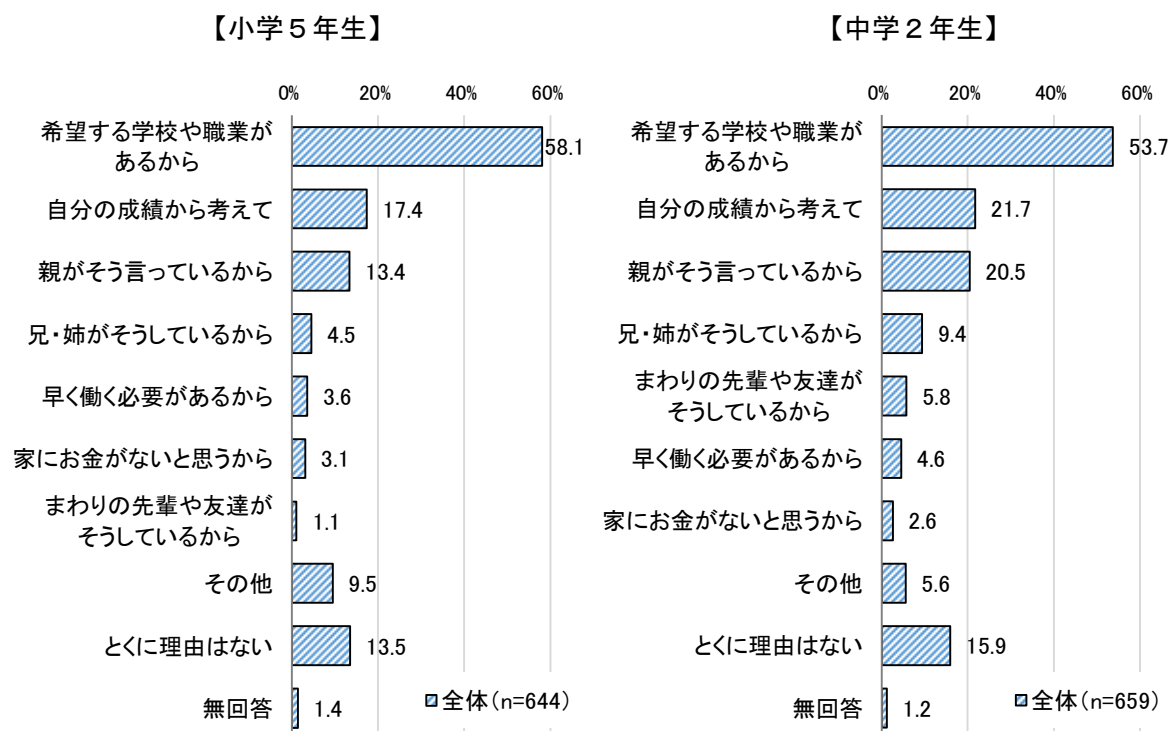
【中央値の1/2以上中央値未満】



【中央値以上】



問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)



【全体】

小学5年生、中学2年生ともに、「希望する学校や職業があるから」の割合が5割以上と高くなっている。次いで「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」の順となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-8 参照)

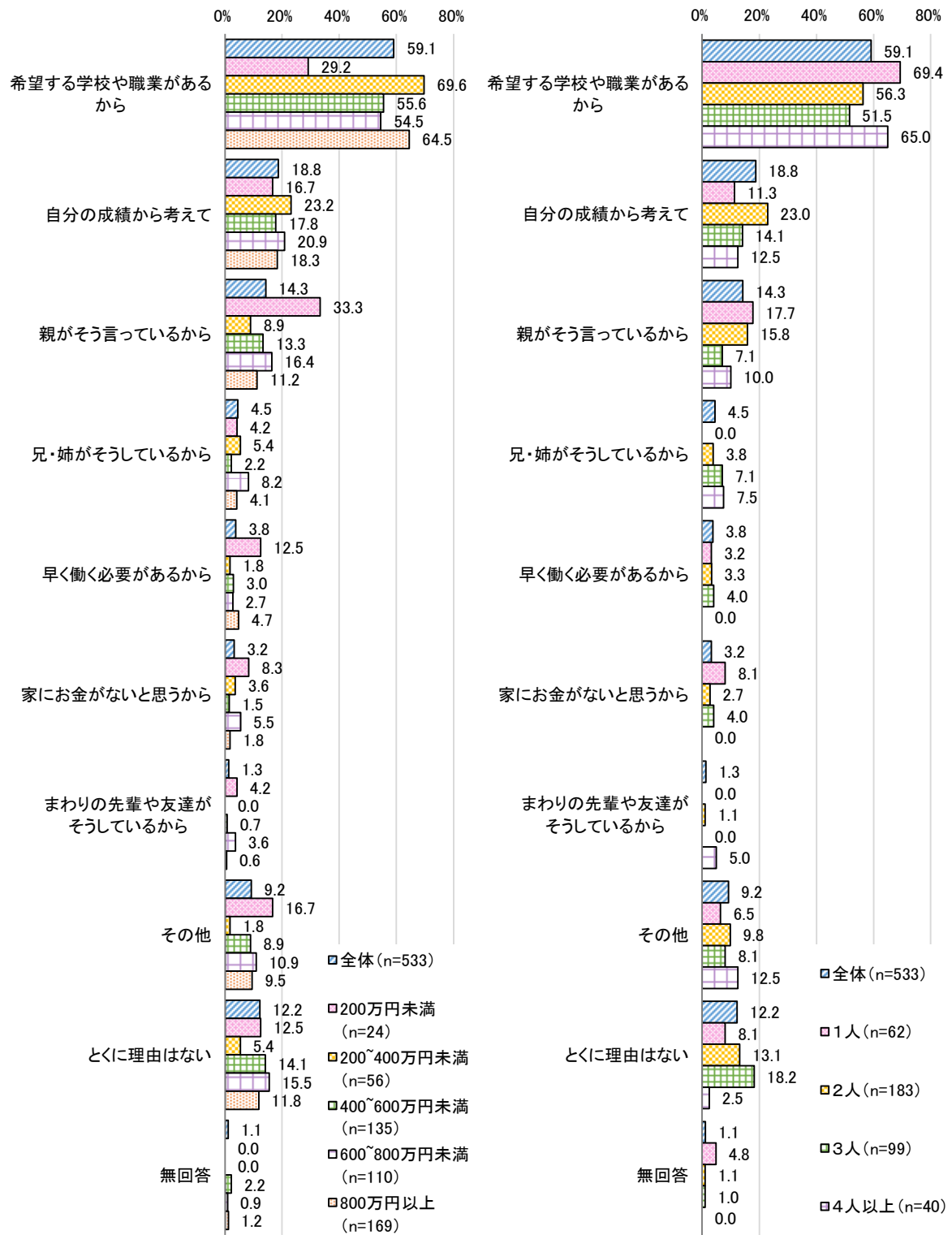
世帯年収別にみると、小学5年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「親がそう言っているから」(33.3%)、「早く働く必要があるから」(12.5%)、「家にお金がないと思うから」(8.3%)の割合が高い。中学2年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「自分の成績から考えて」(9.5%)の割合が低く、「早く働く必要があるから」(9.5%)、「家にお金がないと思うから」(9.5%)の割合が高い。

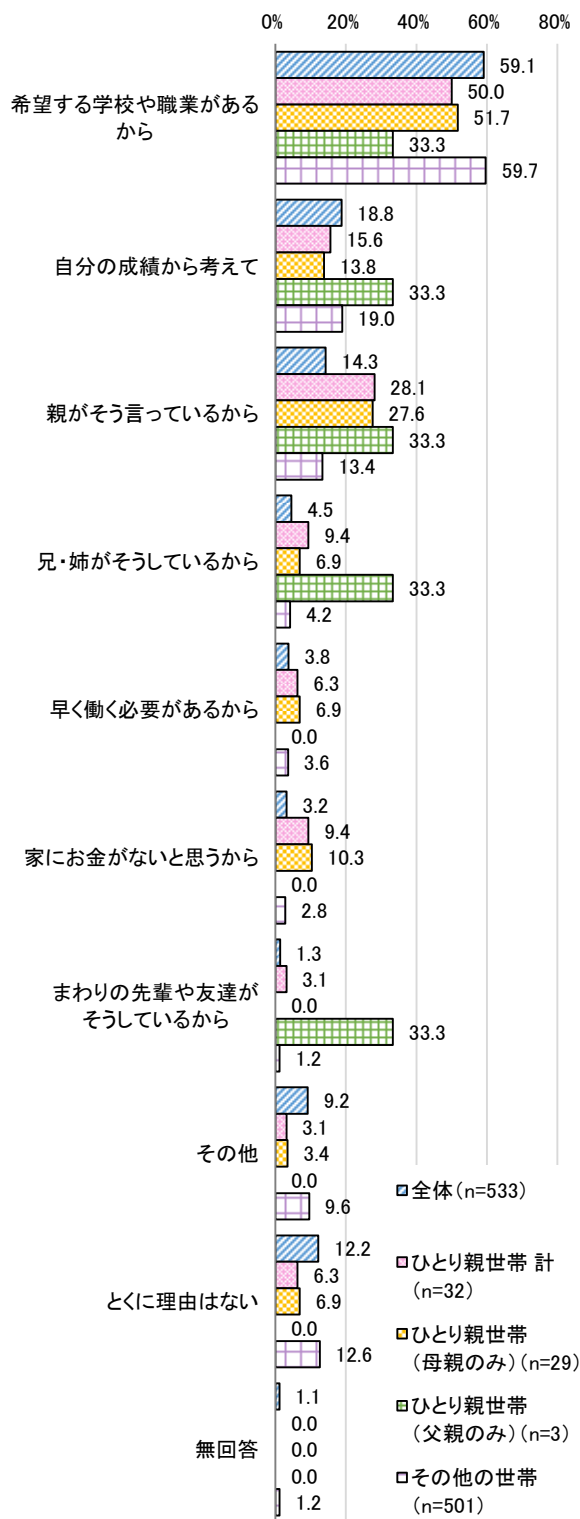
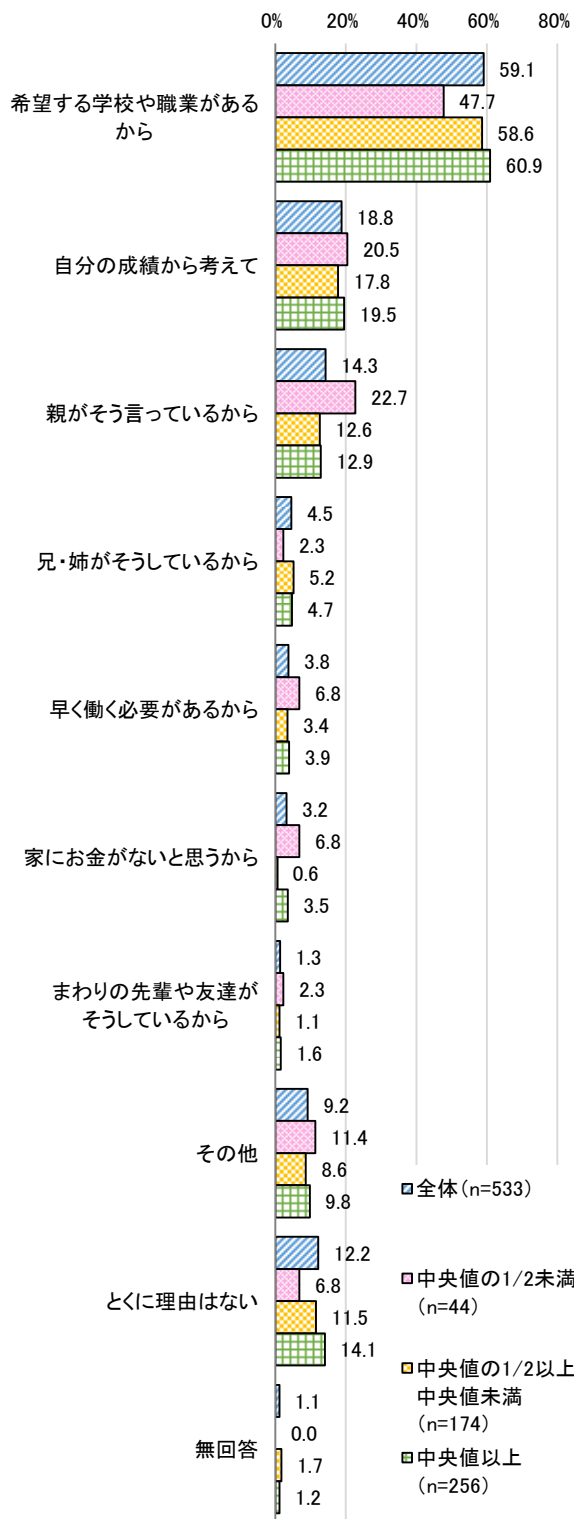
世帯子供の人数別にみると、小学5年生、中学2年生ともに子供の人数に関係なく「希望する学校や職業があるから」の割合が過半数を占めている。中学2年生では子供の人数が1人の世帯で他の世帯より「親がそう言っているから」(32.0%)、「まわりの先輩や友達がそうしているから」(12.0%)の割合が高い。

生活状況別にみると、小学5年生では「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「希望する学校や職業があるから」(47.7%)の割合が低く、「親がそう言っているから」(22.7%)、「早く働く必要があるから」(6.8%)、「家にお金がないと思うから」(6.8%)の割合が高い。中学2年生では「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「希望する学校や職業があるから」(50.9%)の割合が低く、「早く働く必要があるから」(11.3%)、「家にお金がないと思うから」(7.5%)の割合が高い。

世帯別にみると、小学5年生ではひとり親世帯ではその他の世帯より「親がそう言っているから」(28.1%)、「家にお金がないと思うから」(9.4%)の割合が高い。中学2年生では大きな差はみられない。

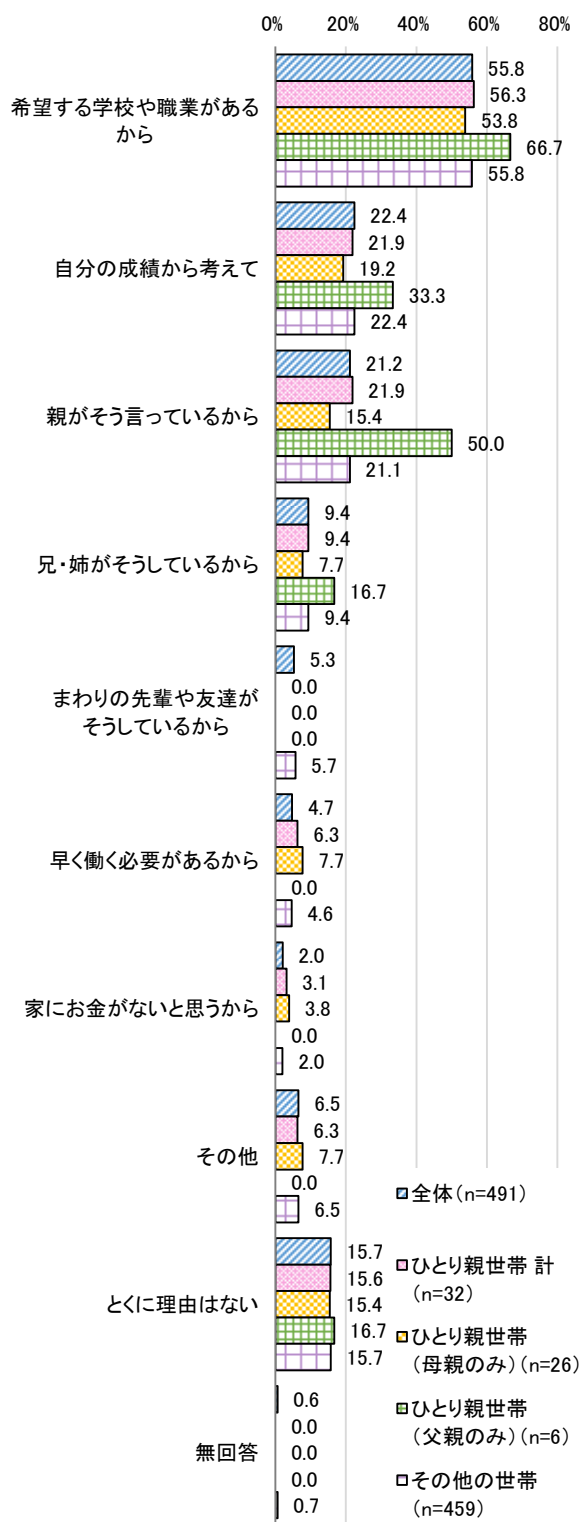
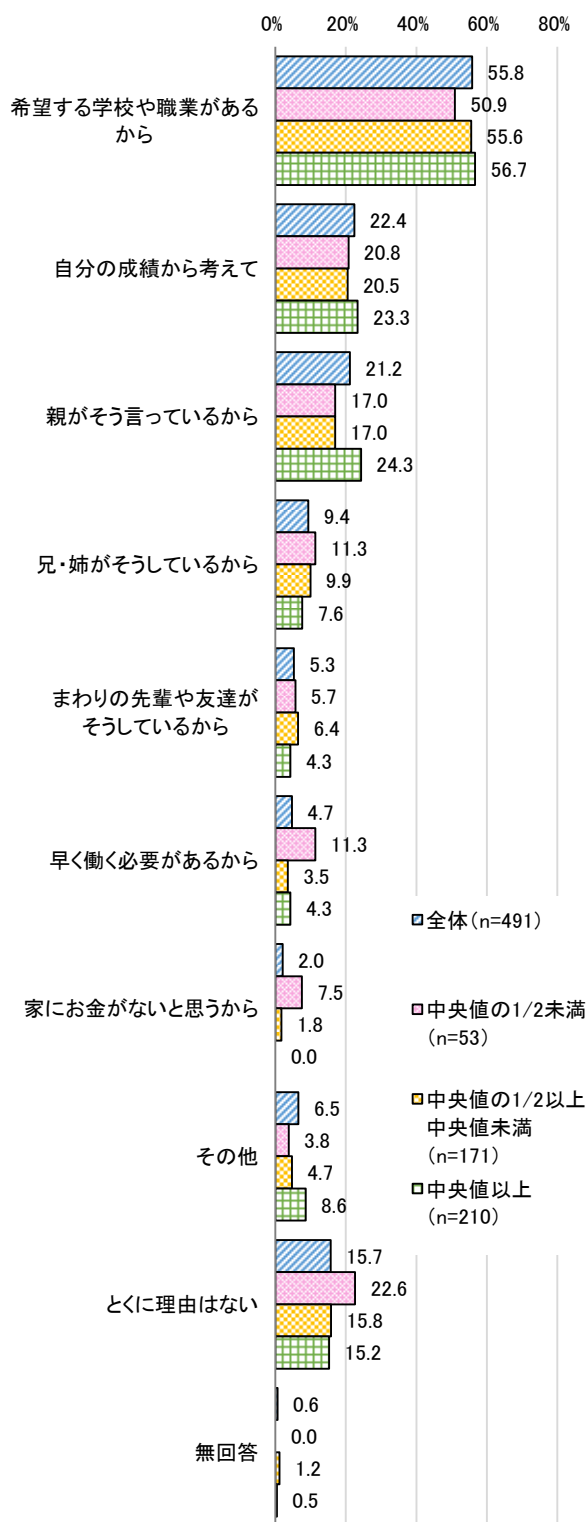
図表Ⅱ-2-8 進学希望の理由 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】





図表Ⅱ-2-8 進学希望の理由 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】

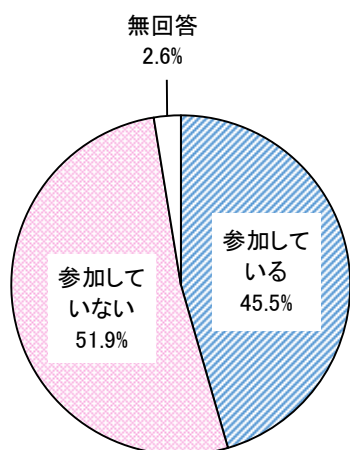




(6) 部活動等の状況

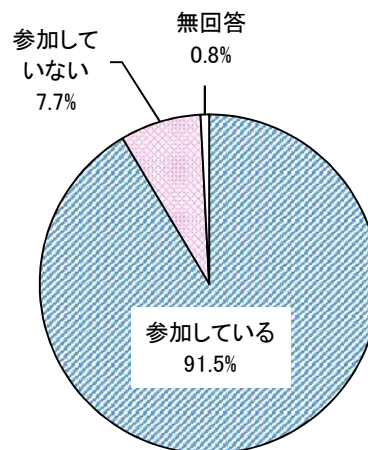
問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

【小学5年生】



全体(n=899)

【中学2年生】



全体(n=855)

【全体】

部活動等に参加している割合は、小学5年生で5割弱、中学2年生で約9割となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-9参照)

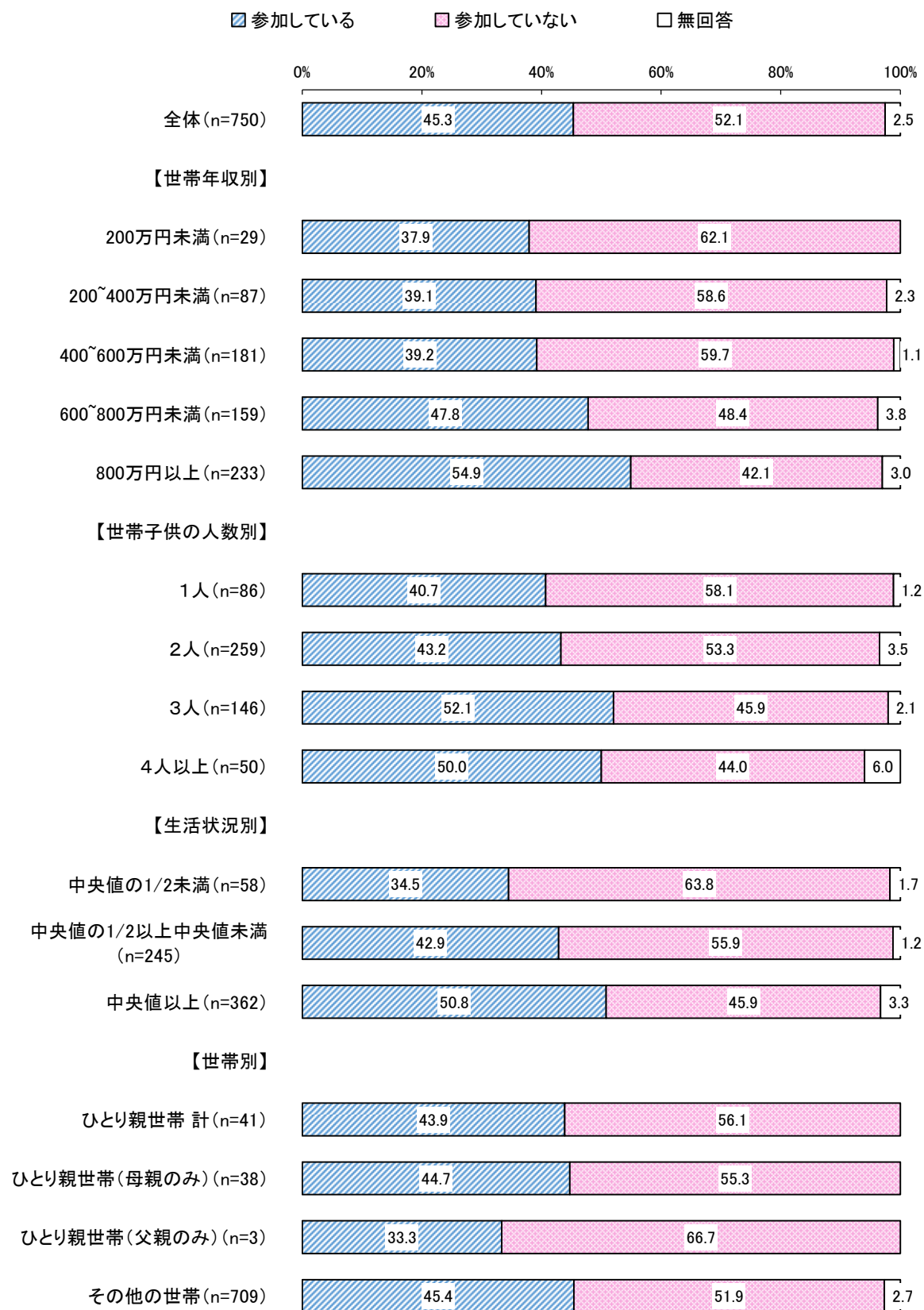
世帯年収別にみると、小学5年生、中学2年生では世帯年収が低いほど部活動等に参加している割合は低い傾向にある。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生、中学2年生ともに子供の人数が1人の世帯で他の世帯より部活動等に参加している割合がやや低い。

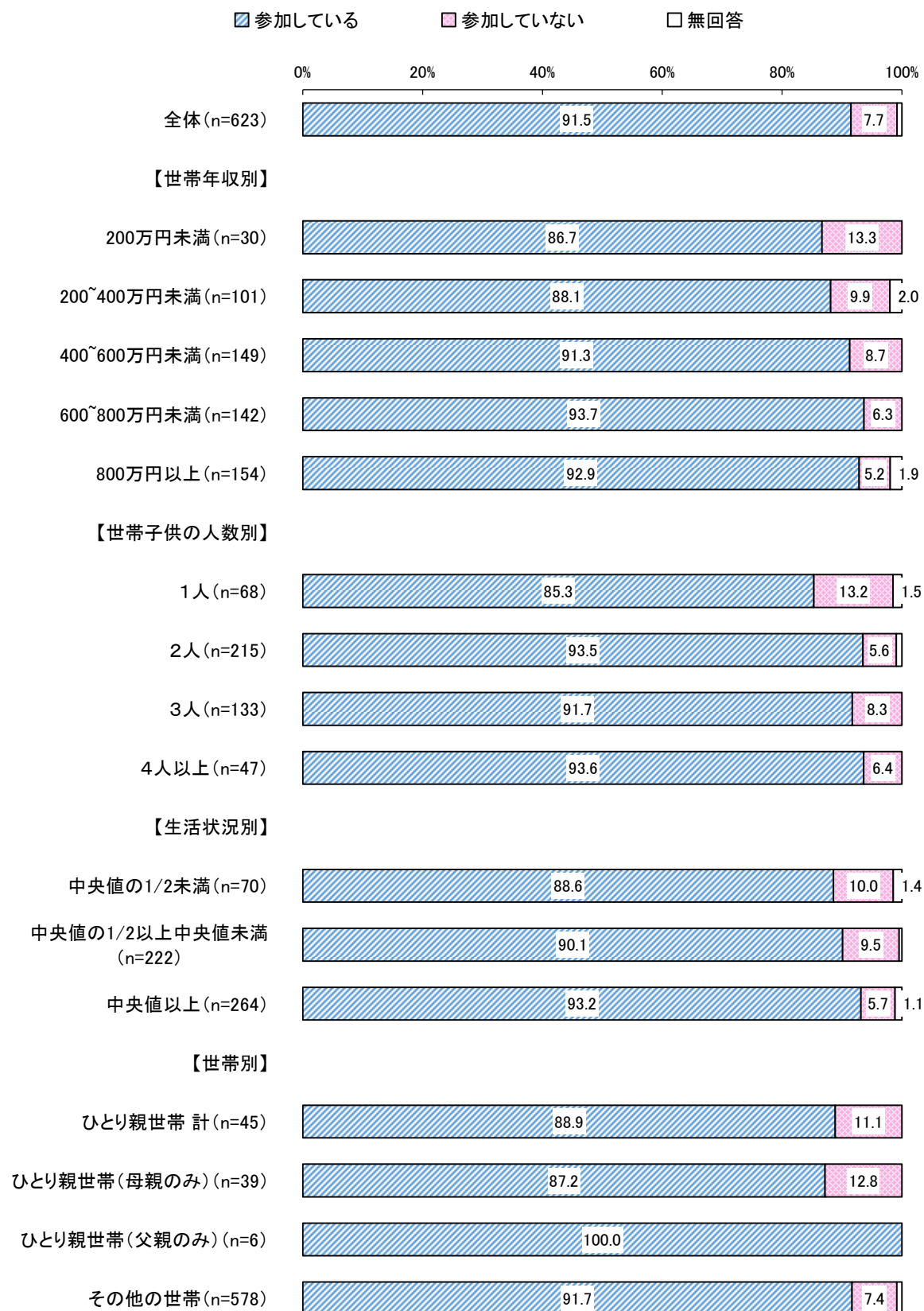
生活状況別にみると、小学5年生、中学2年生ともに等価世帯収入が低いほど部活動等に参加している割合は低い傾向にある。

世帯別では、大きな差はみられない。

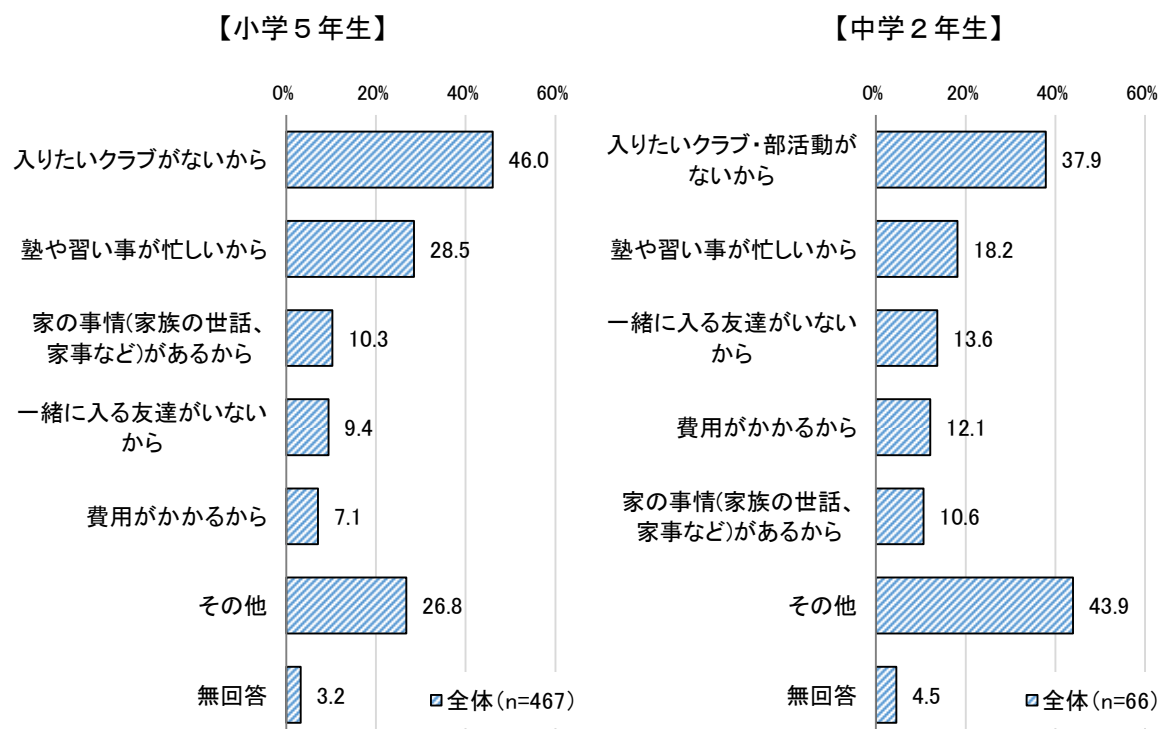
図表Ⅱ-2-9 部活動等の状況 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】



図表Ⅱ-2-9 部活動等の状況 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】



問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



【全体】

小学5年生では「入りたいクラブがないから」(46.0%)の割合が最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」(28.5%)、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」(10.3%)となっている。中学2年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」(37.9%)の割合が最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」(18.2%)、「一緒にいる友達がないから」(13.6%)となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-10 参照)

世帯年収別にみると、小学5年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「入りたいクラブがないから」(27.8%)の割合が低く、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」(22.2%)の割合が高い。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が1人の世帯で他の世帯より「塾や習い事が忙しいから」(50.0%)の割合が高い。

生活状況別にみると、小学5年生では「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「塾や習い事が忙しいから」(16.2%)の割合が低く、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」(16.2%)の割合が高い。

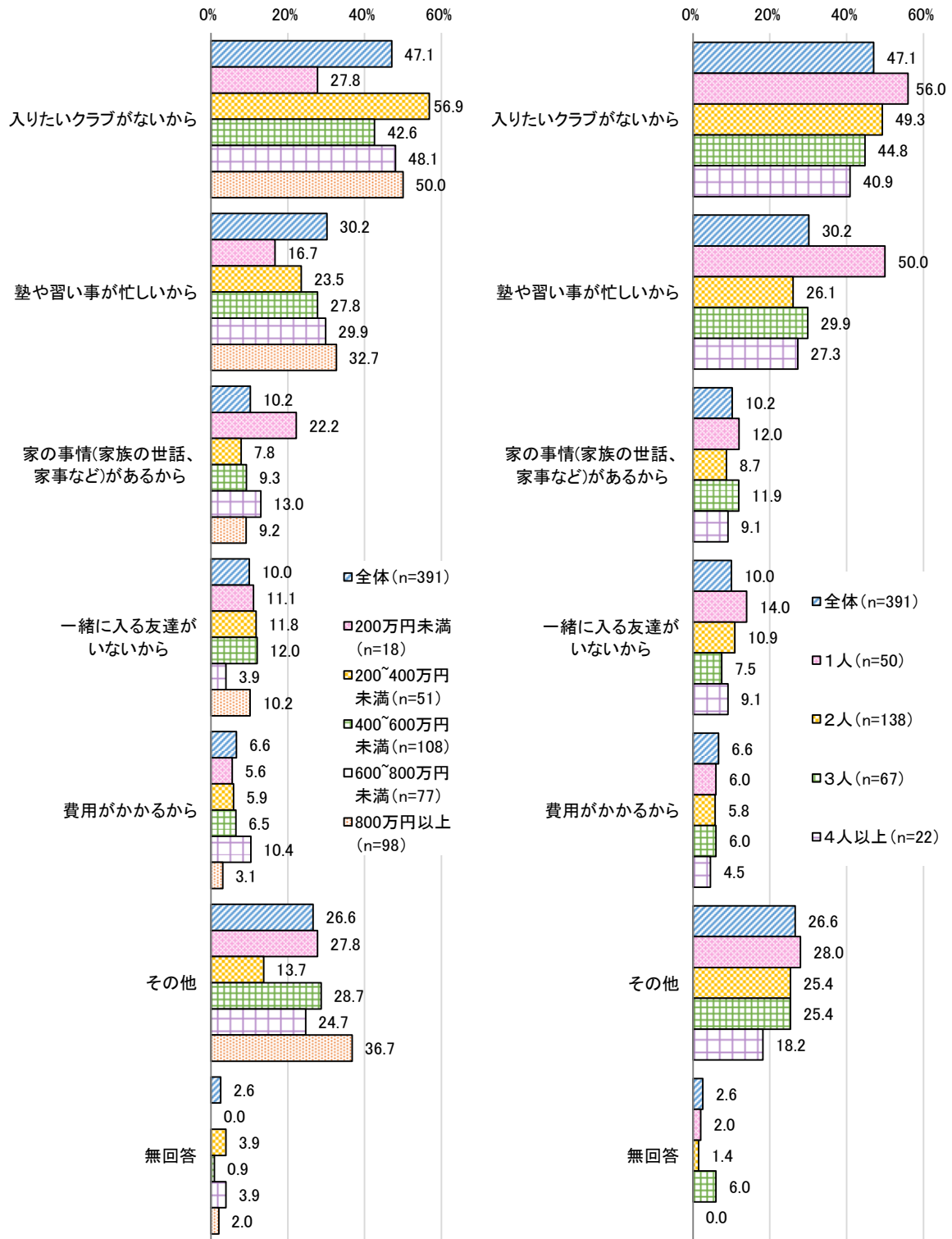
世帯別にみると、小学5年生ではひとり親世帯でその他の世帯より「塾や習い事が忙しいから」(21.7%)の割合が低く、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」(17.4%)の割合が高い。

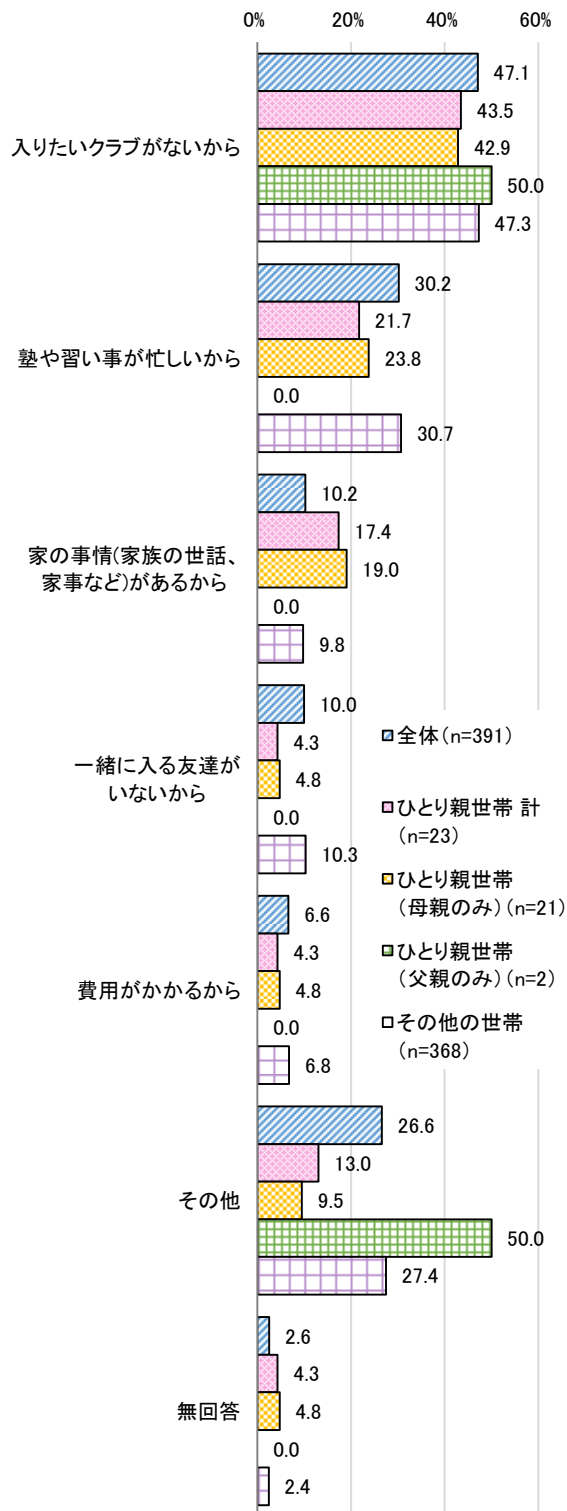
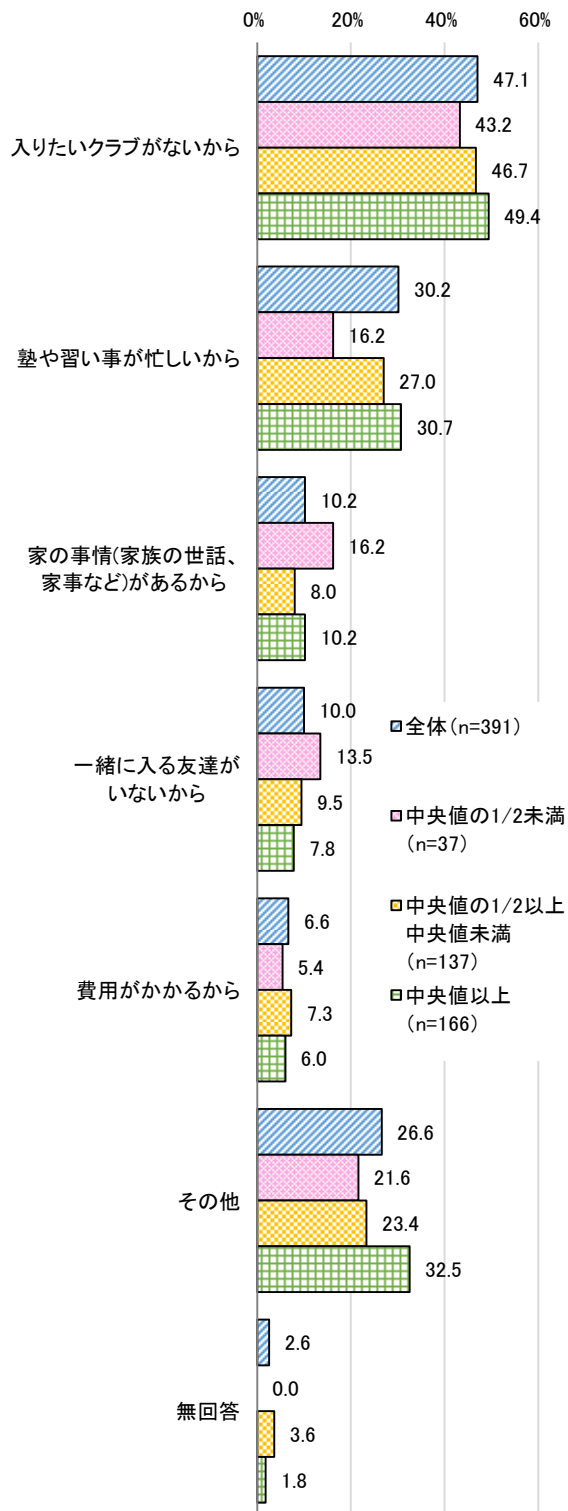
※中学2年生は該当者数が少ないため参考値としてグラフのみの掲載とする。

図表Ⅱ-2-10 部活動等に参加していない理由 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

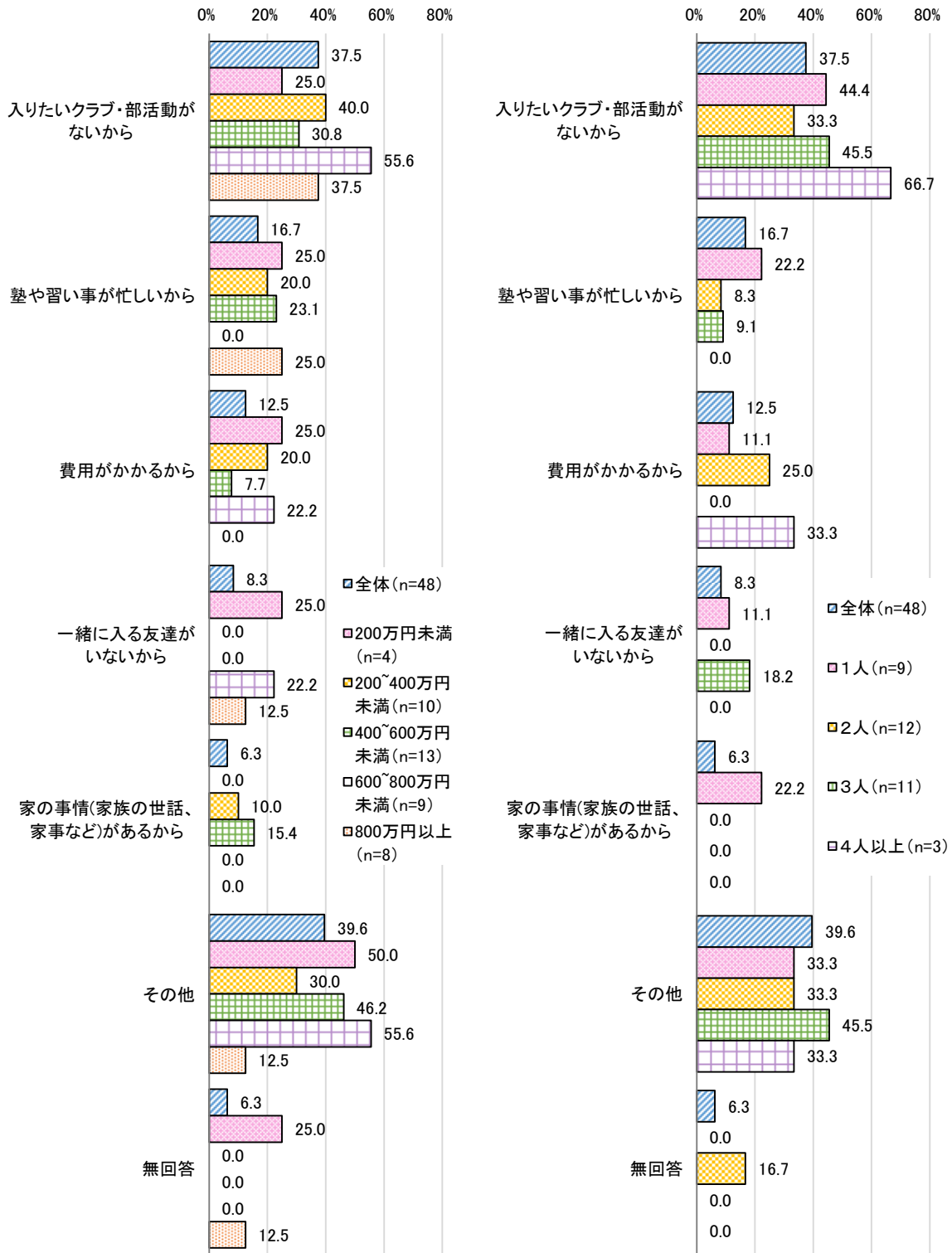


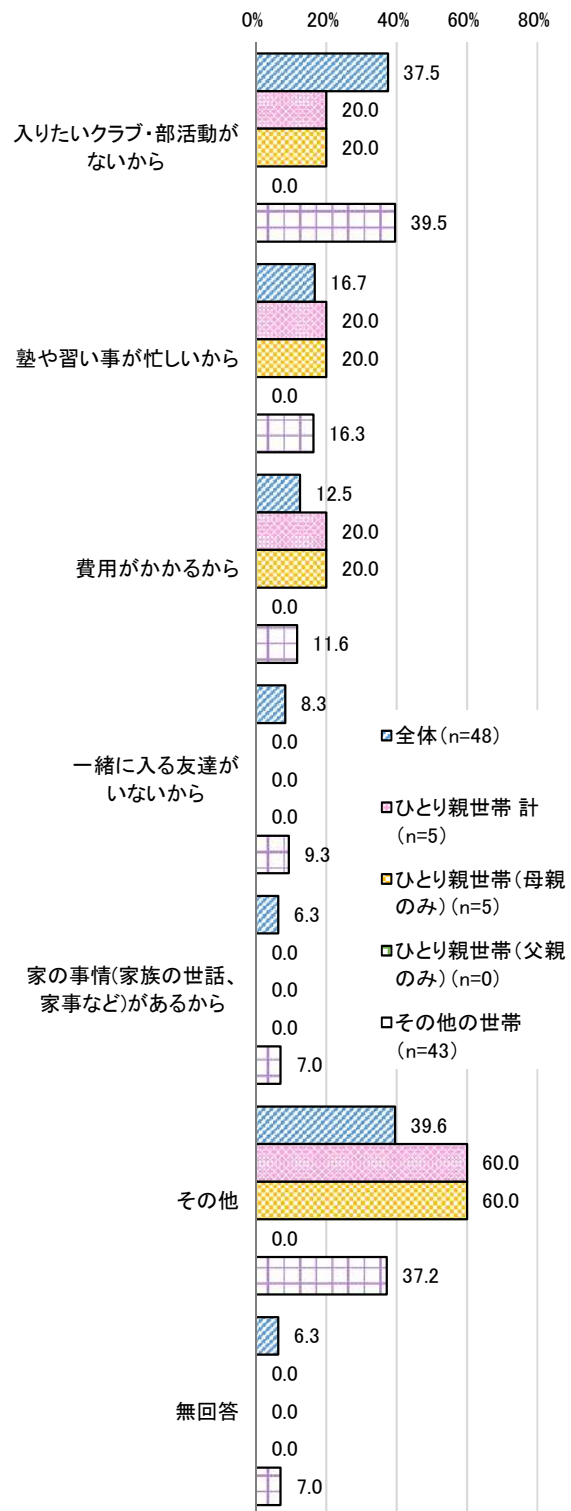
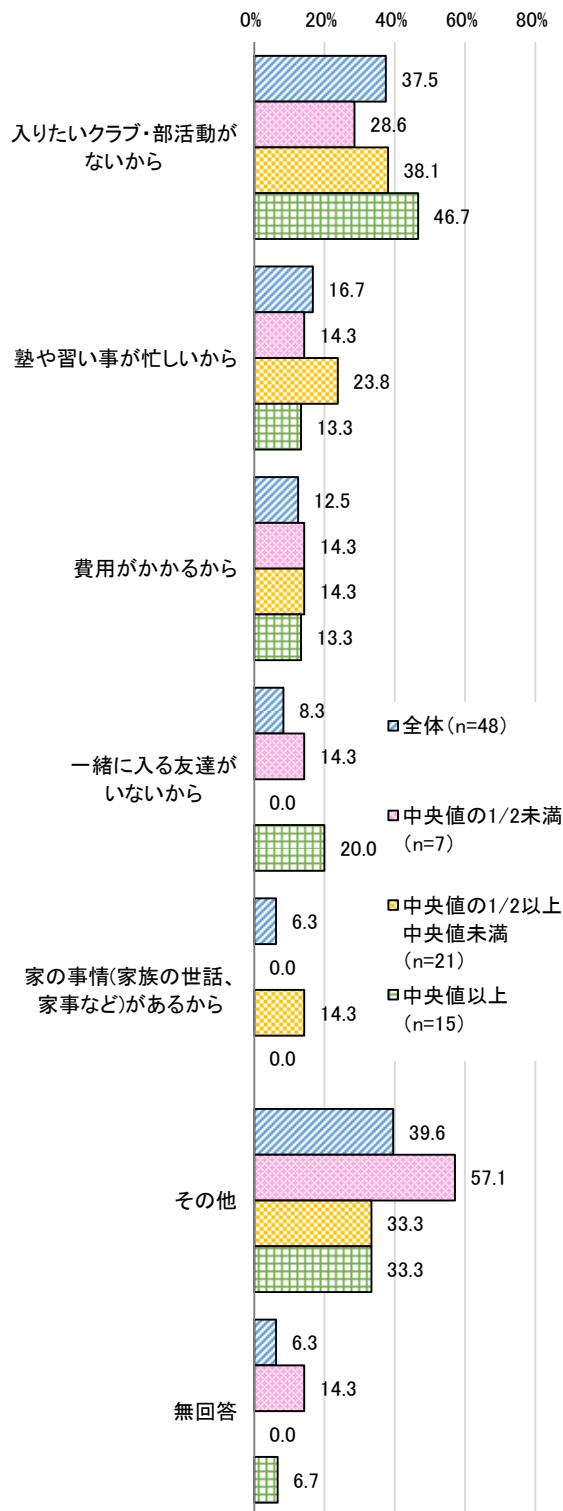


図表Ⅱ-2-10 部活動等に参加していない理由 2/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

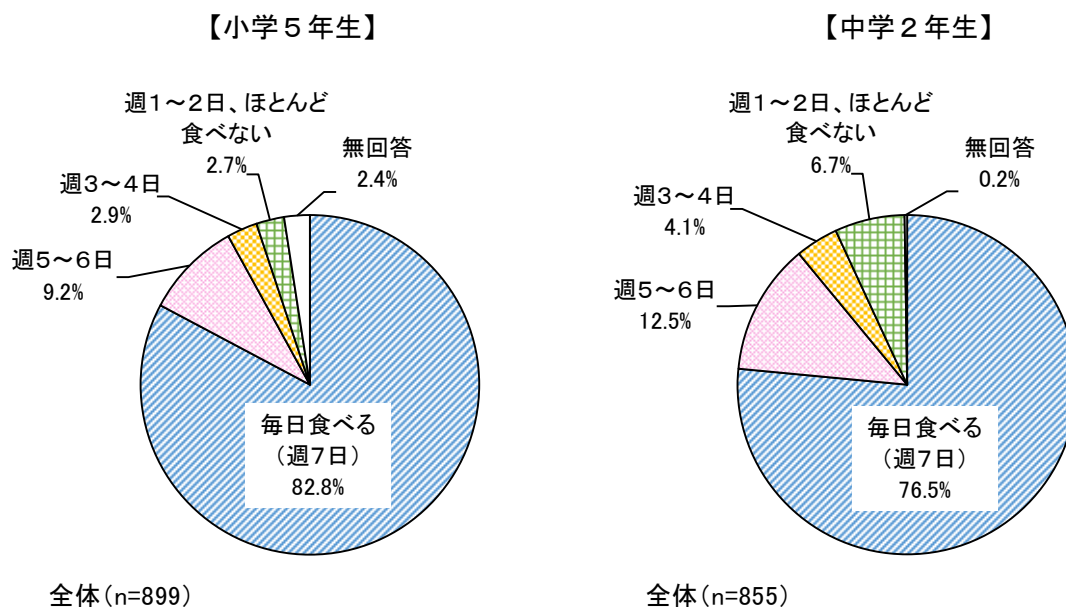




(7) 食事の頻度

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 朝食



【全体】

朝食について、「毎日食べる (週7日)」割合は小学5年生で82.8%、中学2年生で76.5%となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-11 参照)

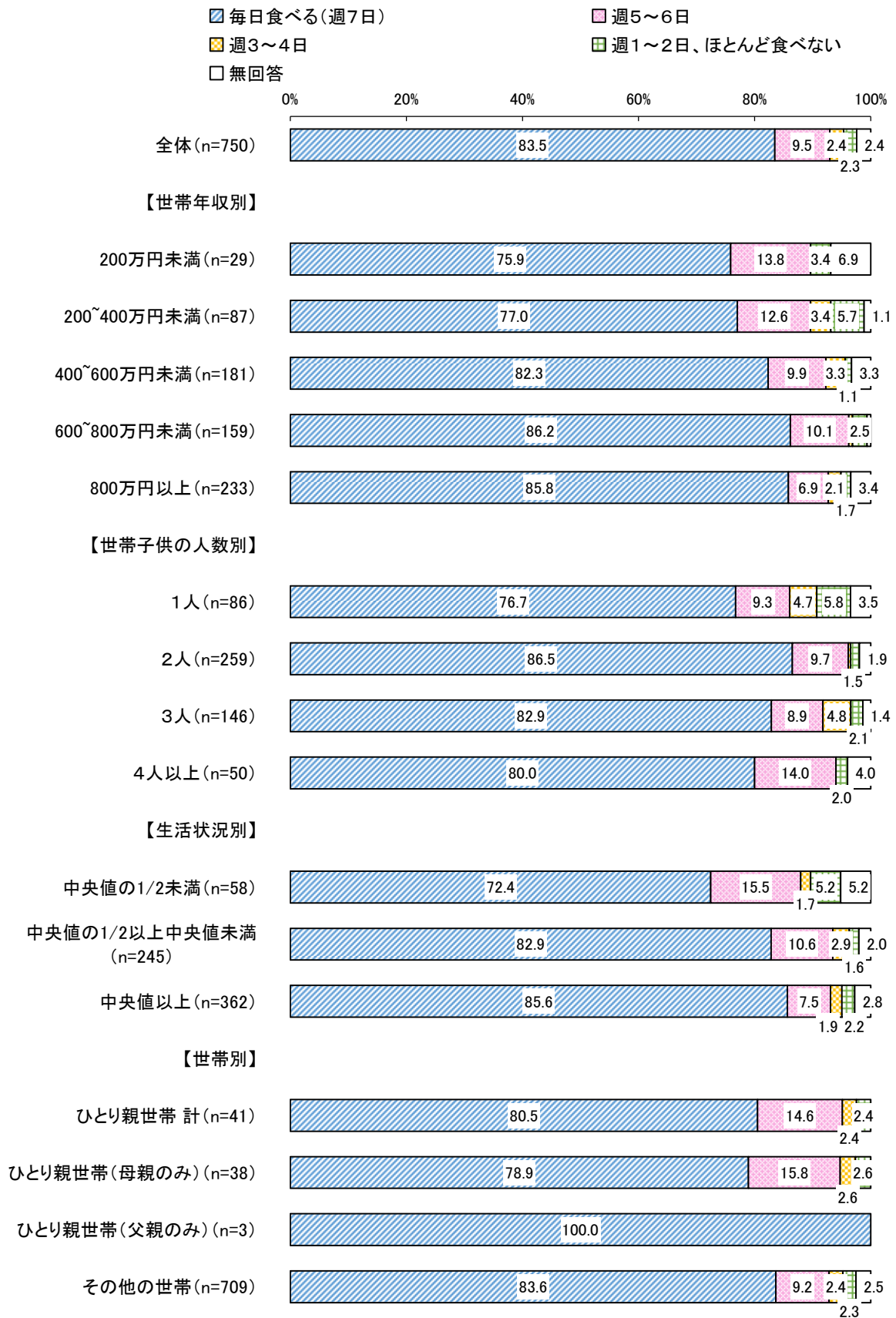
世帯年収別にみると、小学5年生、中学2年生ともに200万円未満の世帯で他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が1人の世帯で他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。中学2年生では子供の人数が4人以上の世帯で他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。

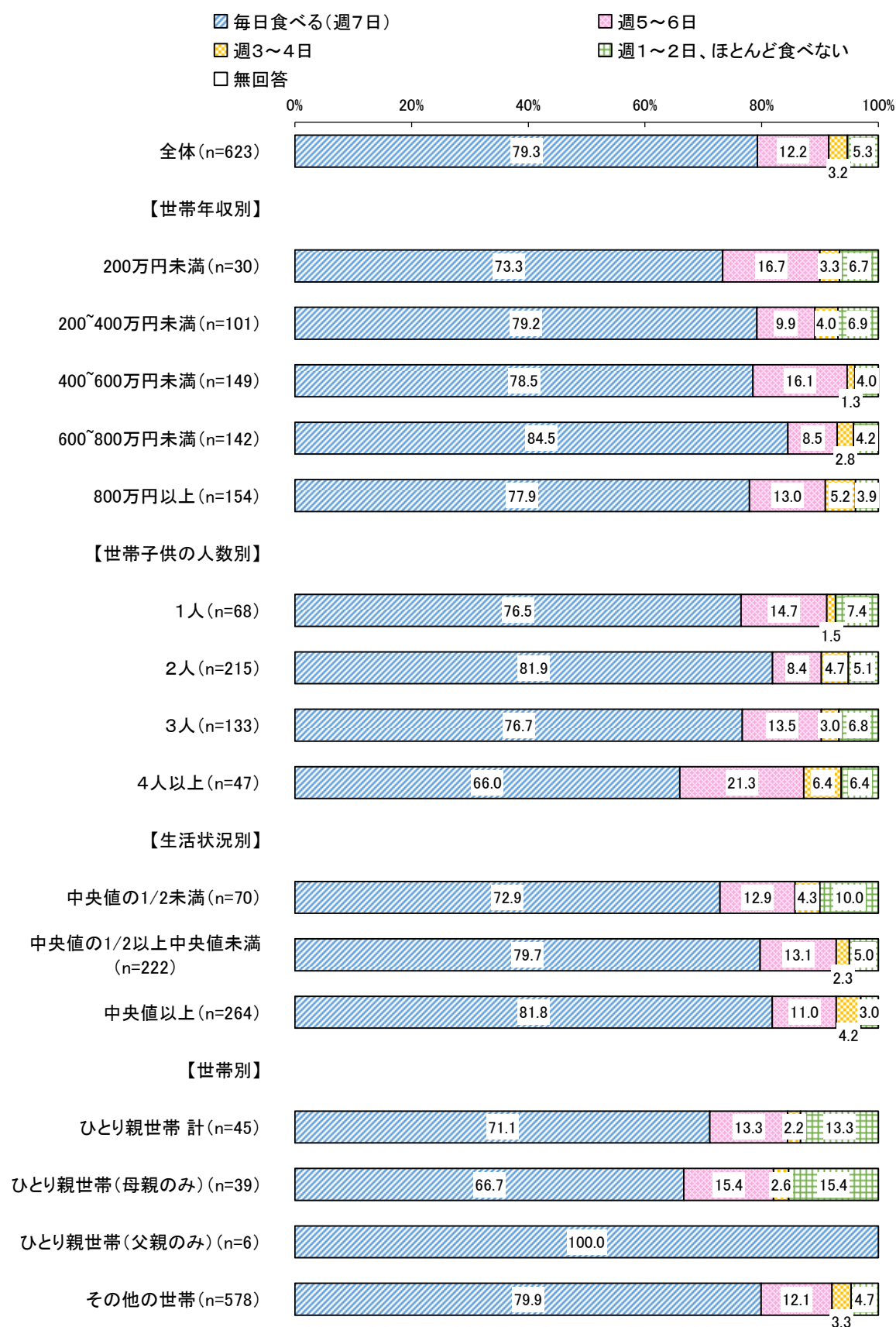
生活状況別にみると、小学5年生、中学2年生ともに「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。

世帯別では、小学5年生では大きな差はみられない。中学2年生ではひとり親世帯でその他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。

図表Ⅱ-2-11 朝食の頻度 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】

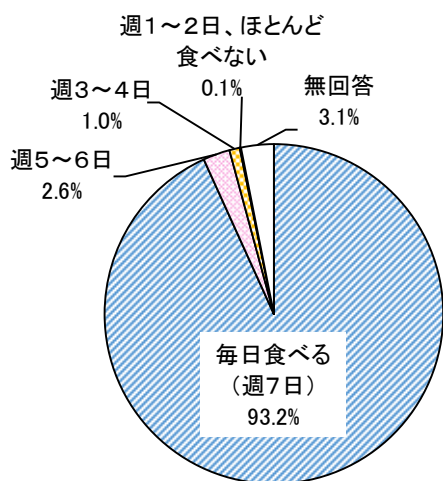


図表Ⅱ-2-11 朝食の頻度 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】



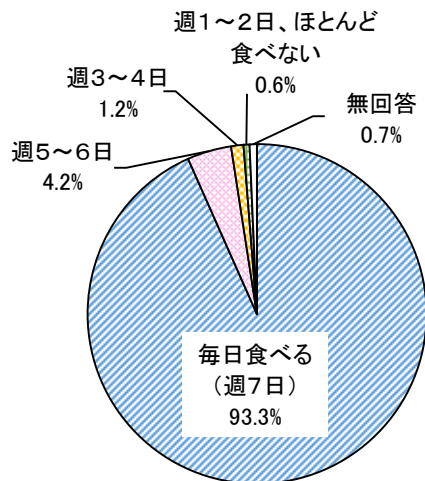
b) 夕食

【小学5年生】



全体 (n=899)

【中学2年生】



全体 (n=855)

【全体】

夕食について、「毎日食べる (週7日)」割合は小学5年生で93.2%、中学2年生で93.3%となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-12 参照)

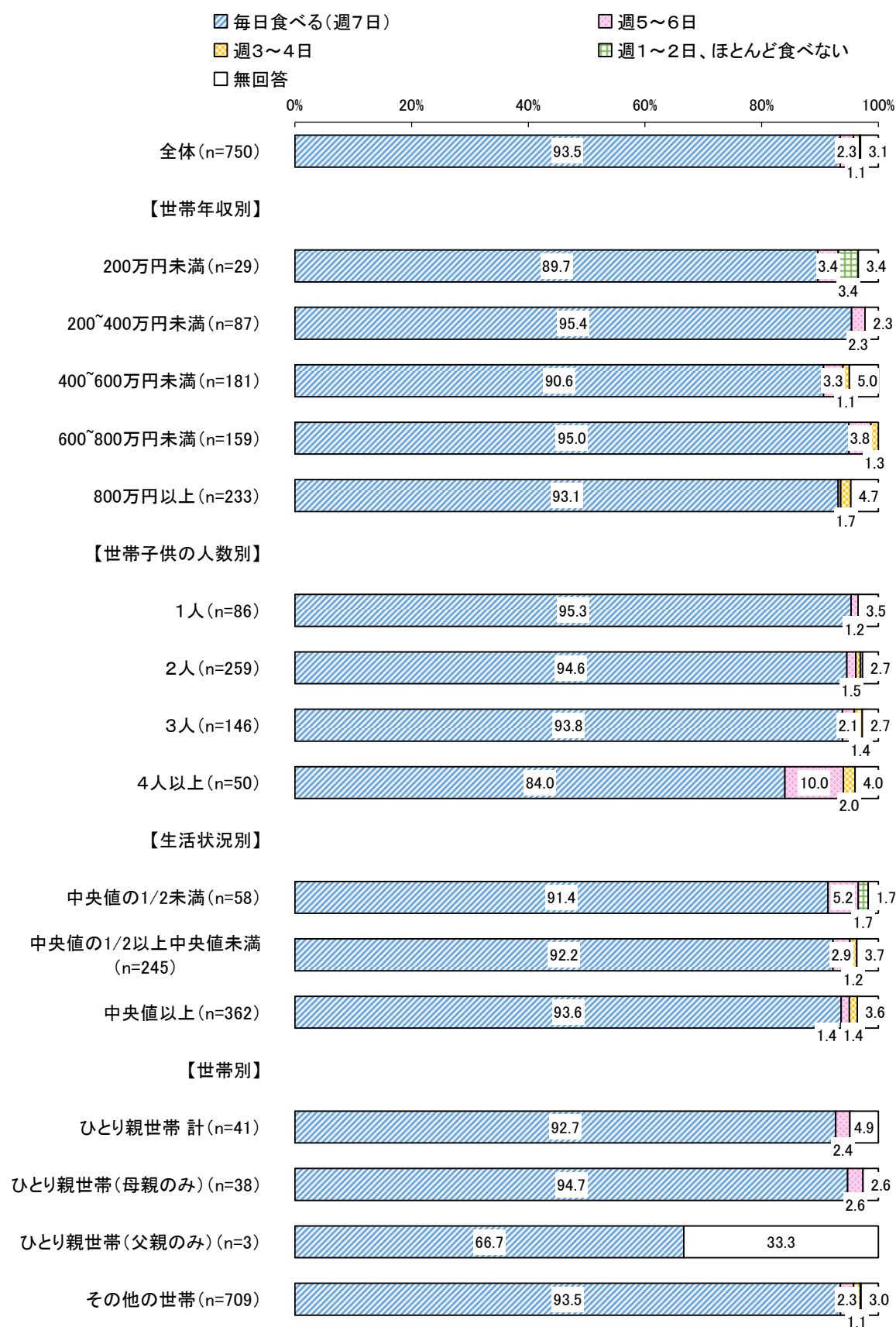
世帯年収別では、大きな差はみられない。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が4人以上の世帯で他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。

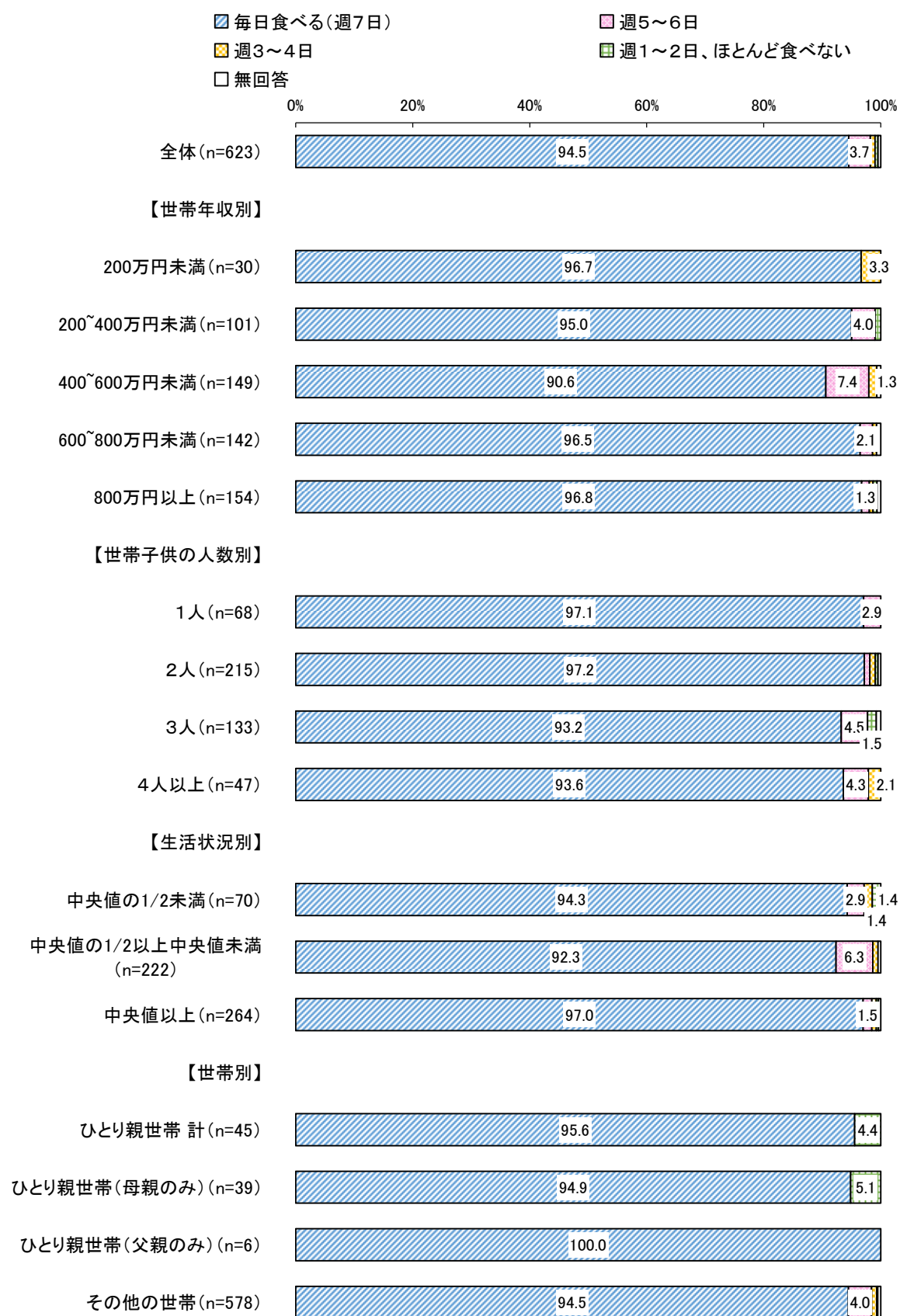
生活状況別では、大きな差はみられない。

世帯別では、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-12 夕食の頻度 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【小学5年生】

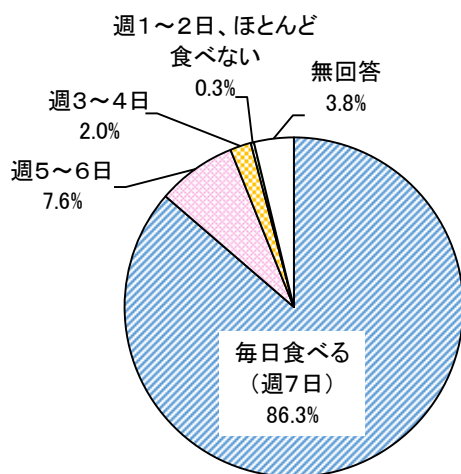


図表Ⅱ-2-12 夕食の頻度 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】



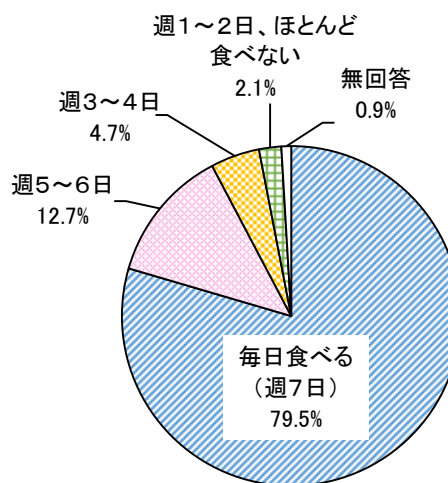
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

【小学5年生】



全体 (n=899)

【中学2年生】



全体 (n=855)

【全体】

夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、「毎日食べる (週7日)」割合は小学5年生で86.3%、中学2年生で79.5%となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-13 参照)

世帯年収別にみると、小学5年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。

世帯子供の人数別では、大きな差はみられない。

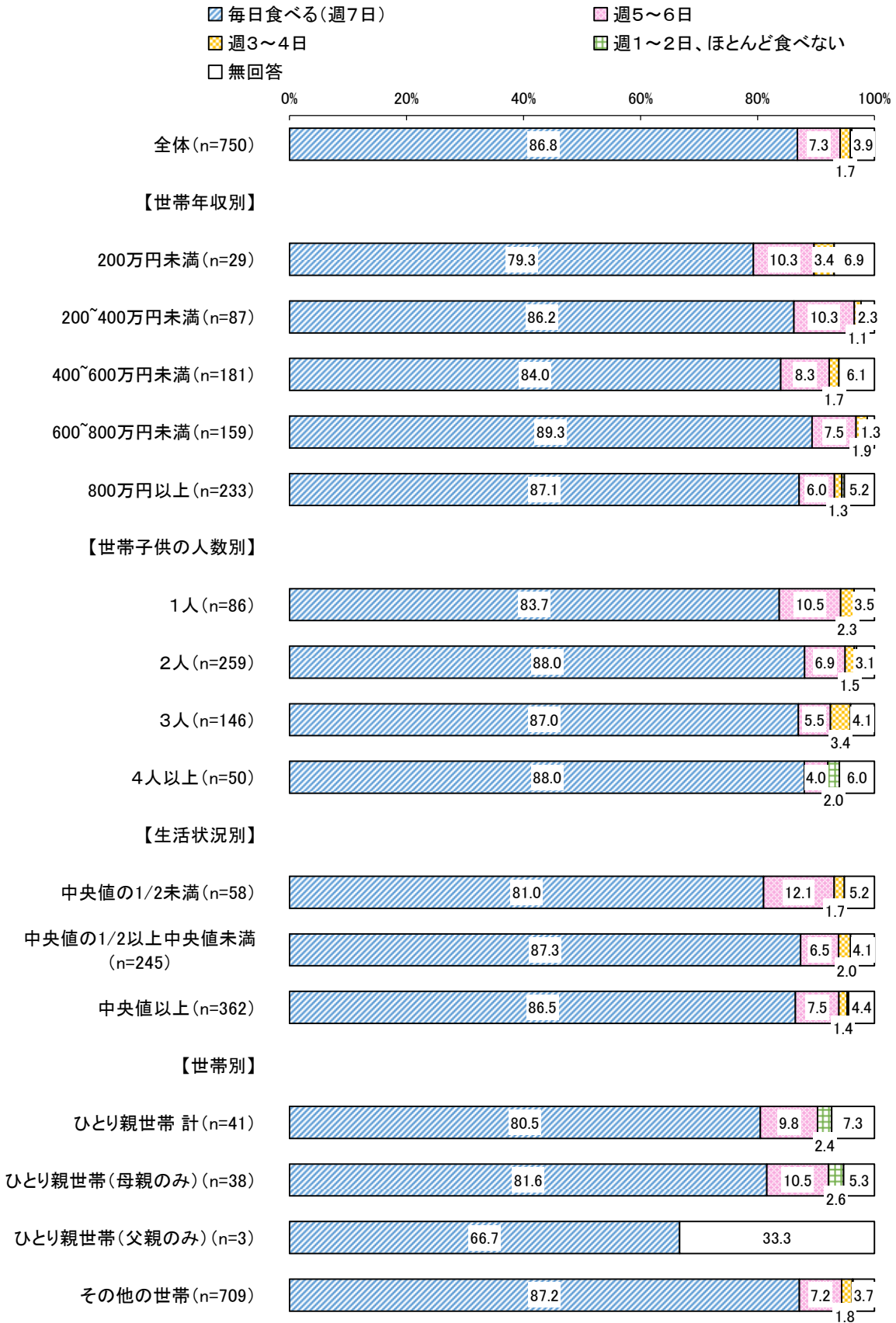
生活状況別にみると、小学5年生では、「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。中学2年生では大きな差はみられない。

世帯別では、小学5年生ではひとり親世帯でその他の世帯より「毎日食べる (週7日)」割合が低い。中学2年生では大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-13 夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

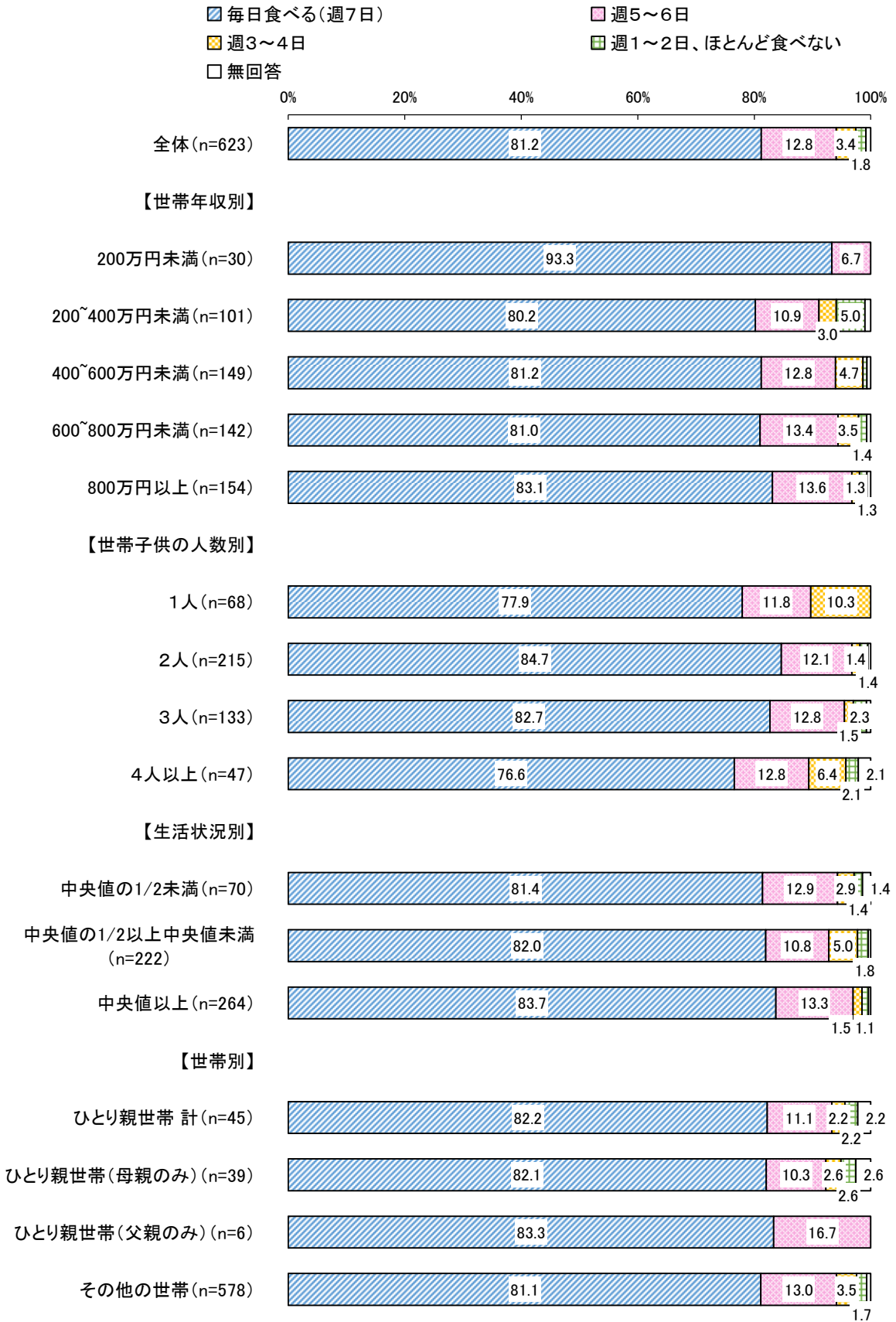
【小学5年生】



図表Ⅱ-2-13 夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度 2/2

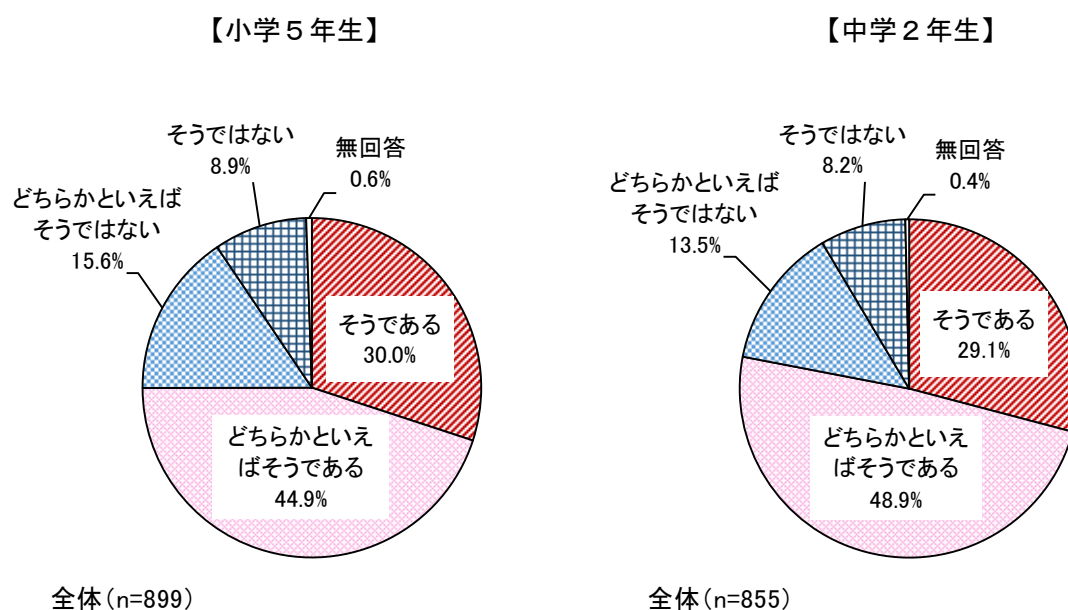
(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】



(8) 就寝時間の規則性

問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)



【全体】

小学5年生では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合が75.0%、「そうではない」と「どちらかといえばそうではない」を合わせた割合が24.5%となっている。中学2年生では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合が78.0%、「そうではない」と「どちらかといえばそうではない」を合わせた割合が21.6%となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-14 参照)

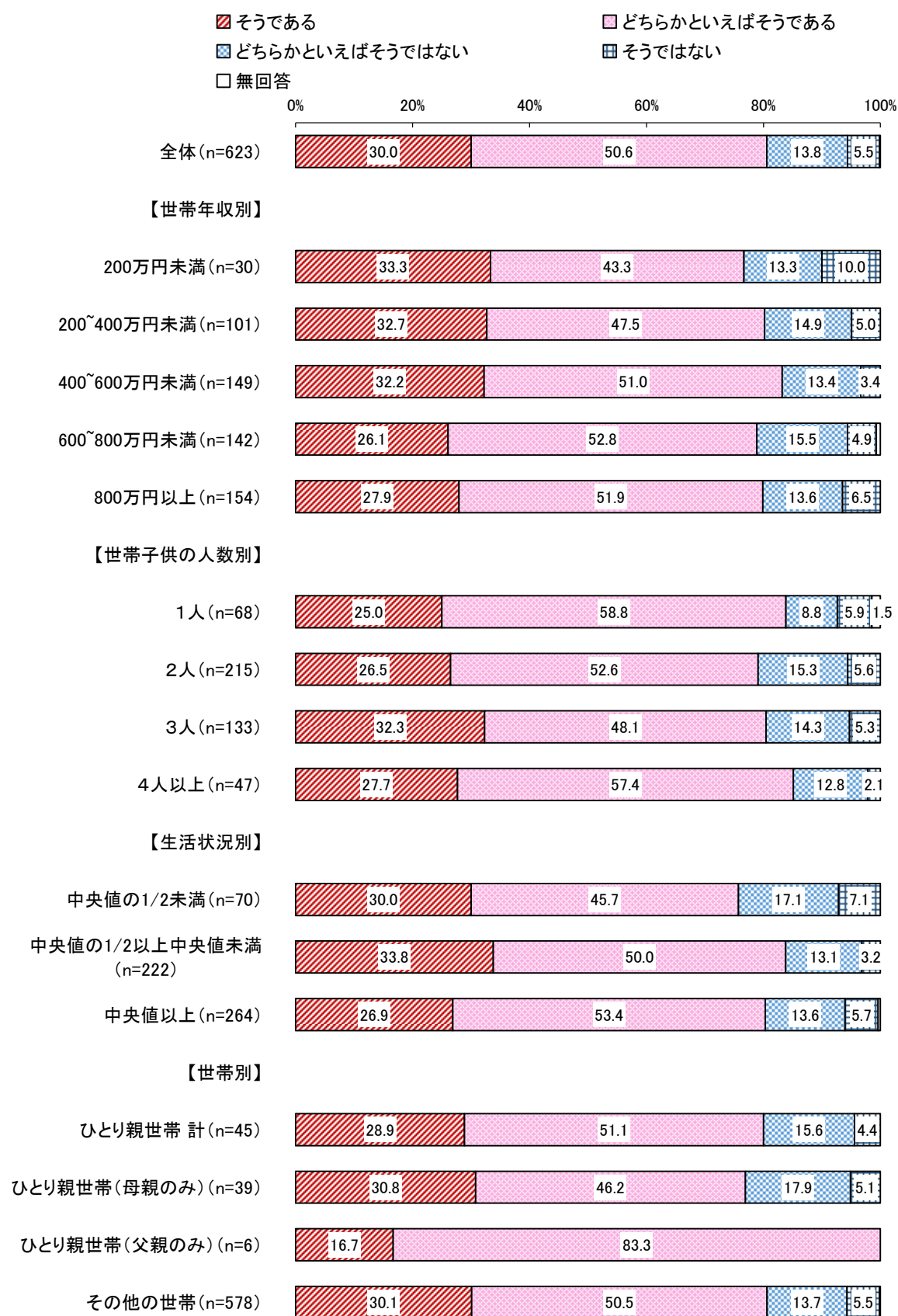
世帯年収別にみると、小学5年生では200～400万円未満の世帯で他の世帯より「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合がやや低い。中学2年生では大きな差はみられない。

世帯子供の人数別では、大きな差はみられない。

生活状況別にみると、中学2年生では「中央値の1/2以上中央値未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2未満」より「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合がやや高い。

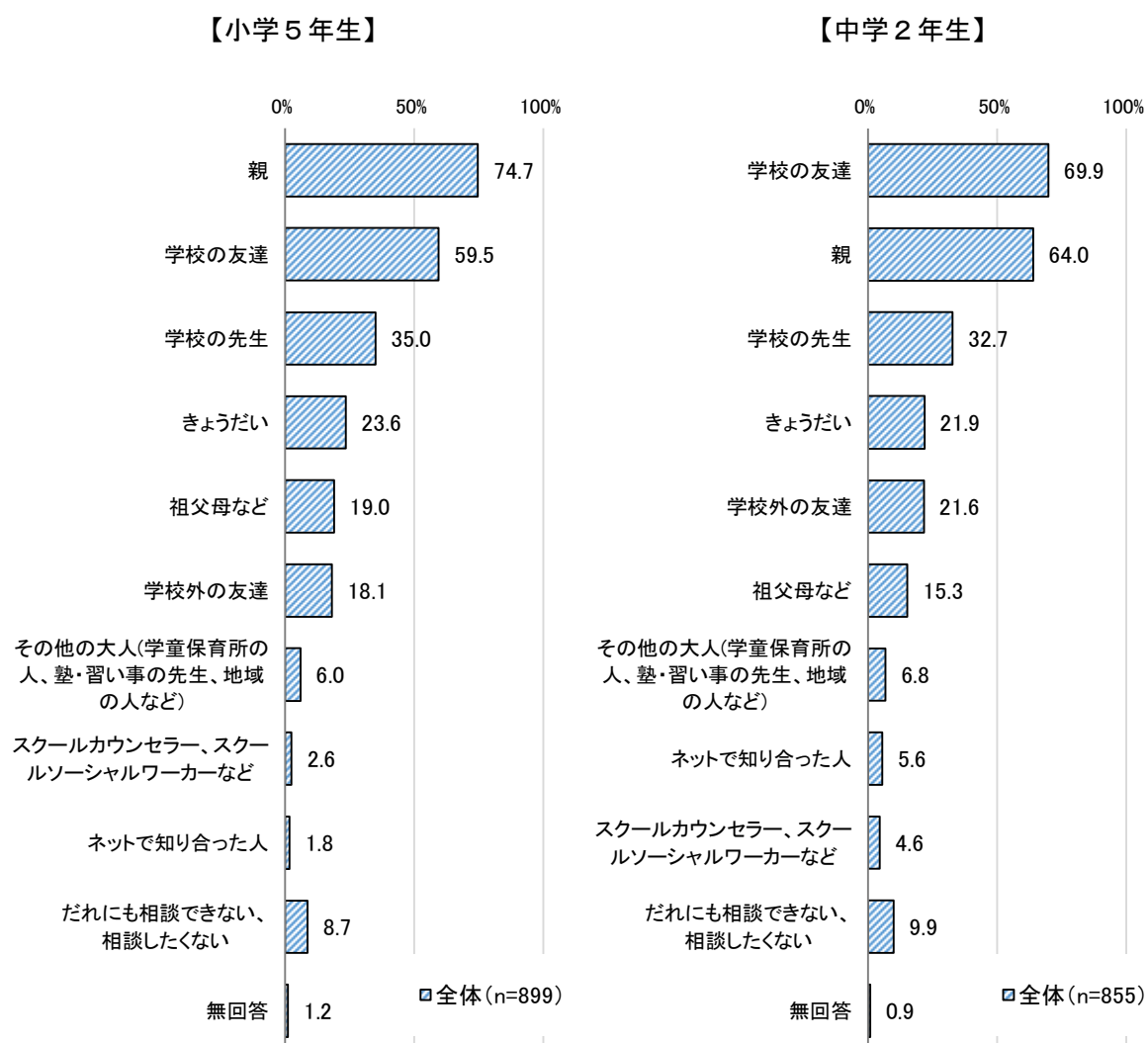
世帯別では、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-14 就寝時間の規則性 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)
【中学2年生】



(9) 信頼できる大人・友人

問13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)



【全体】

小学5年生では「親」(74.7%)の割合が最も高く、次いで「学校の友達」(59.5%)、「学校の先生」(35.0%)、「きょうだい」(23.6%)の順で続いている。中学2年生では「学校の友達」(69.9%)の割合が最も高く、次いで「親」(64.0%)、「学校の先生」(32.7%)、「きょうだい」(21.9%)の順で続いている。

【属性別】（図表Ⅱ-2-15 参照）

世帯年収別にみると、小学5年生では200万円未満の世帯で他の世帯より「きょうだい」（34.5%）、「学校外の友達」（34.5%）の割合が高い。中学2年生では200万円未満で他の世帯より「学校の友達」（80.0%）、「ネットで知り合った人」（16.7%）の割合が高い。

世帯子供の人数別にみると、中学2年生では子供の人数が1人の世帯で他の世帯より「その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）」（14.0%）や「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」（8.1%）の割合が低い。中学2年生では子供の人数が少ないほど「その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）」や「祖父母など」の割合が高い傾向にある。

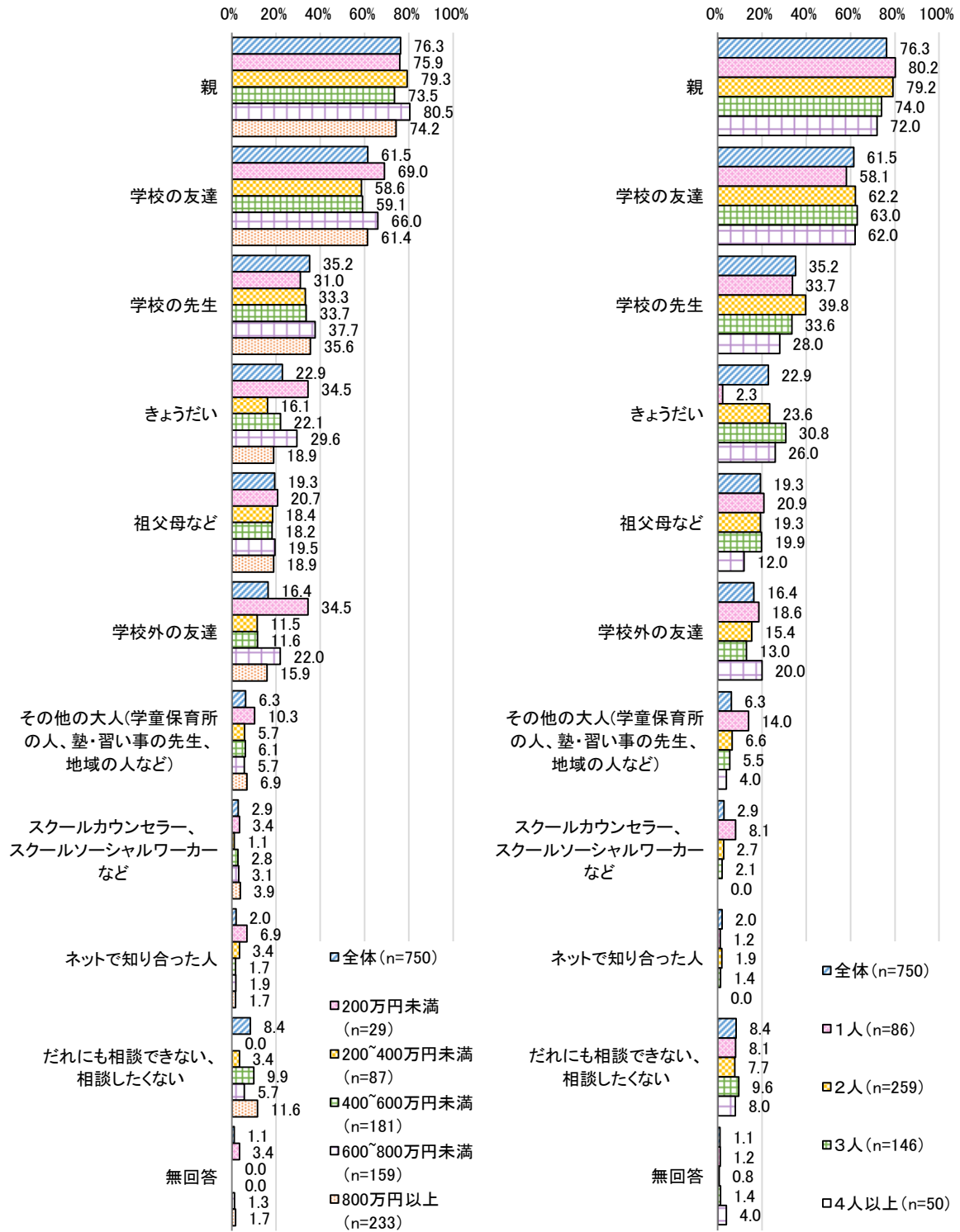
生活状況別にみると、中学2年生では「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「学校の先生」（18.6%）、「祖父母など」（11.4%）の割合が低く、「ネットで知り合った人」（8.6%）の割合が高い。

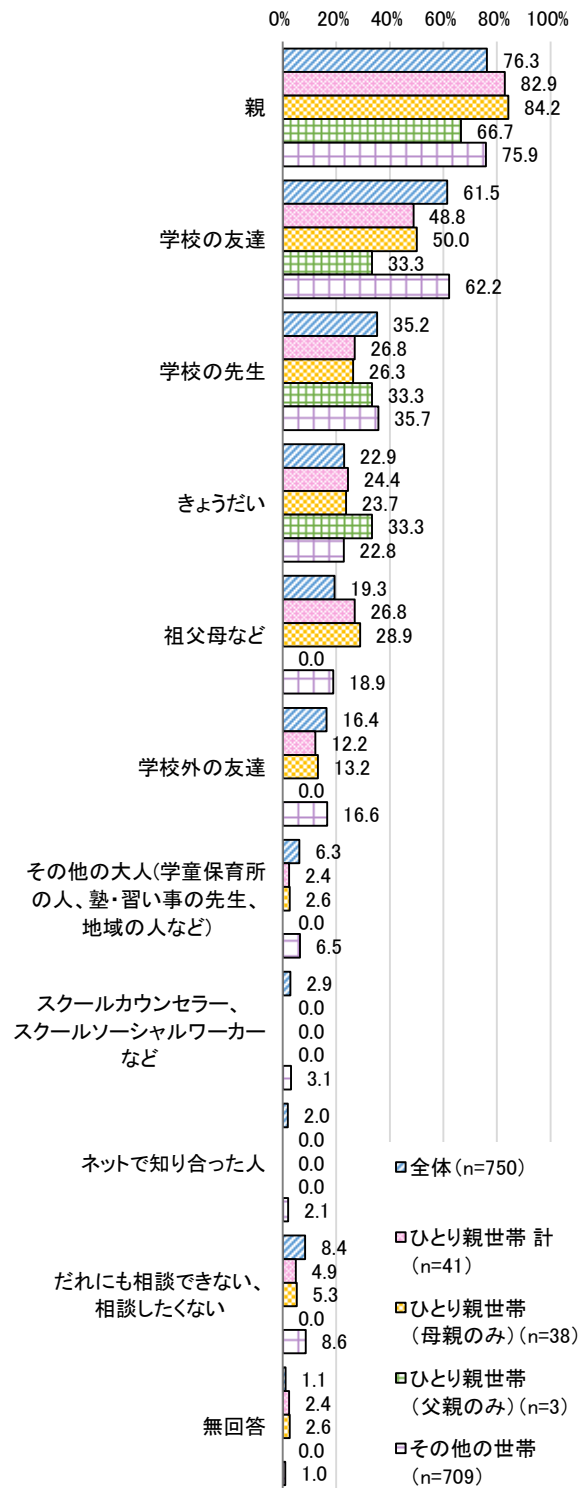
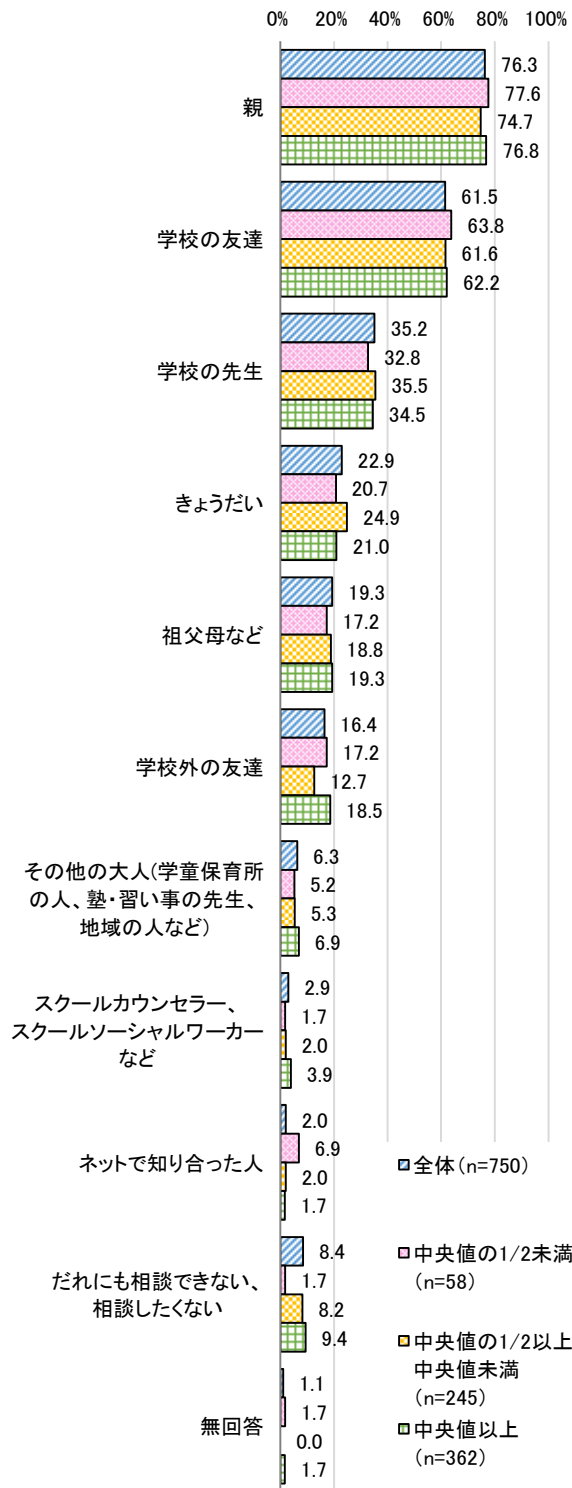
世帯別にみると、小学5年生ではひとり親世帯でその他の世帯より「学校の友達」（48.8%）の割合が低い。中学2年生ではひとり親世帯ではその他の世帯より「学校の先生」（22.2%）の割合が低い。

図表Ⅱ-2-15 信頼できる大人・友人 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

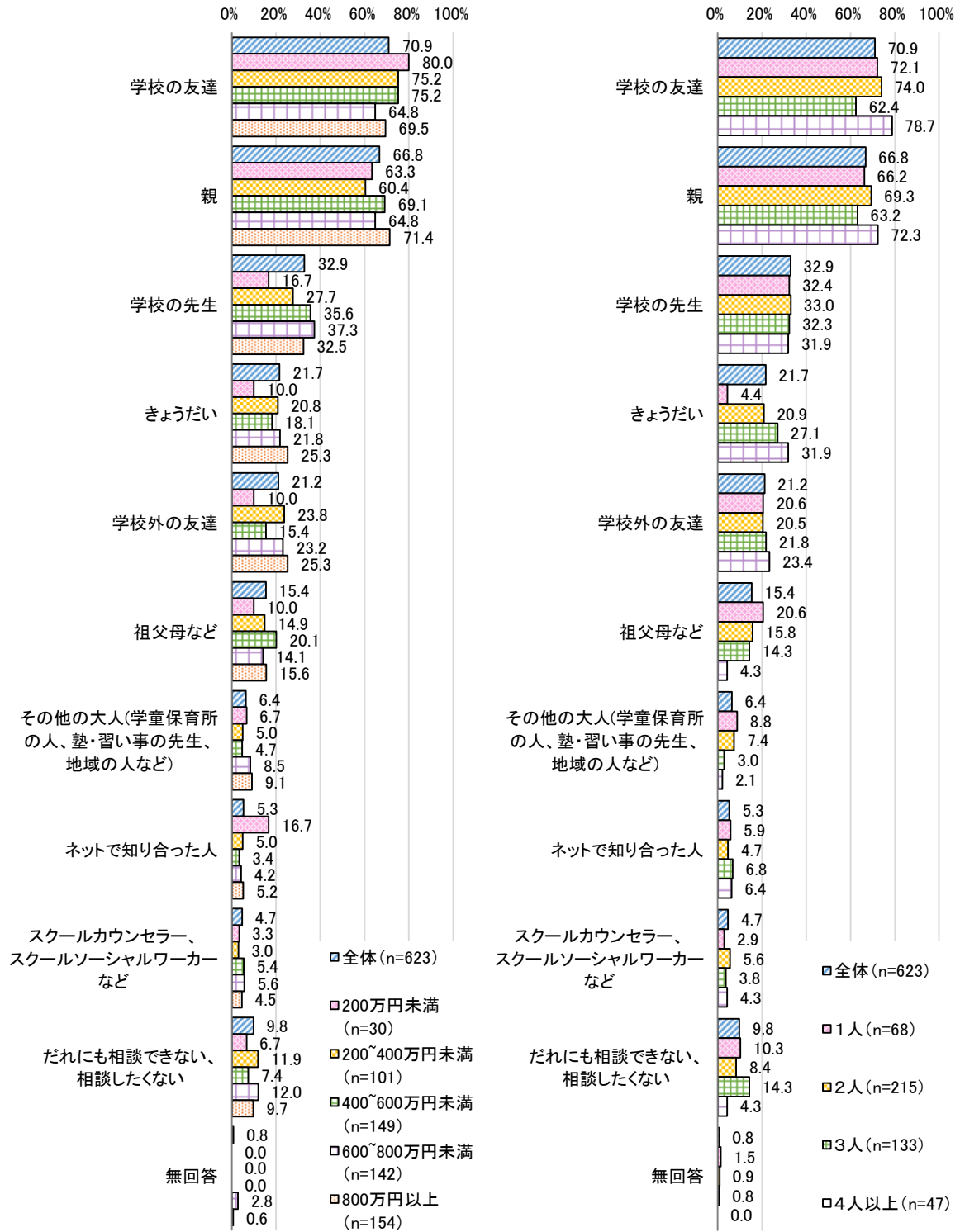


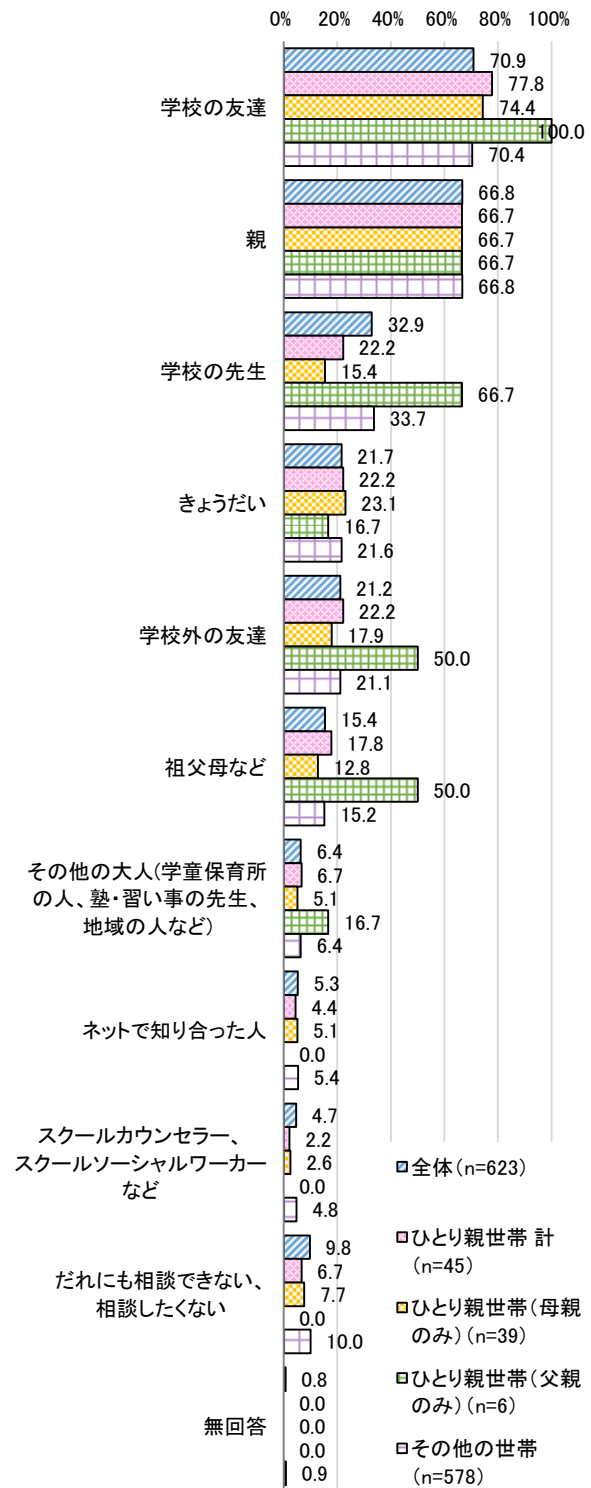
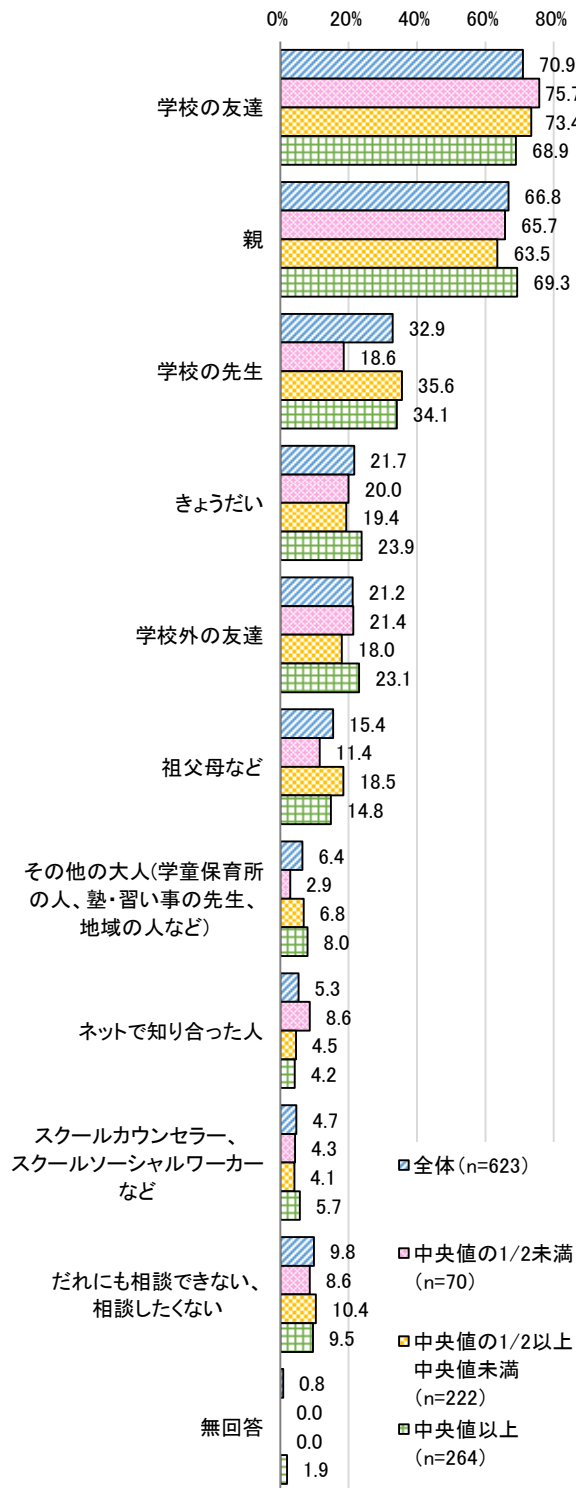


図表Ⅱ-2-15 信頼できる大人・友人 2/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

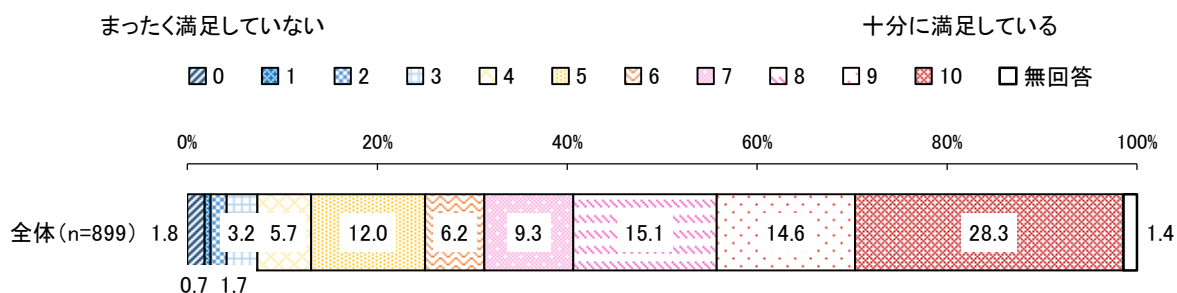




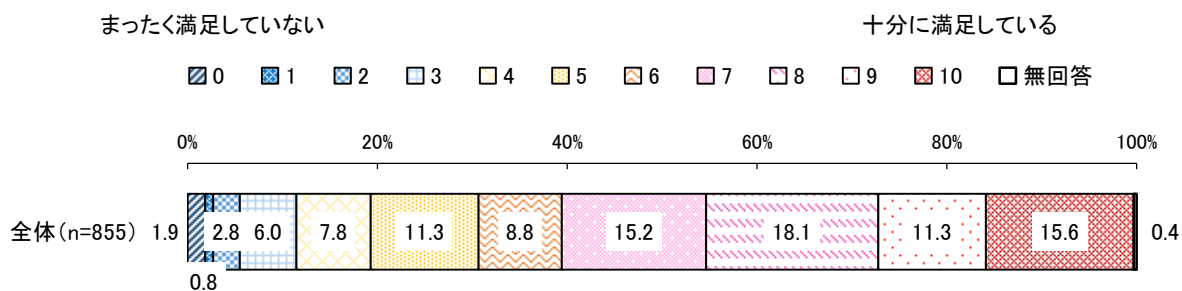
(10) 主観的幸福（生活満足度）

問14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していないから「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

【小学5年生】



【中学2年生】



【全体】

生活の満足度について、小学5年生では過半数が8以上、中学2年生では過半数が7以上と回答している。

【属性別】（図表Ⅱ-2-16 参照）

世帯年収別にみると、小学5年生では200～400万円未満の世帯で満足度10の割合が最も高い。中学2年生では200万円未満の世帯で満足度8以上の割合が最も高い。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では子供の人数が4人以上の世帯で満足度が最も高い。中学2年生では子供の人数が2人の世帯で満足度が最も高い。

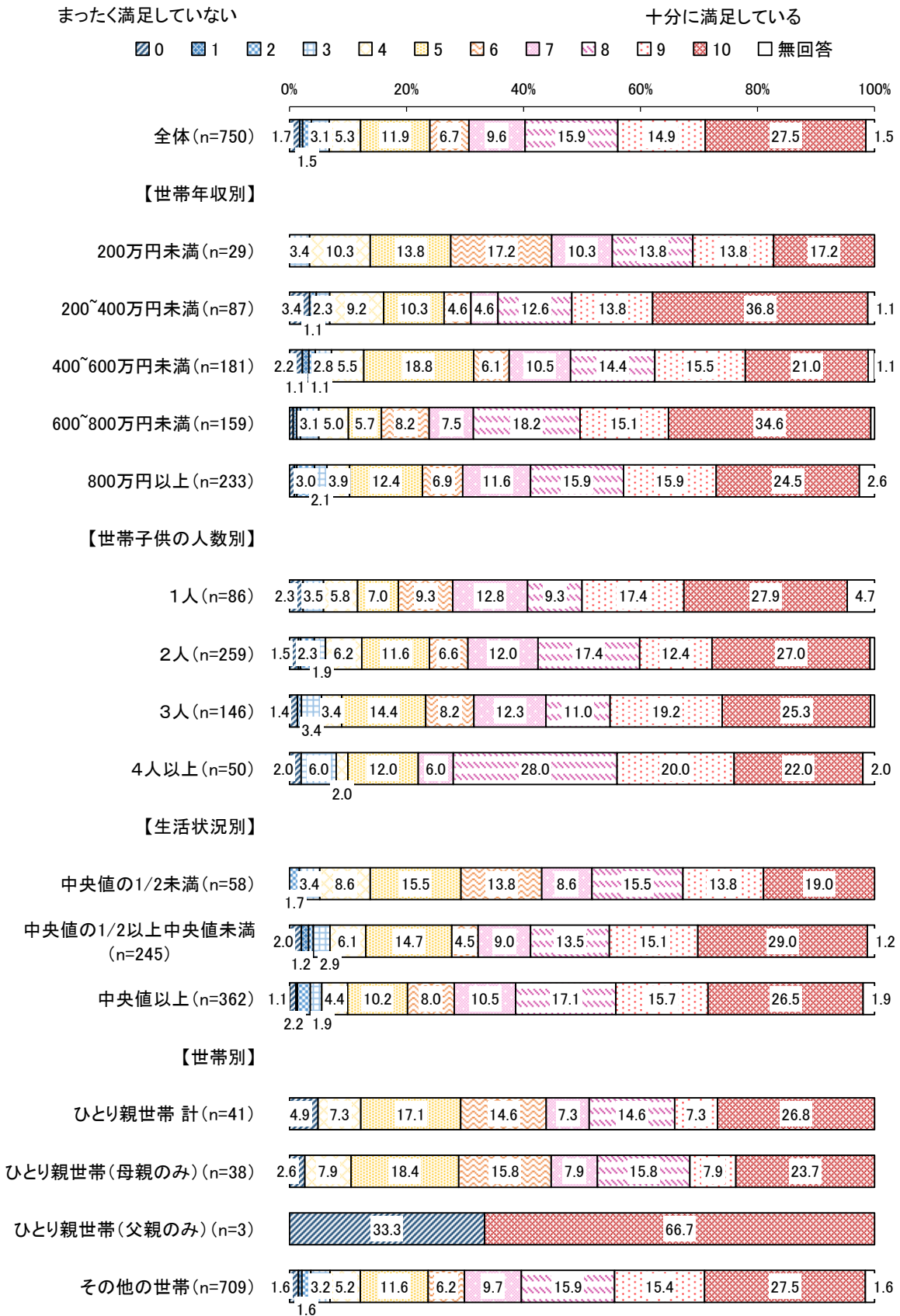
生活状況別にみると、小学5年生、中学2年生ともに「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より満足度5以下割合が高くなっている。

世帯別にみると、小学5年生ではひとり親世帯でその他の世帯より満足度が低くなっている。中学2年生では大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-16 主観的幸福（生活満足度） 1/2

（世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別）

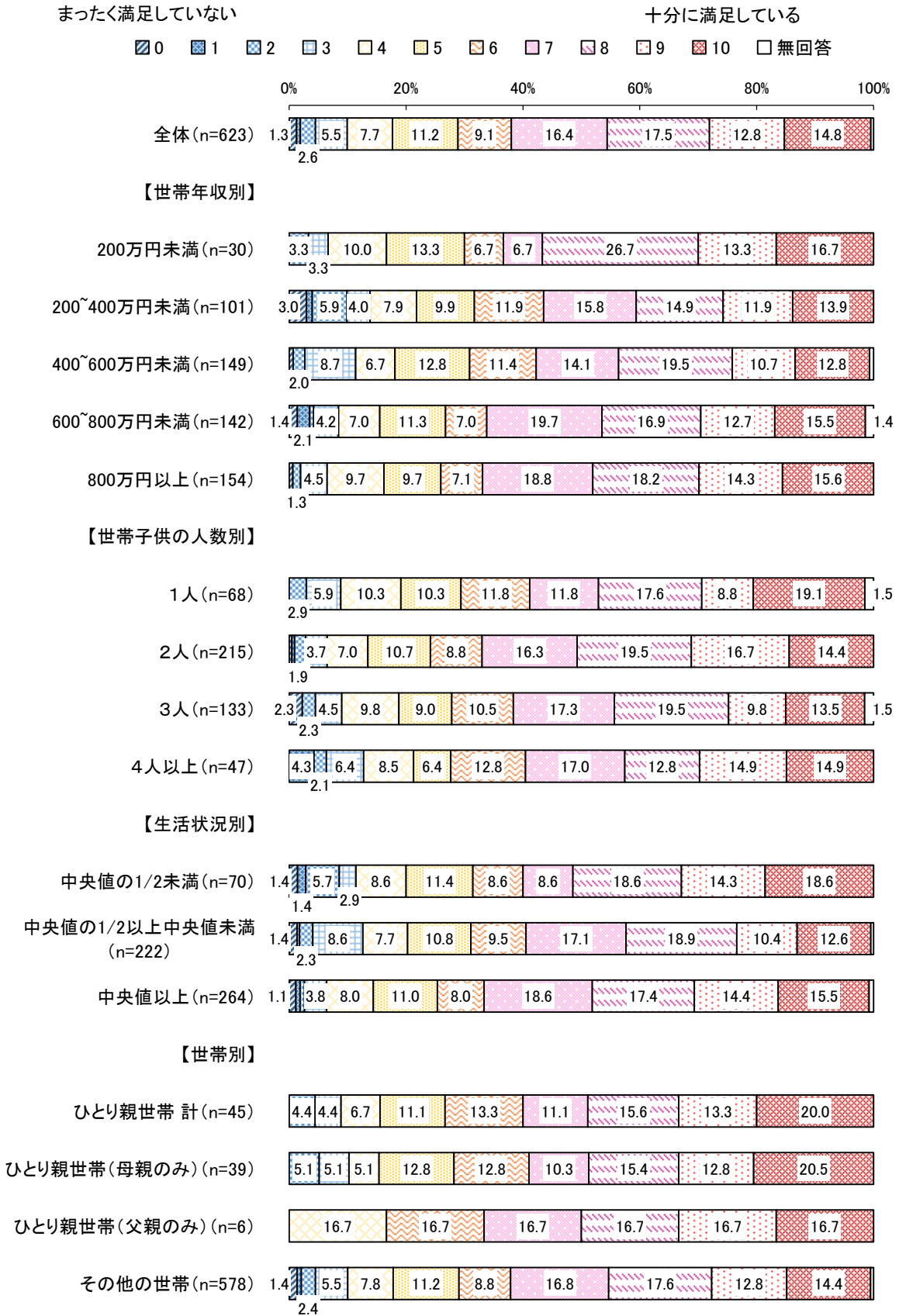
【小学5年生】



図表Ⅱ-2-16 主観的幸福（生活満足度） 2/2

（世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別）

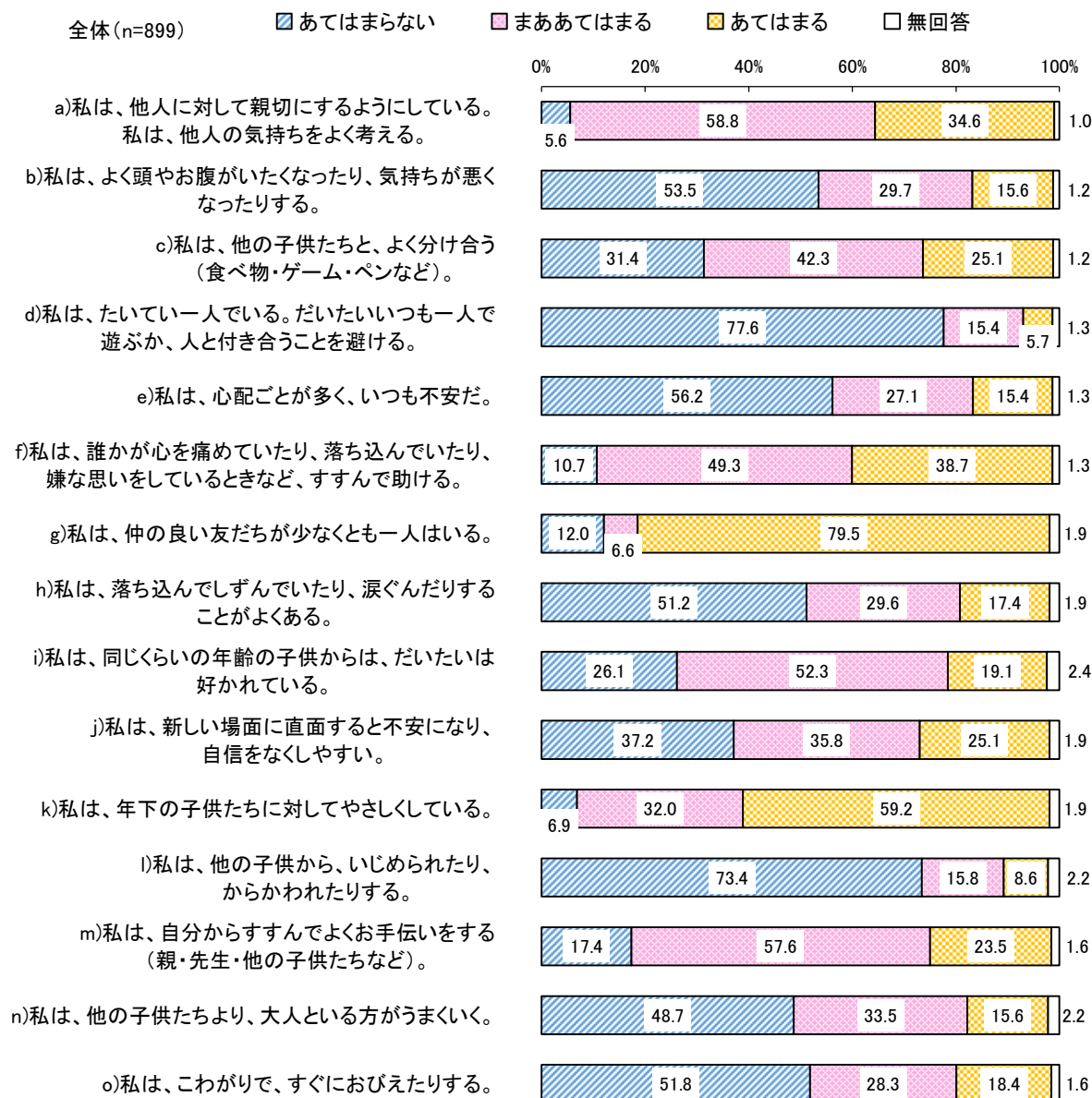
【中学2年生】



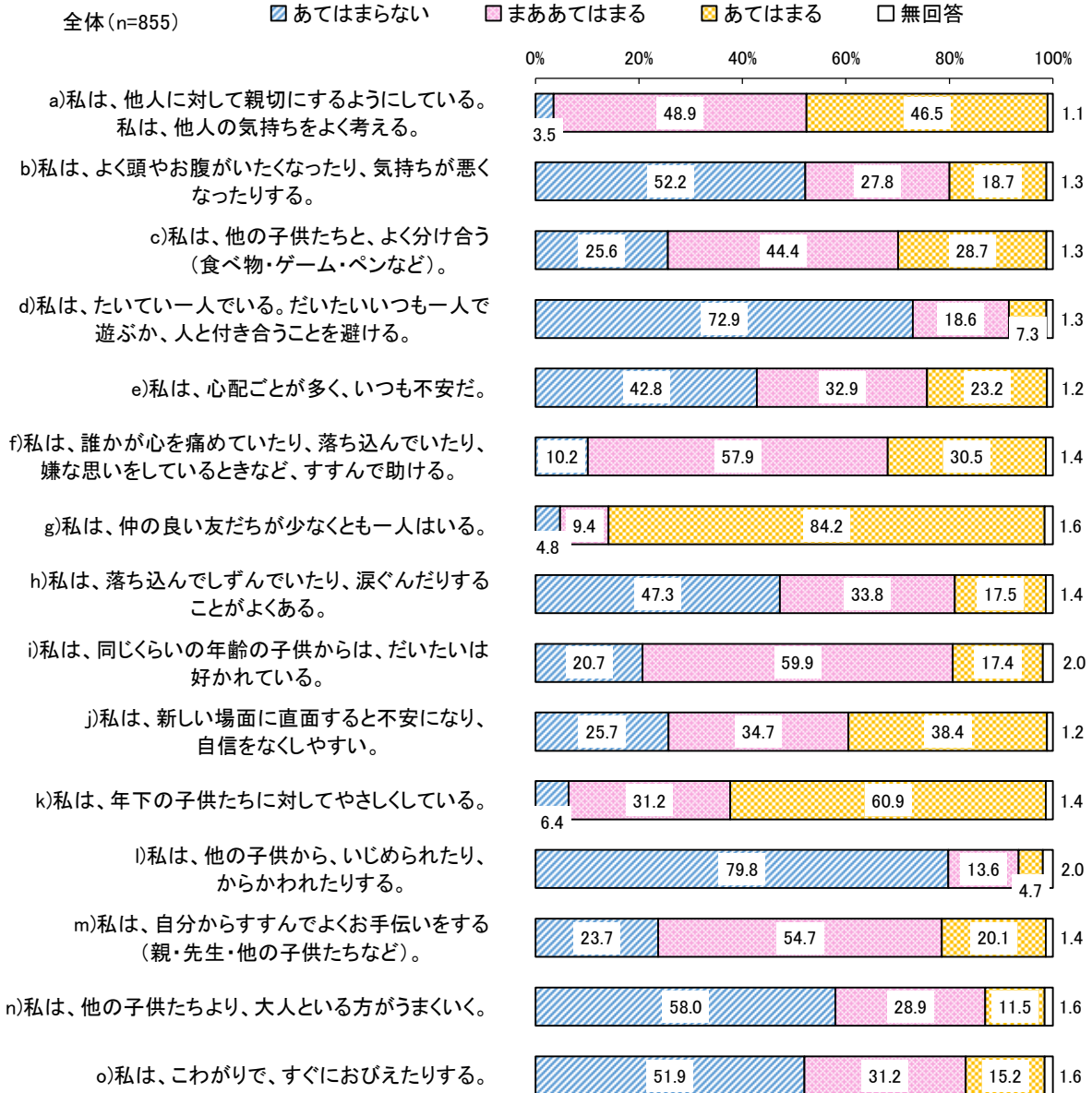
(11) 精神状態

問15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【小学5年生】



【中学2年生】



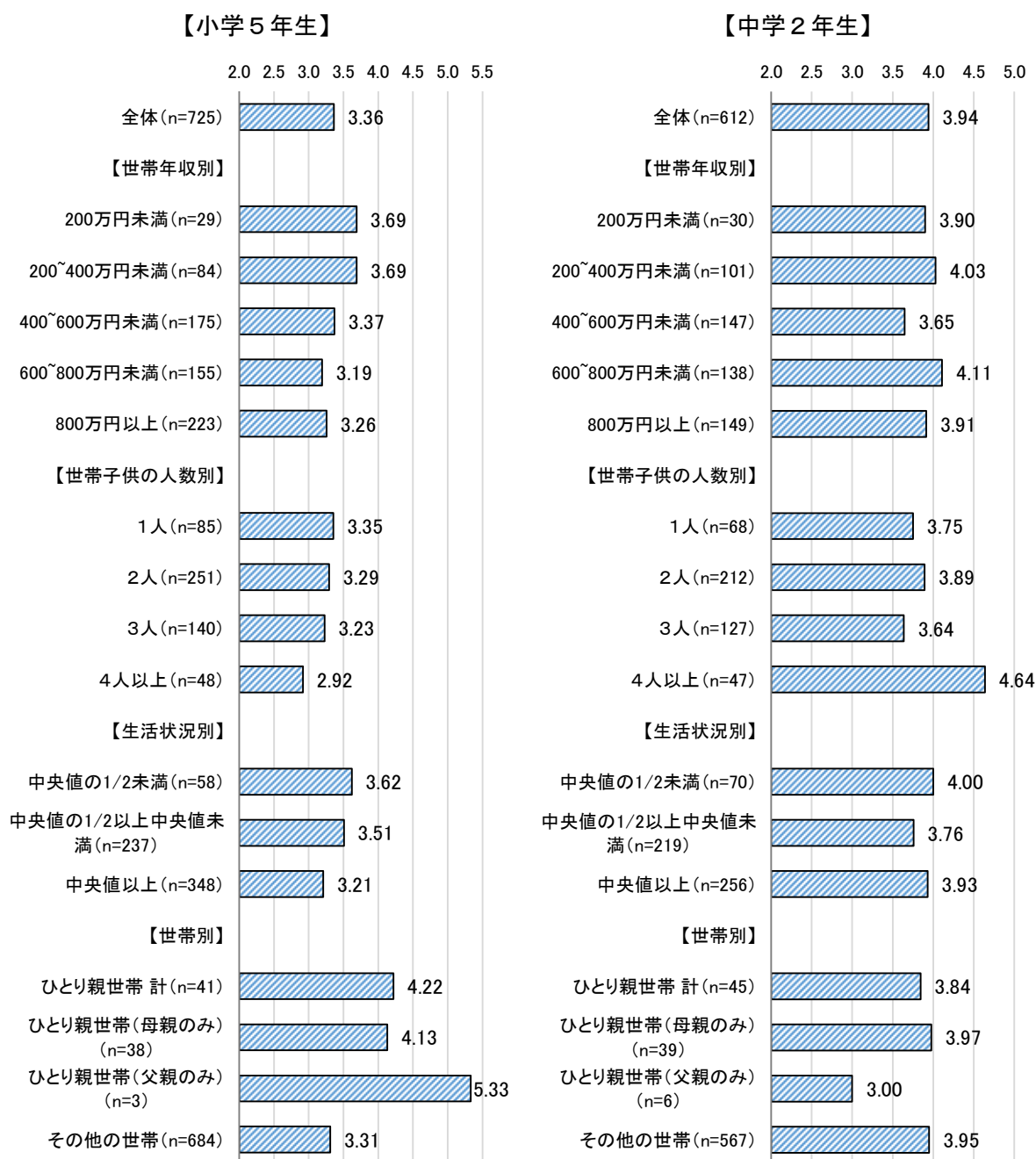
「子供の心理的な状態」に関して、本調査では「強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

採点方法は、ひとつの質問ごとに 0 点 (あてはまらない) から 2 点 (あてはまる) を振り、合計を計算した。

「情緒の問題」に関して、5つの項目 (b、e、h、j、o) の結果を足し合わせて、スコアを算出した (0~10 点 : 得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

全体の平均値は小学5年生で 3.36 点、中学2年生で 3.94 点となっている。

小学5年生ではひとり親世帯や等価世帯収入が低いほど得点が高くなっている。中学2年生では世帯子供的人数が4人以上の世帯で得点が高くなっている。

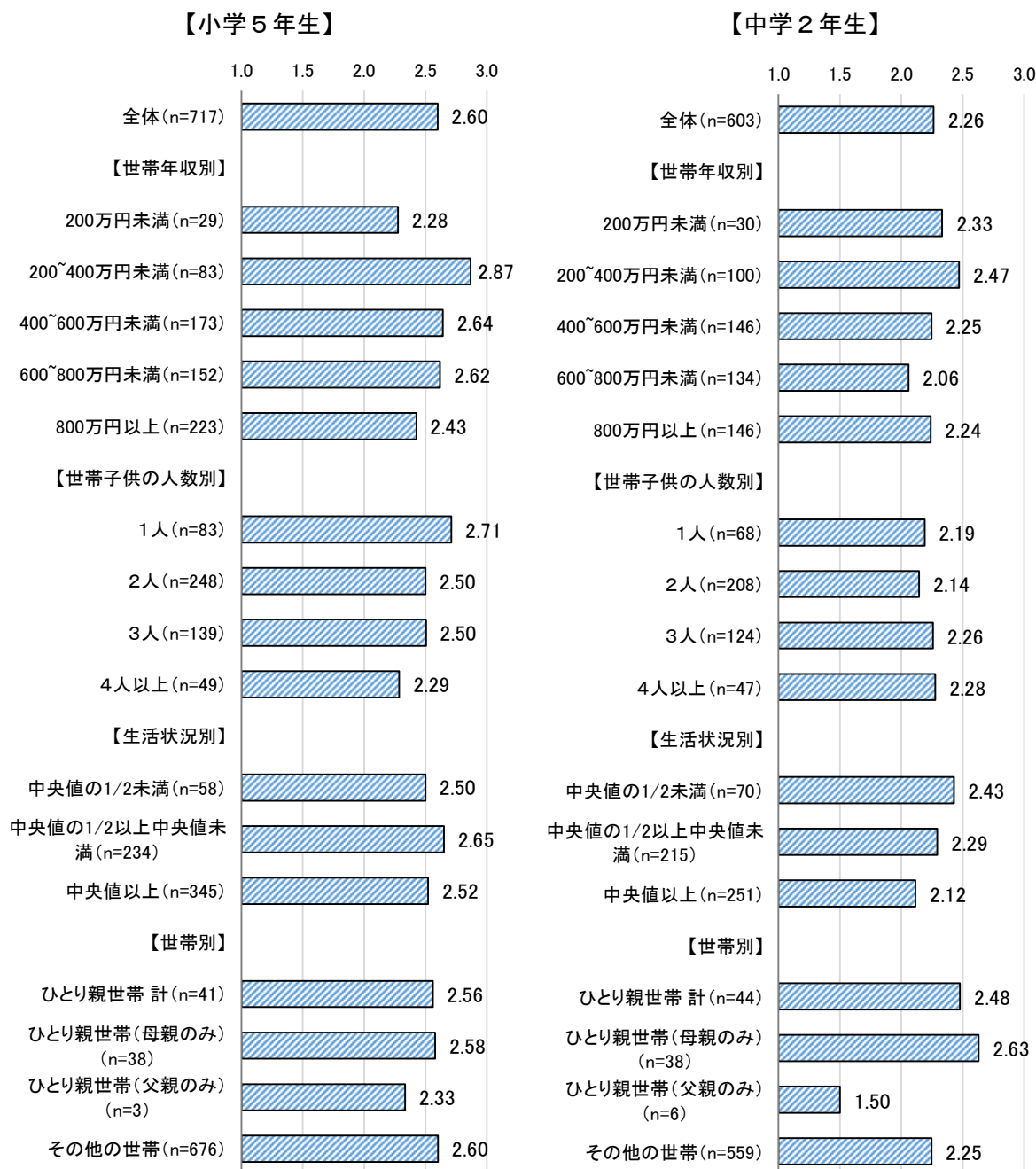


「仲間関係の問題」に関して、5つの項目（d、g、i、l、n）の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点：得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

※g、iの項目は逆転項目としてスコアを算出

全体の平均値は小学5年生で2.60点、中学2年生で2.26点となっている。

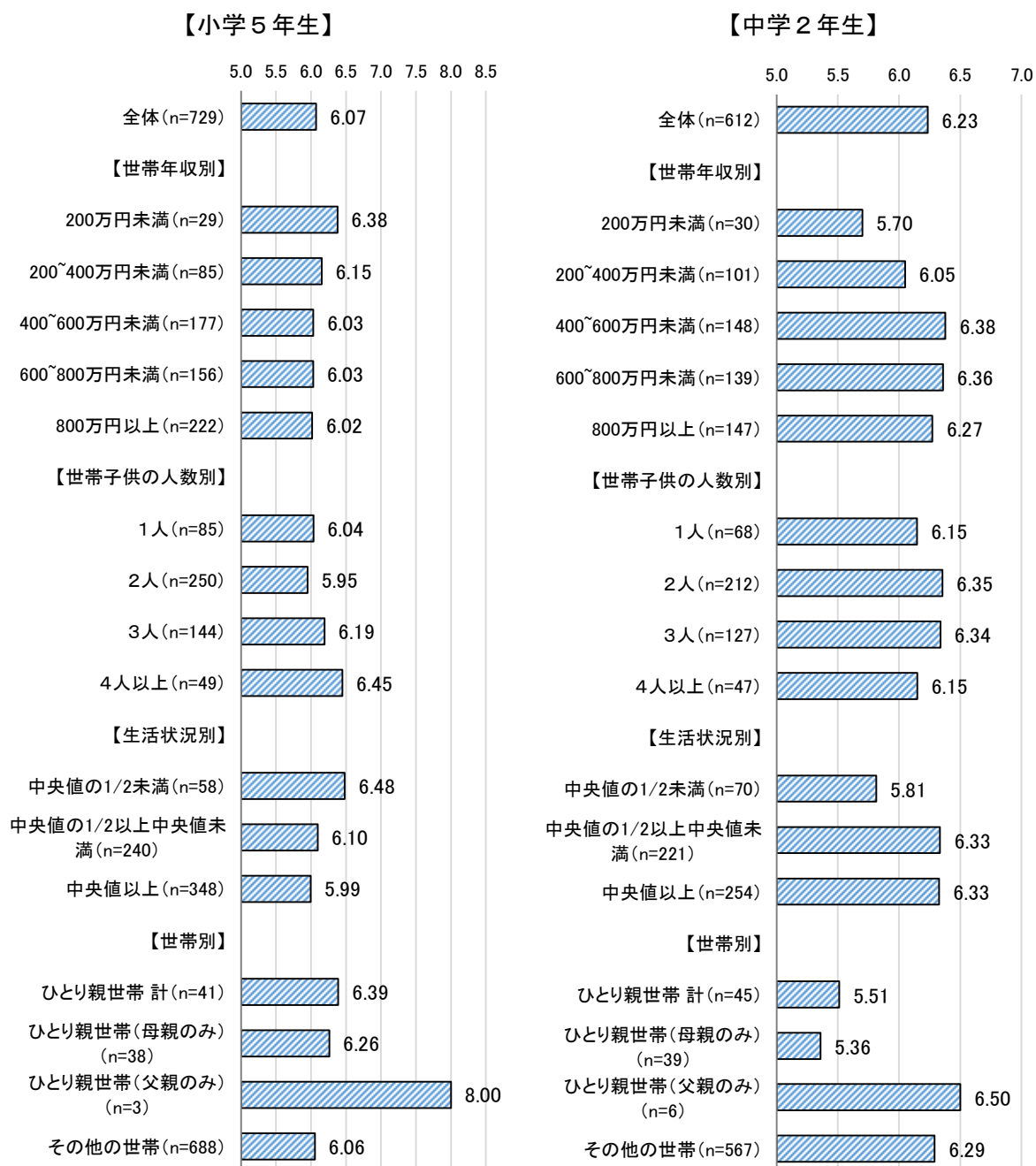
小学5年生では世帯年収が200～400万円未満や世帯子供の人数が少ないほど得点が高くなっている。中学2年生ではひとり親世帯や等価世帯収入が低いほど得点が高くなっている。



「向社会性」に関して、5つの項目（a、c、f、k、m）の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点：得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

全体の平均値は小学5年生で6.07点、中学2年生で6.23点となっている。

小学5年生では「中央値の1/2未満」やひとり親世帯、世帯子供の人数が多い世帯で得点が高い。一方、中学2年生では「中央値の1/2未満」やひとり親世帯で得点が低くなっている。

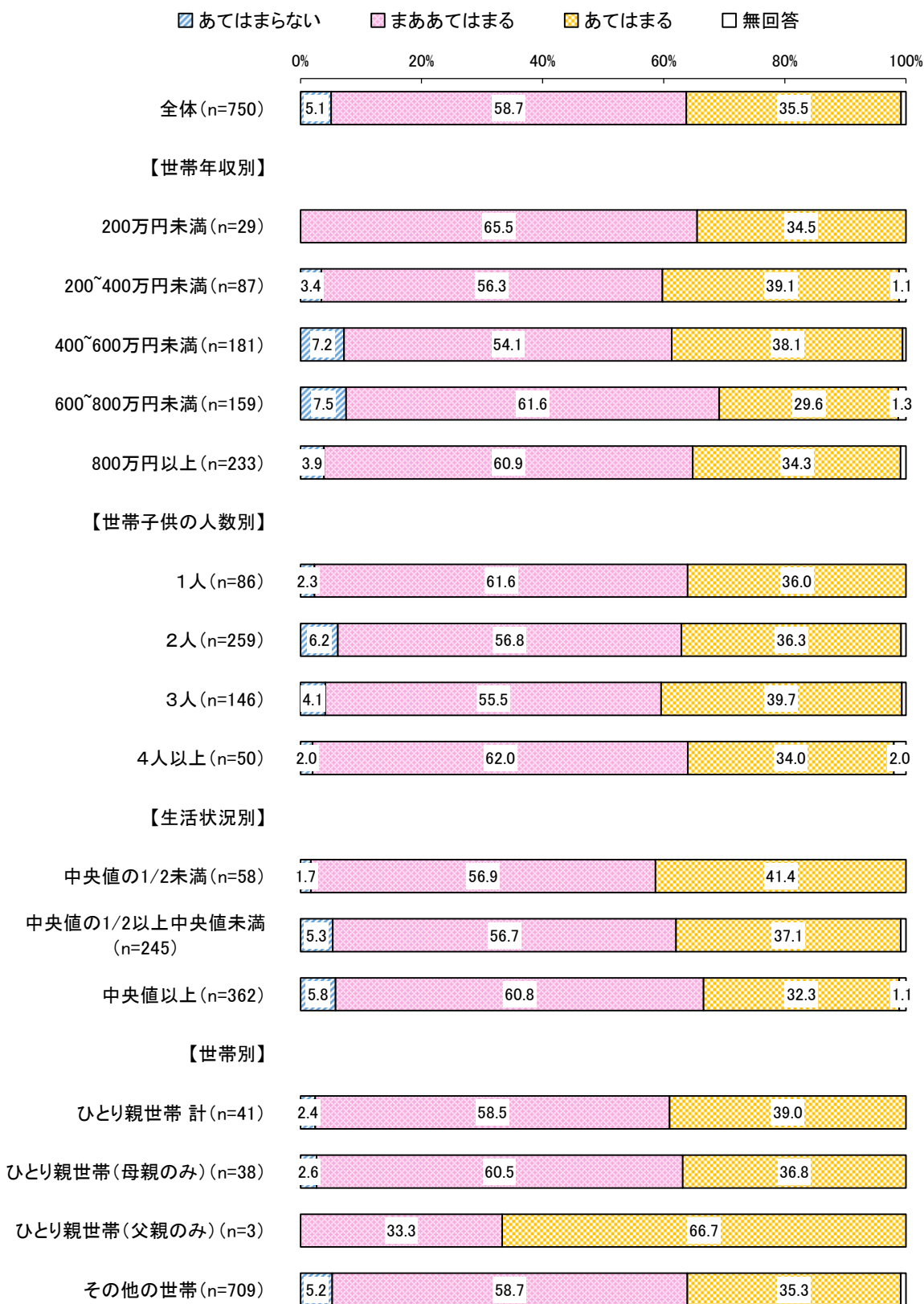


《参考》

図表Ⅱ-2-17 精神状態（世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別）

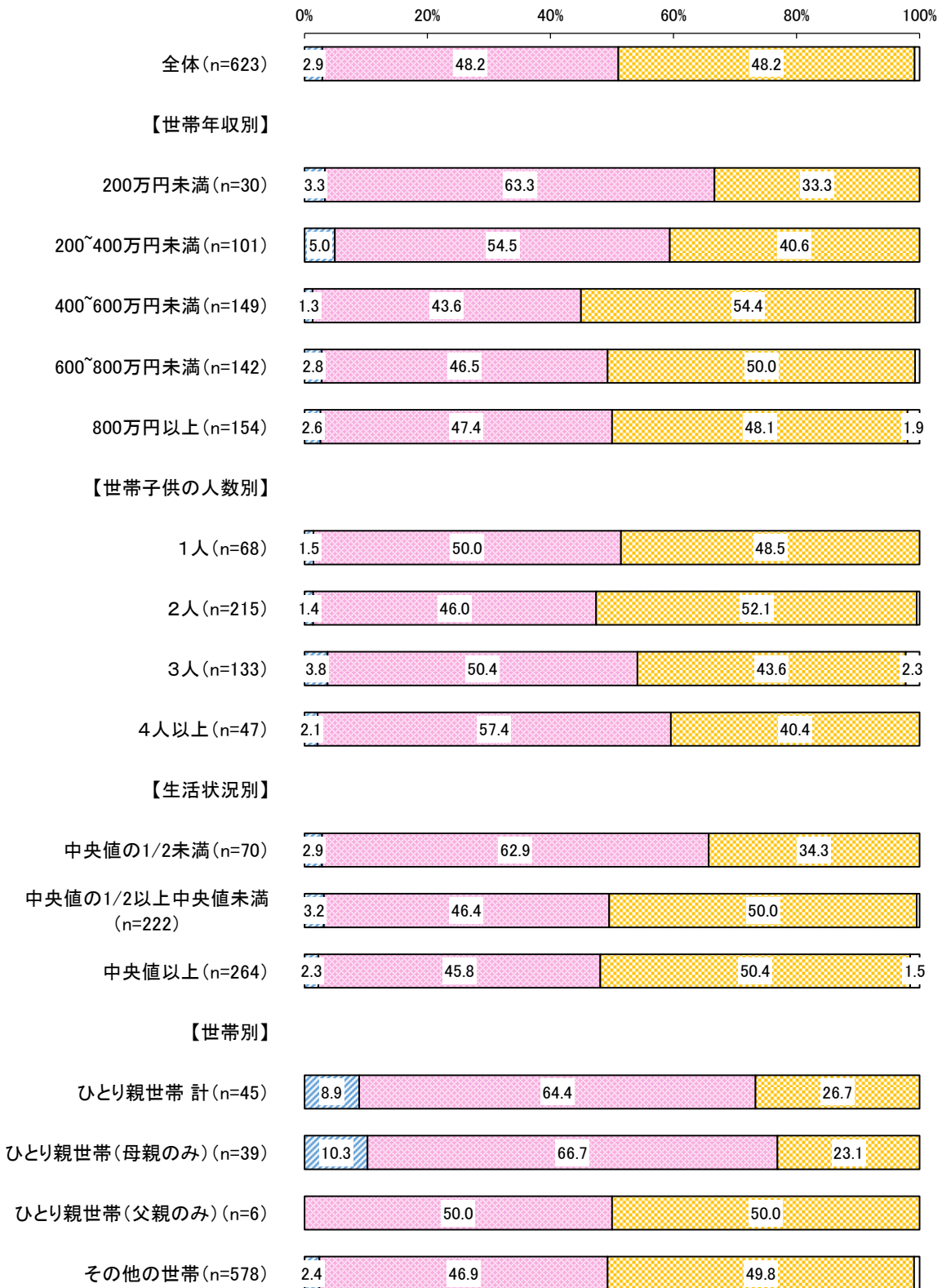
a) 私は、他人に対して親切にしているようにしている。

【小学5年生】



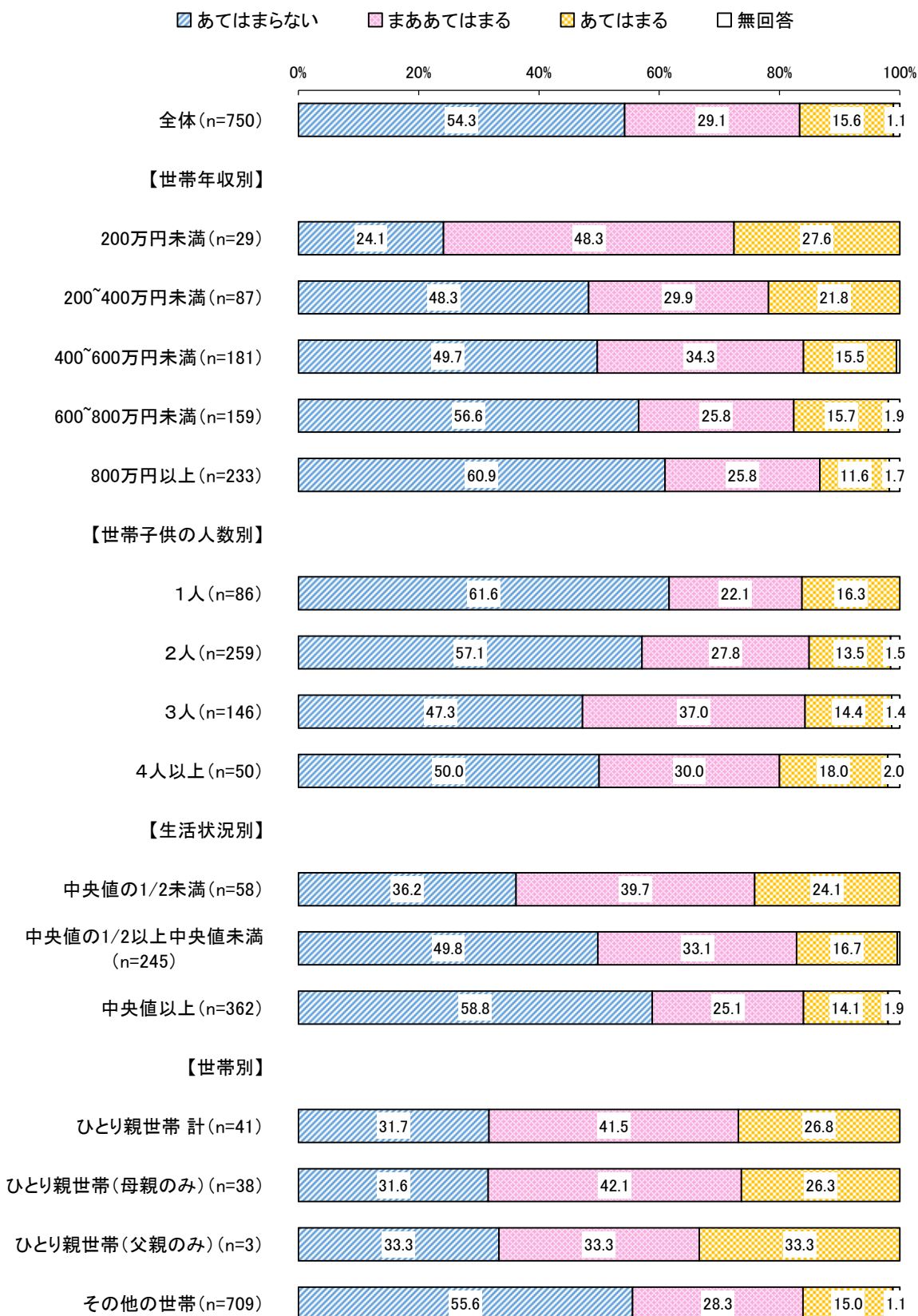
【中学2年生】

■ あてはまらない
 ■ まああてはまる
 ■ あてはまる
 □ 無回答

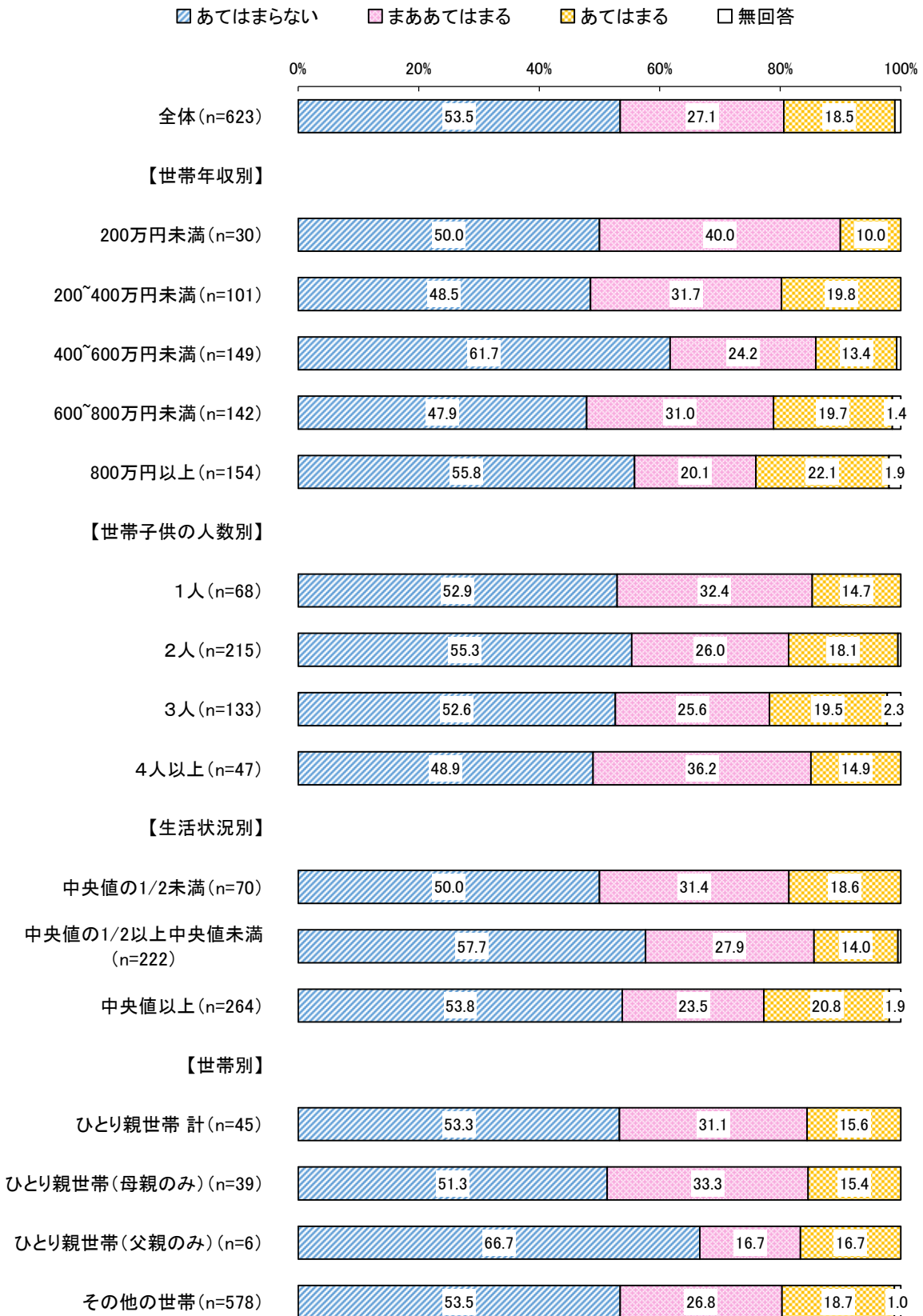


b)私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

【小学5年生】

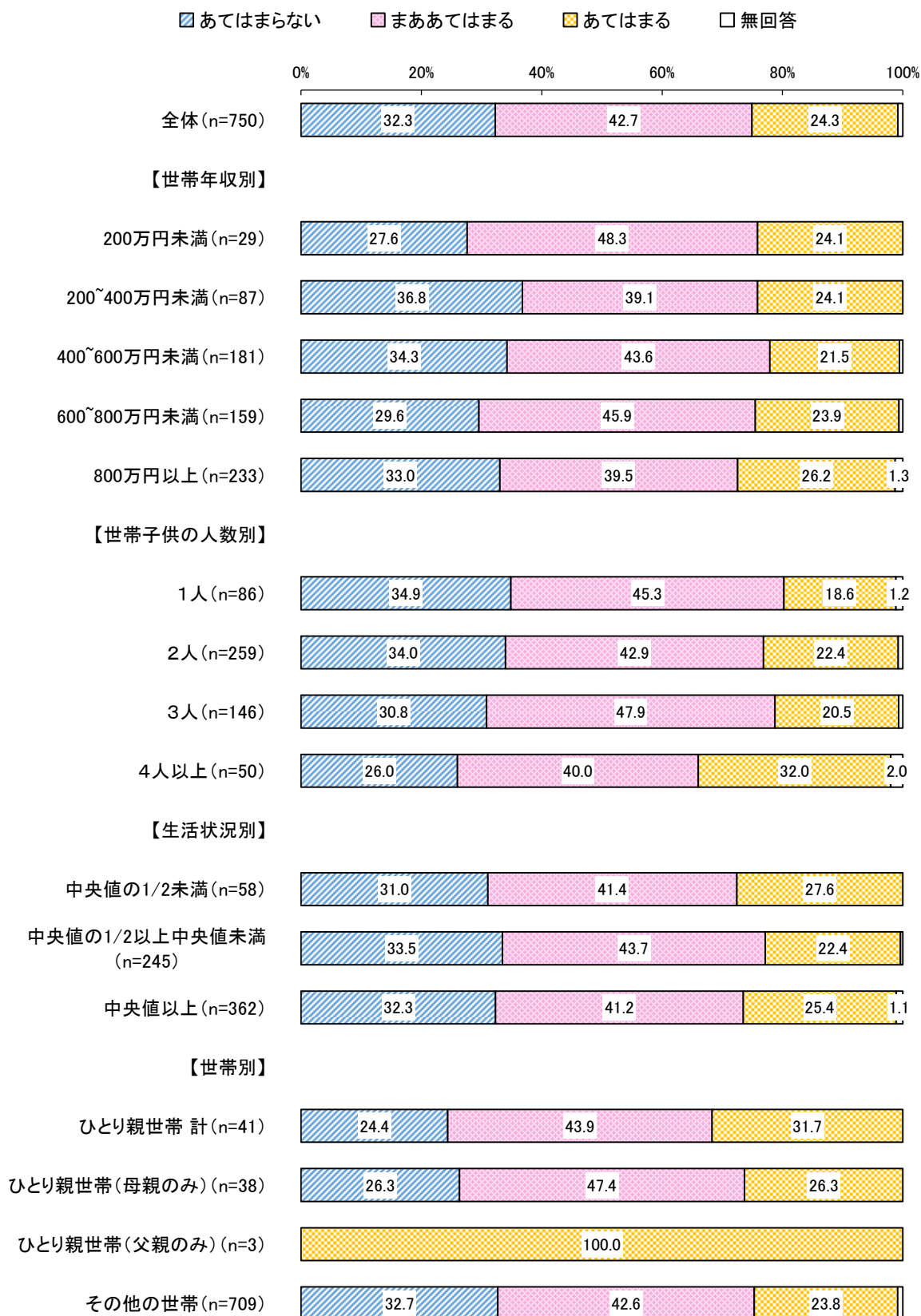


【中学2年生】



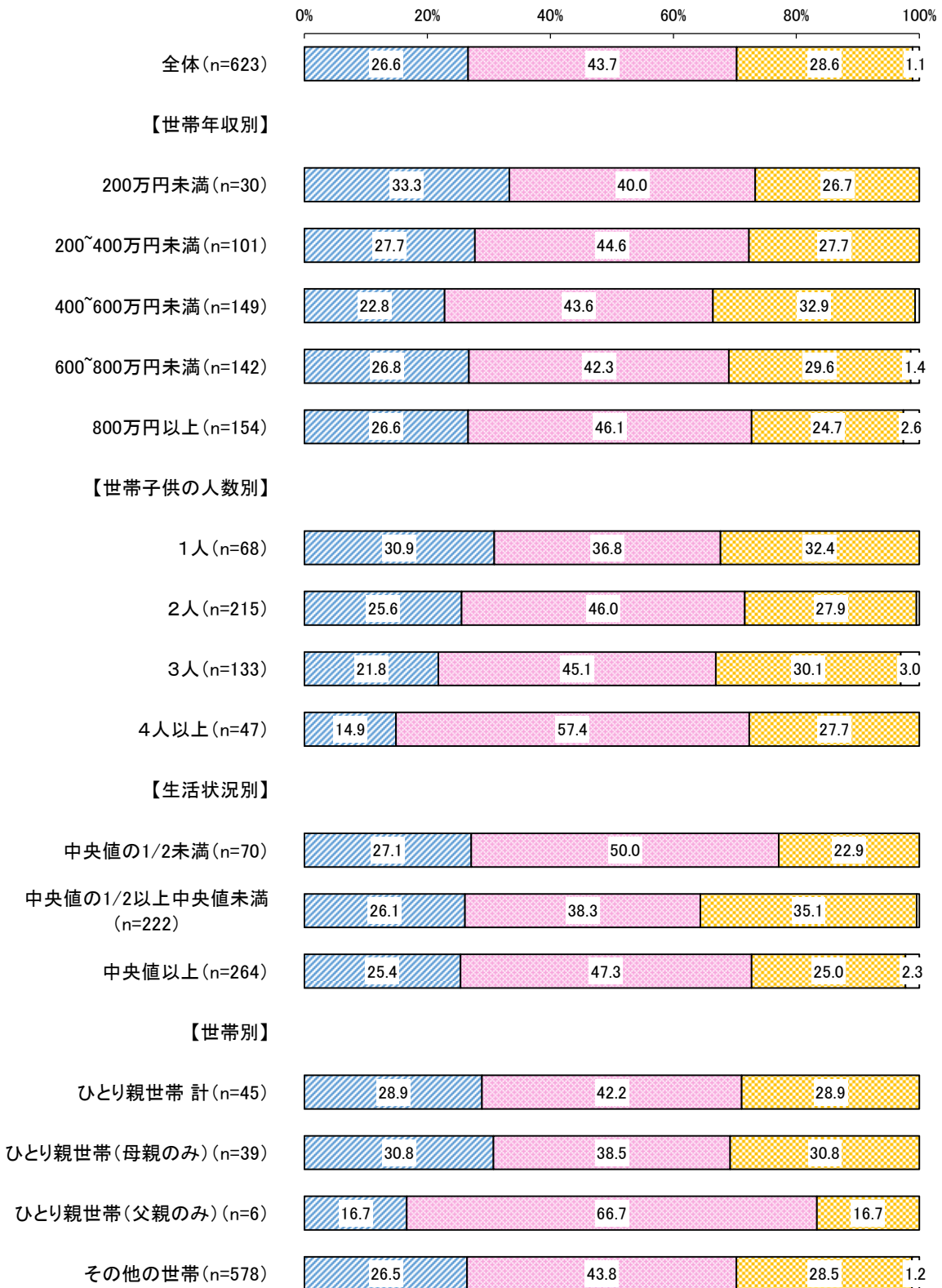
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。

【小学5年生】

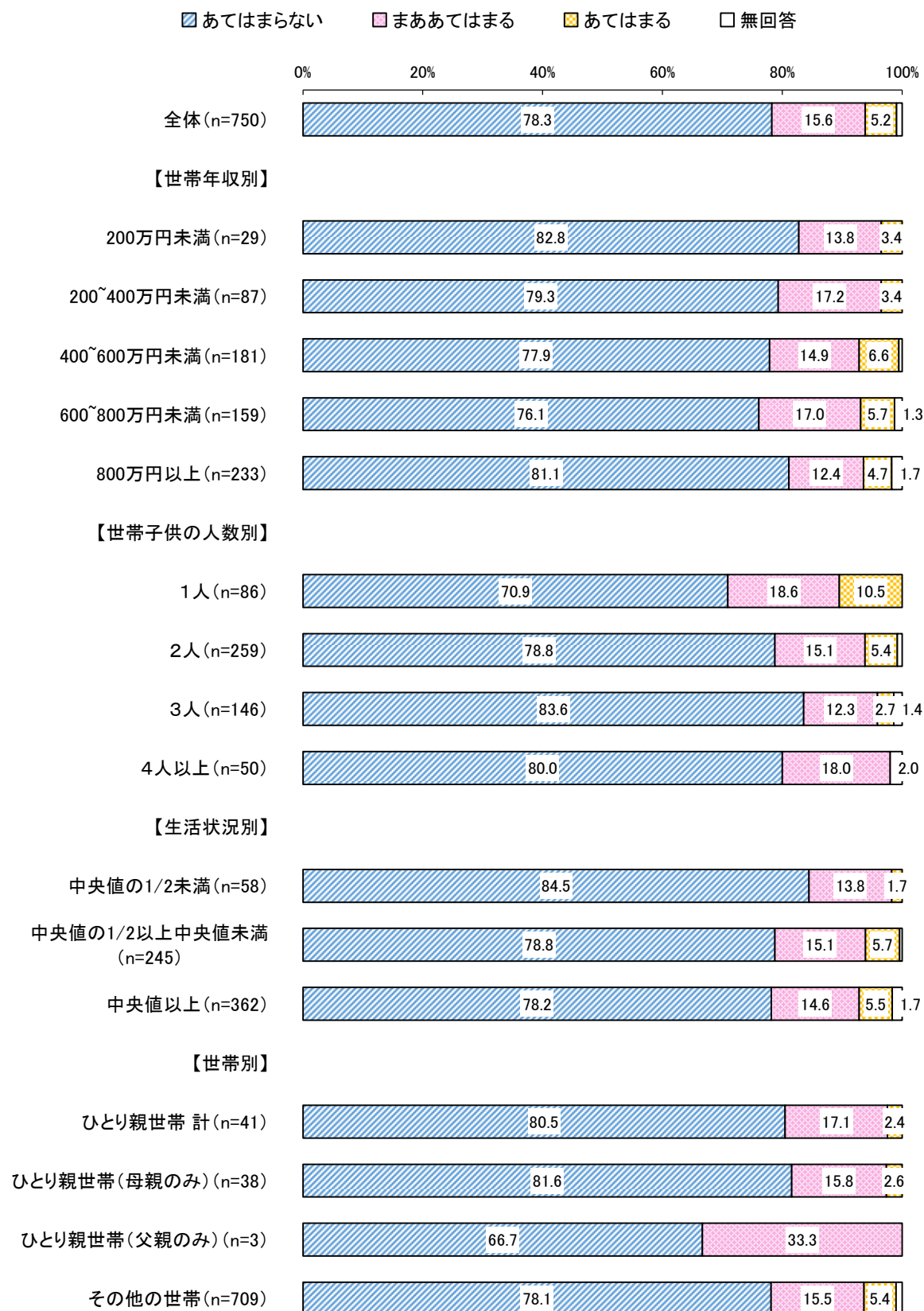


【中学2年生】

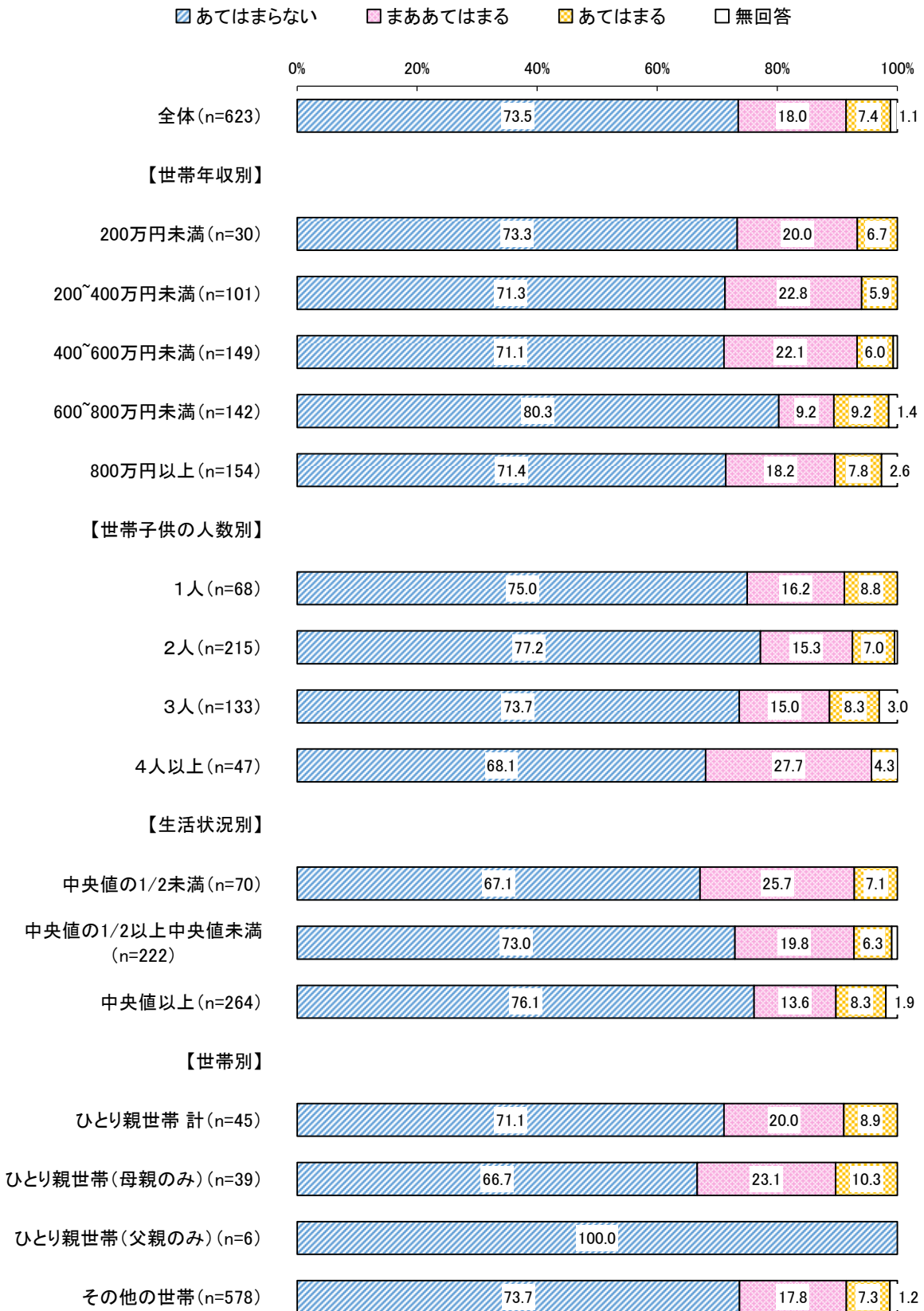
■ あてはまらない
 ■ まああてはまる
 ■ あてはまる
 □ 無回答



d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
【小学5年生】

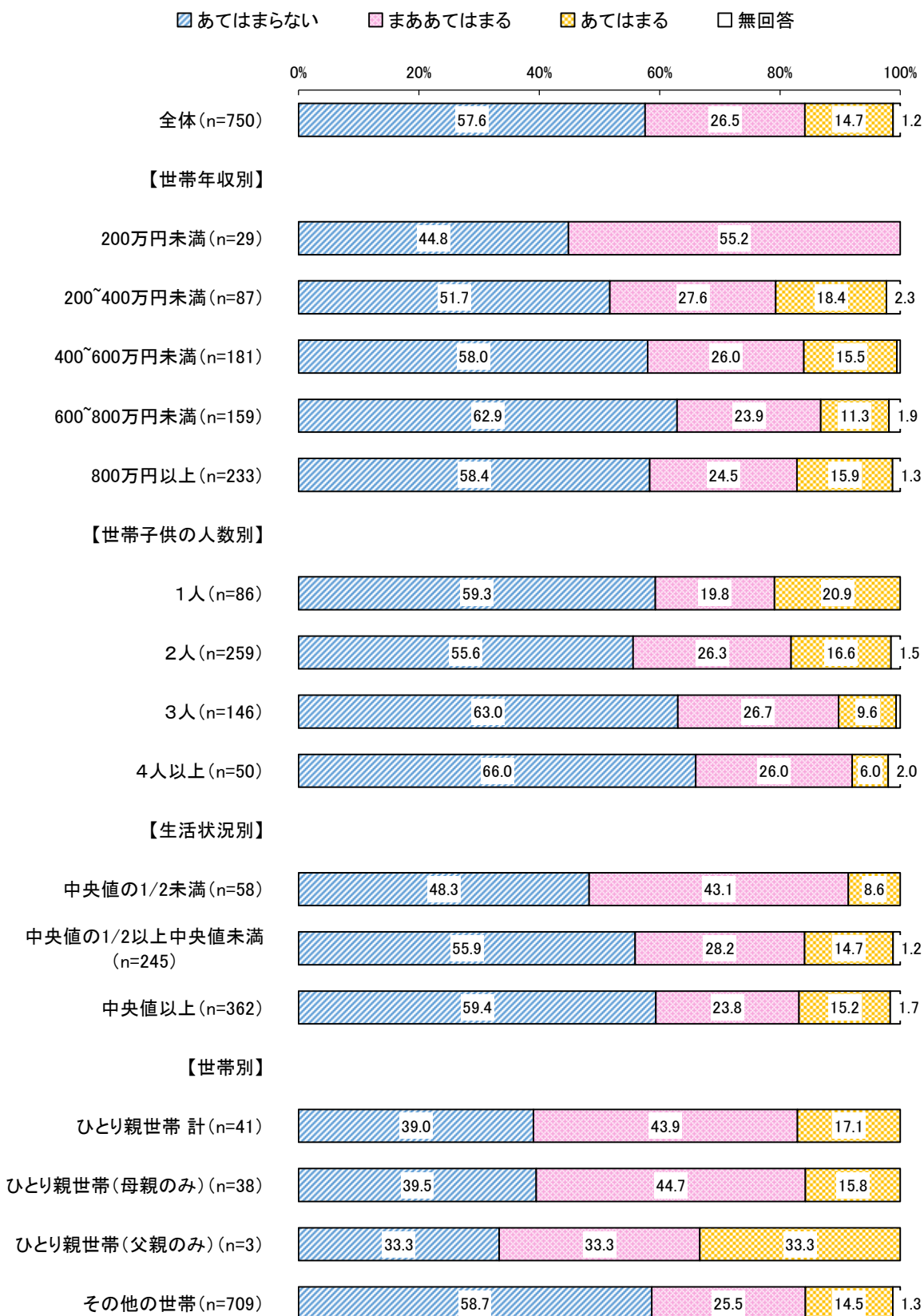


【中学2年生】

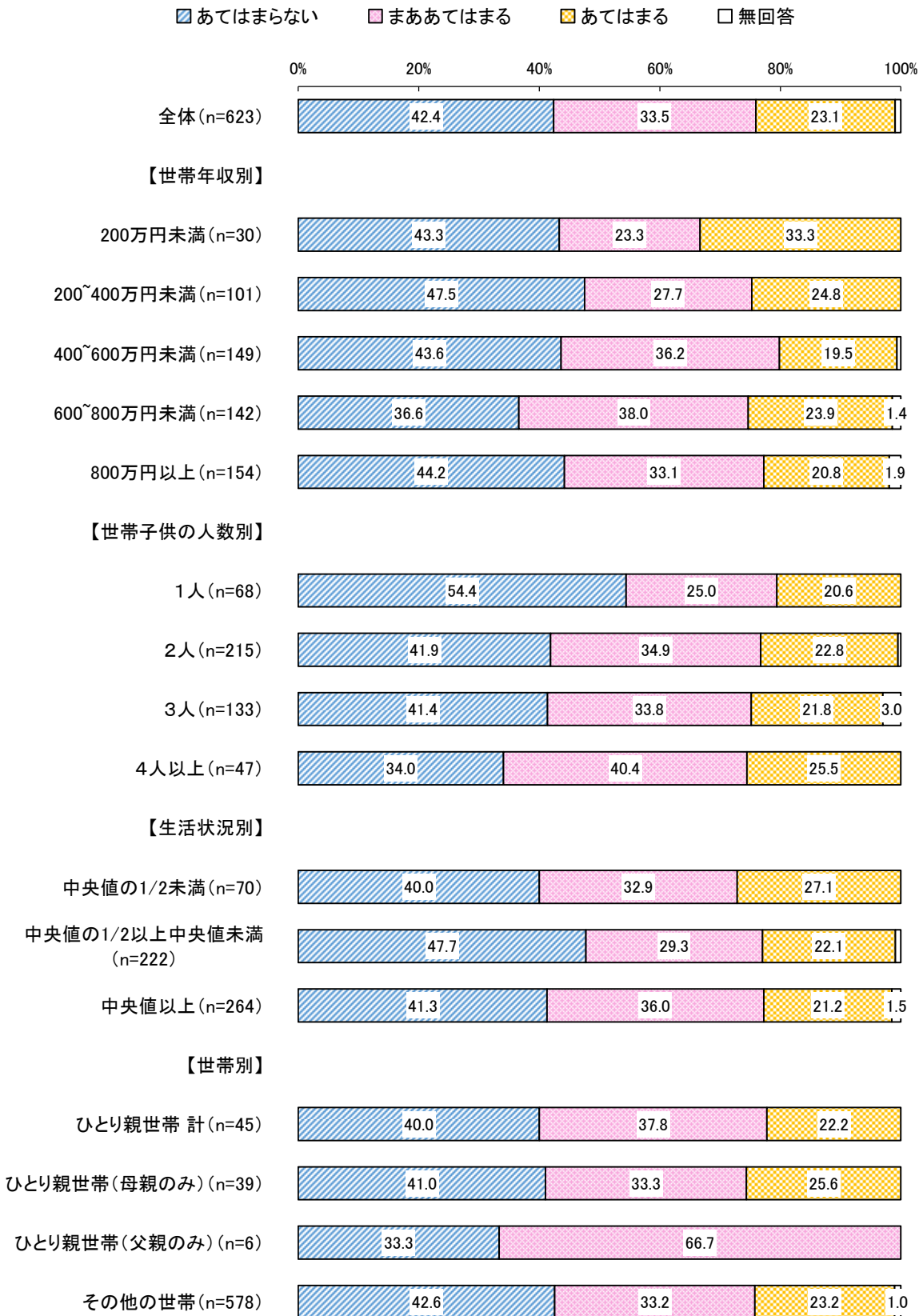


e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

【小学5年生】

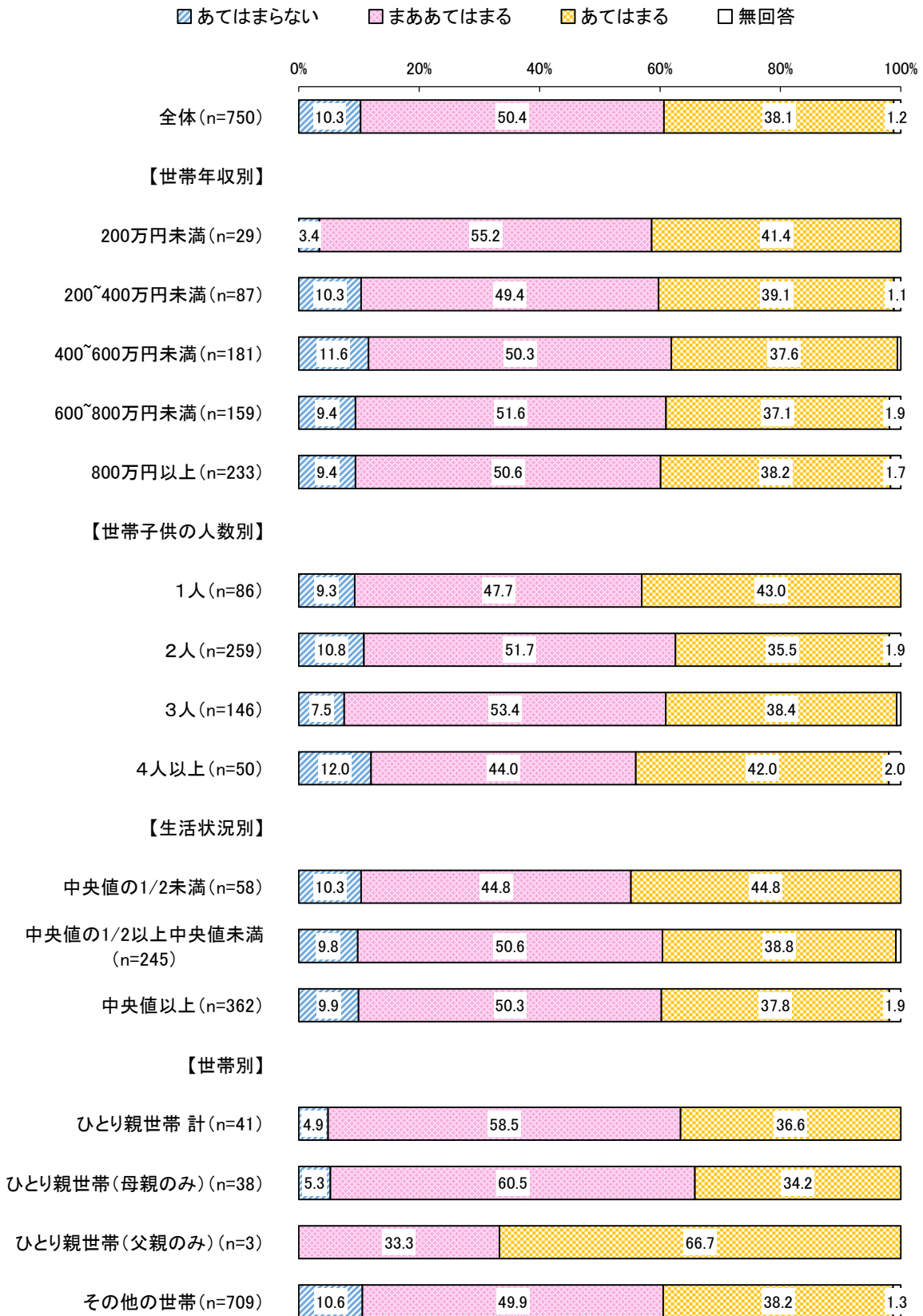


【中学2年生】

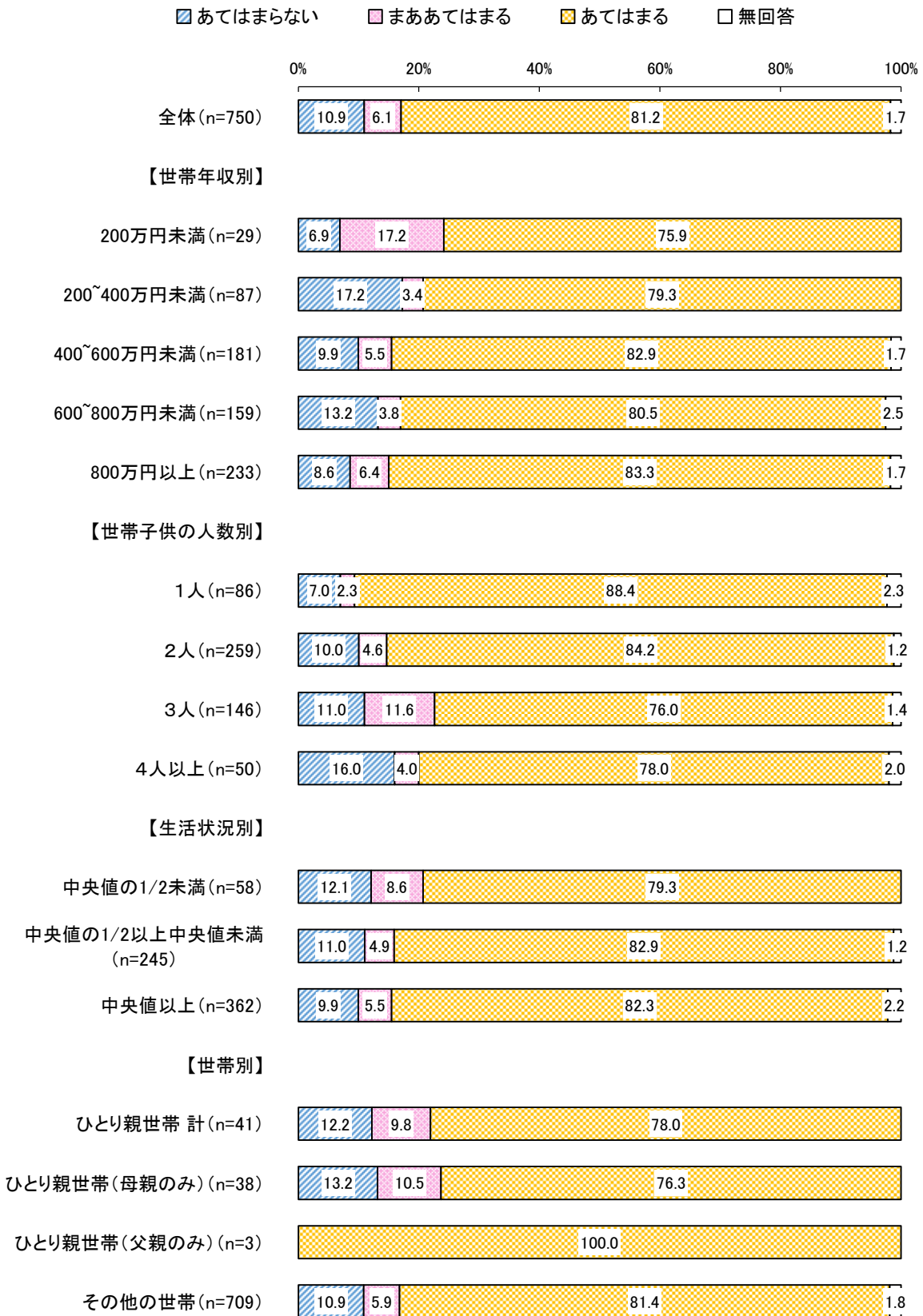


f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

【小学5年生】

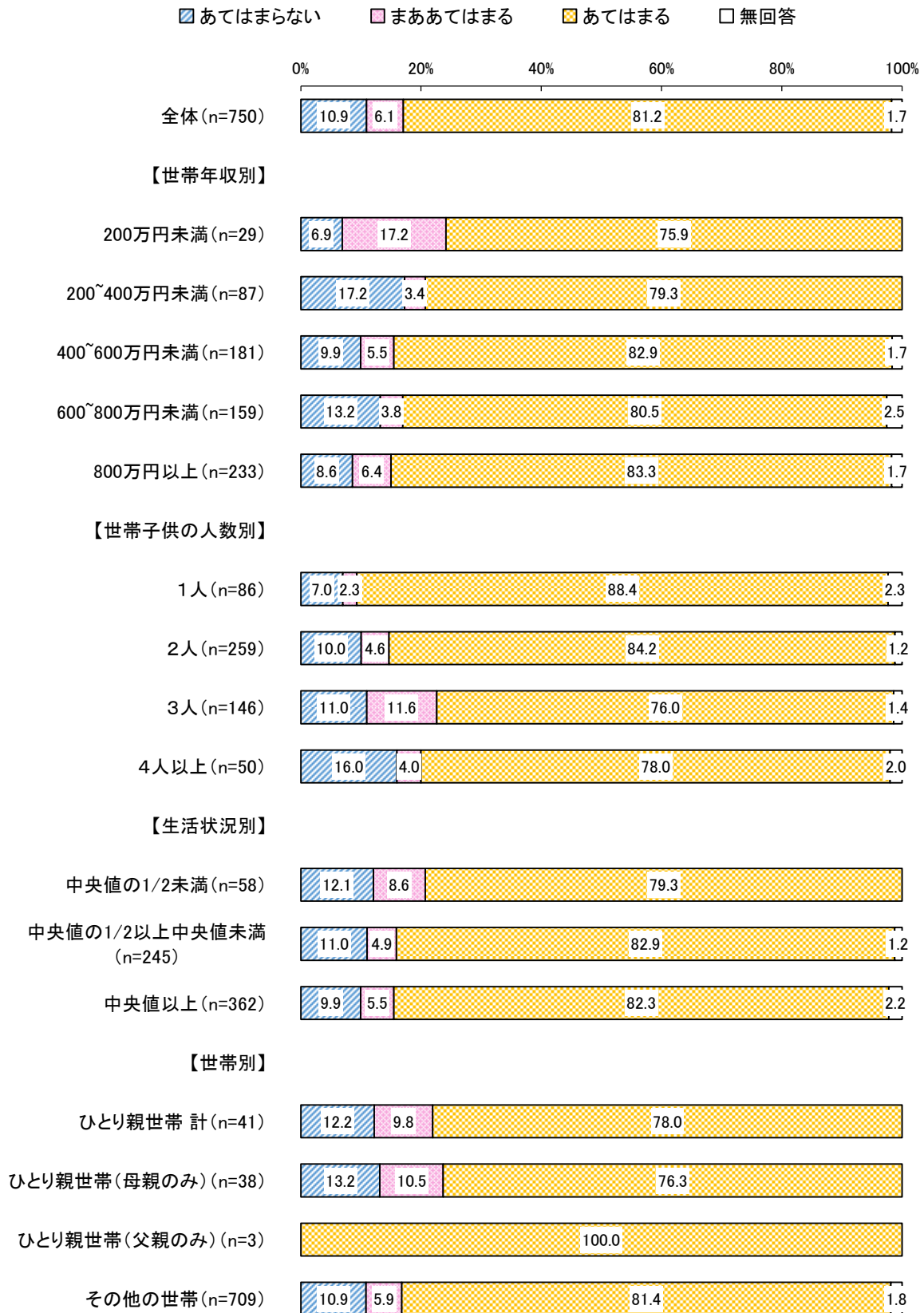


【中学2年生】



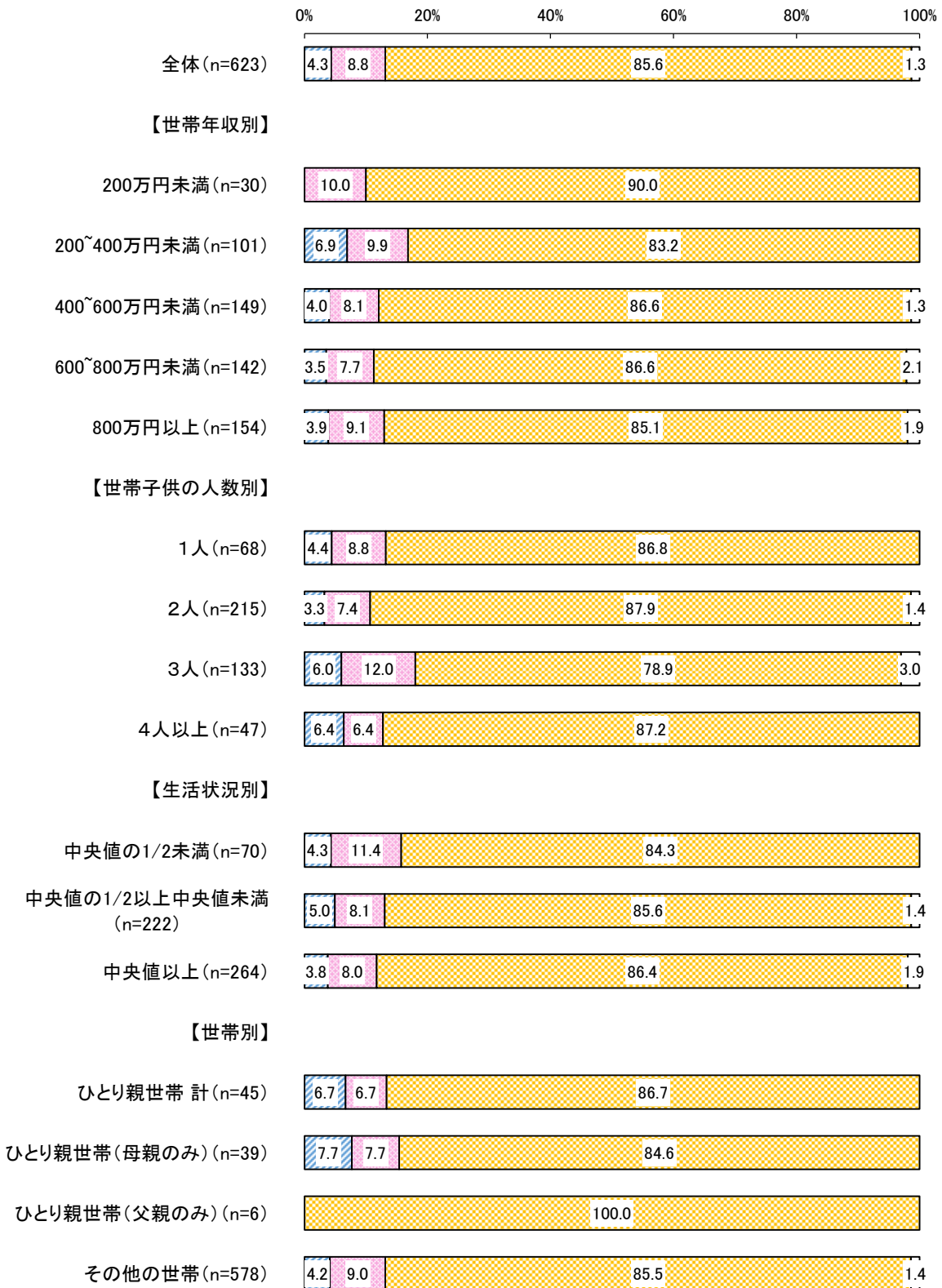
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

【小学5年生】



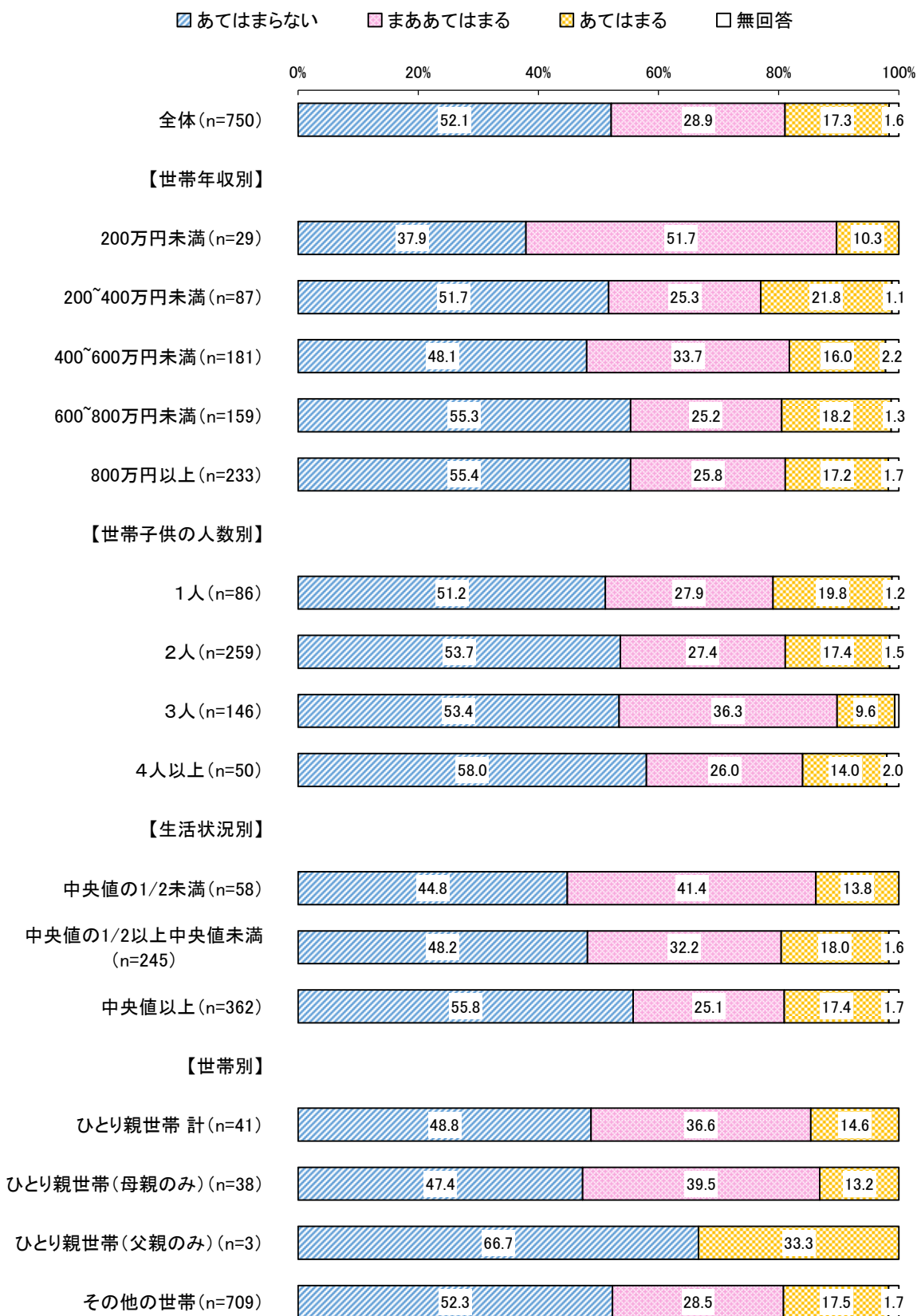
【中学2年生】

あてはまらない
 まああてはまる
 あてはまる
 無回答



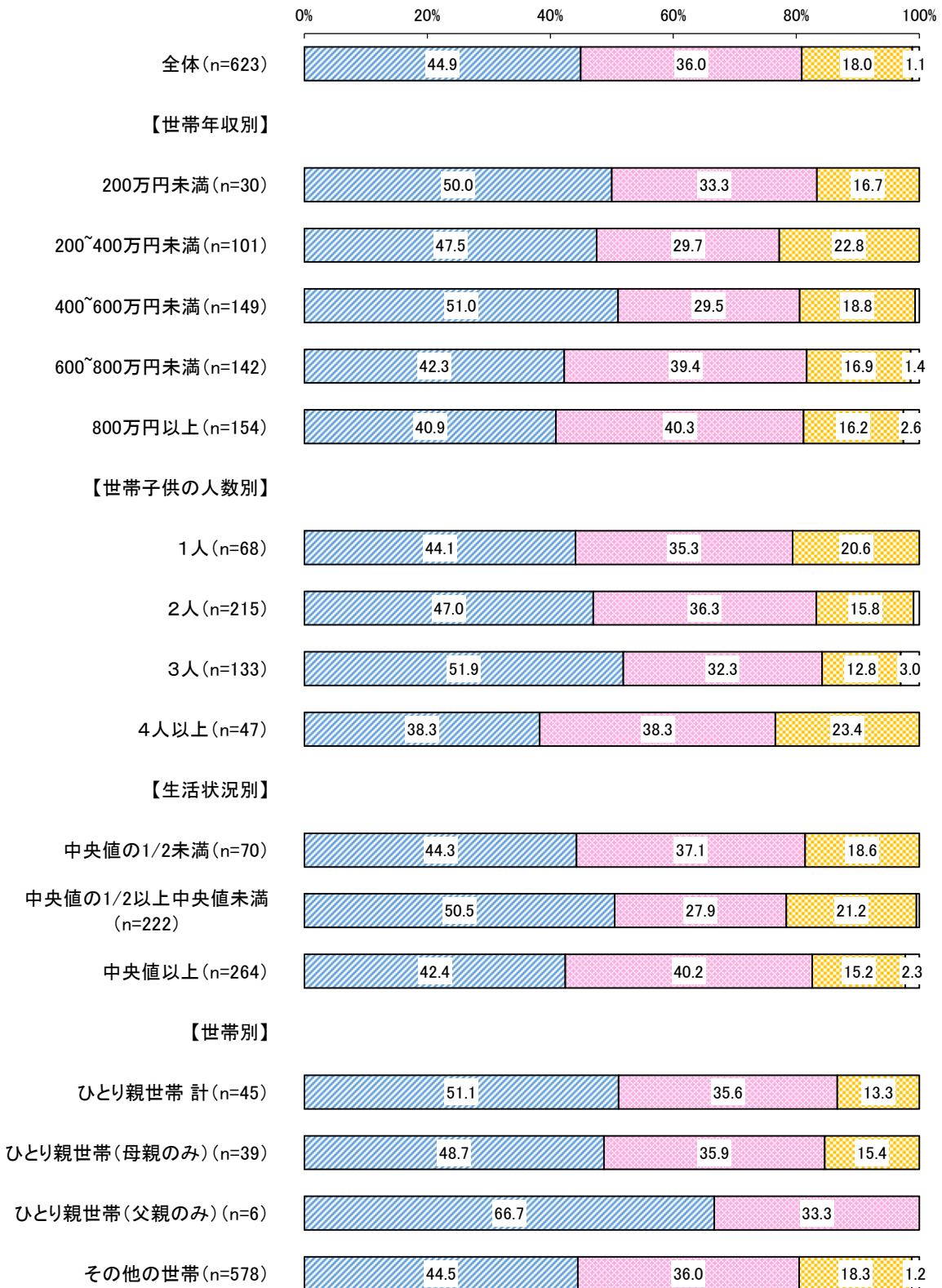
h)私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

【小学5年生】



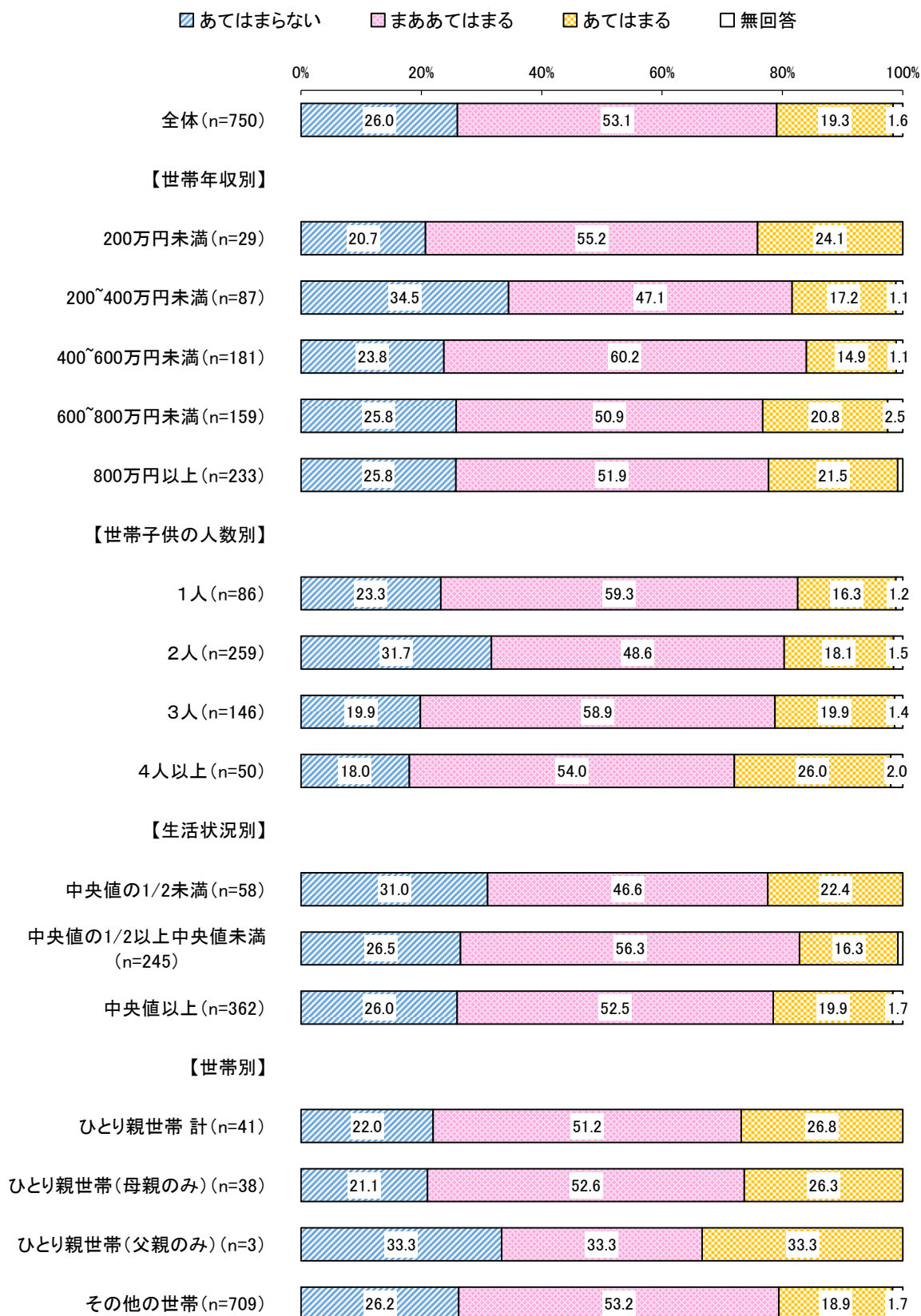
【中学2年生】

■ あてはまらない
 ■ まああてはまる
 ■ あてはまる
 □ 無回答



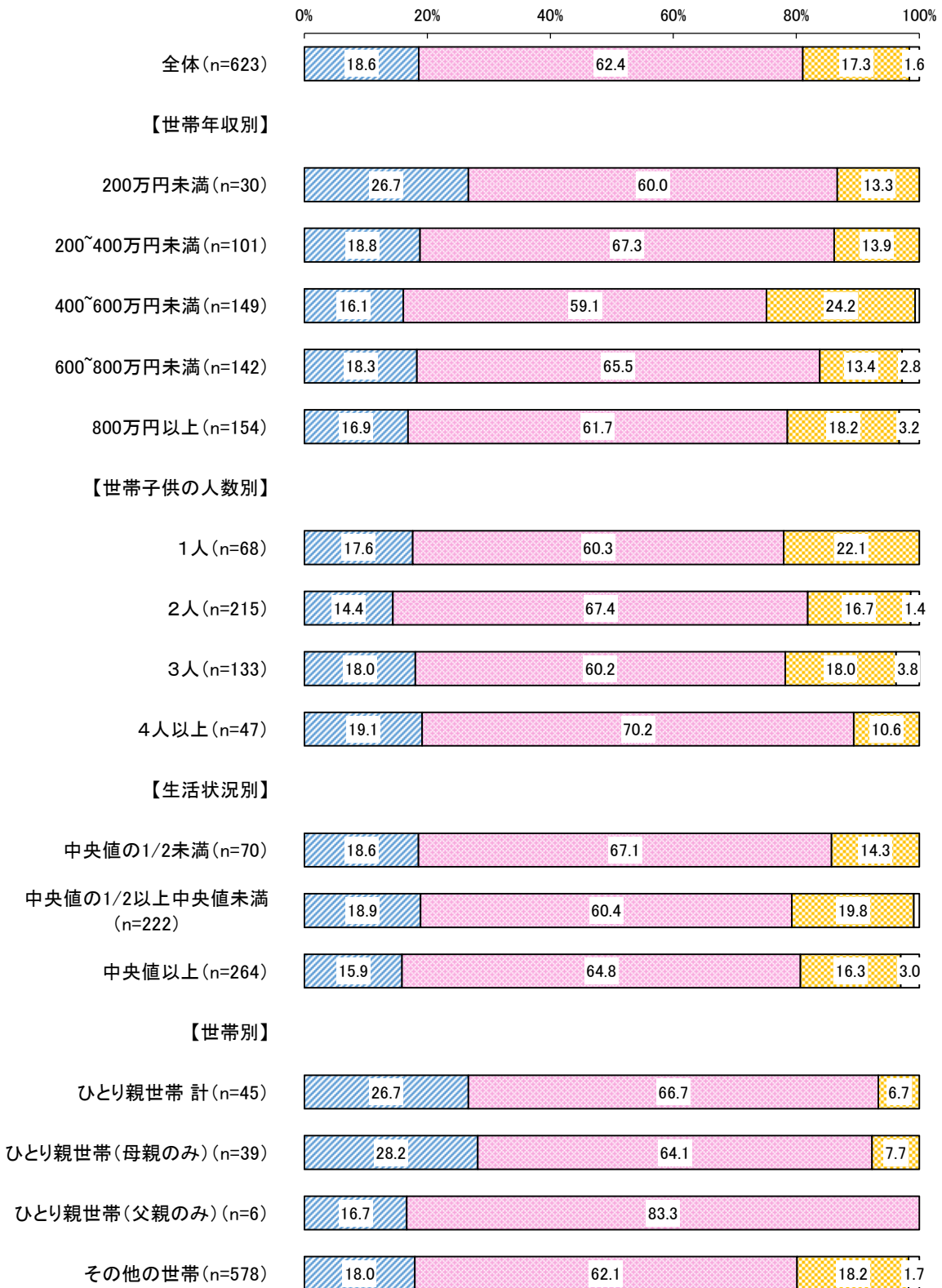
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。

【小学5年生】

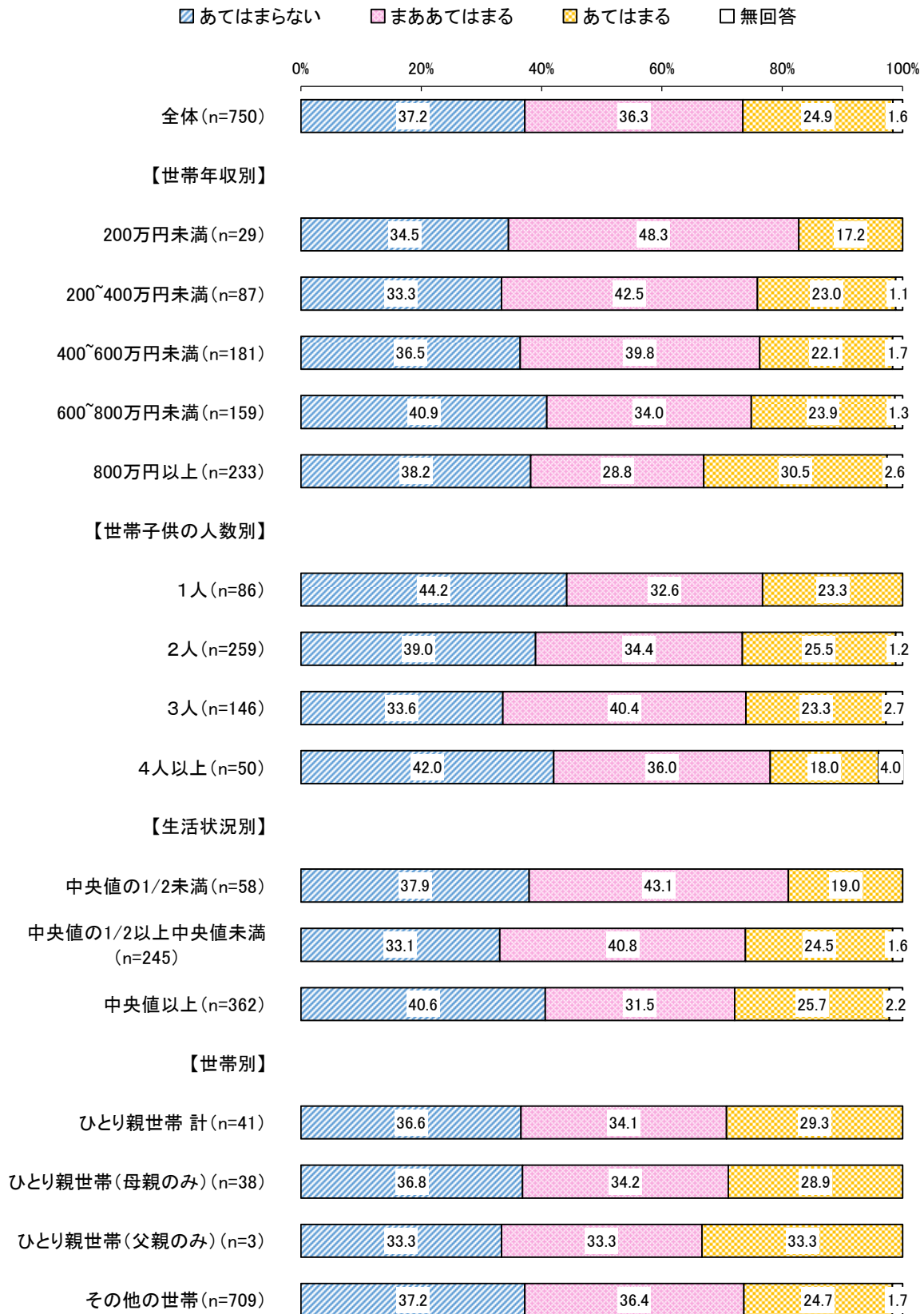


【中学2年生】

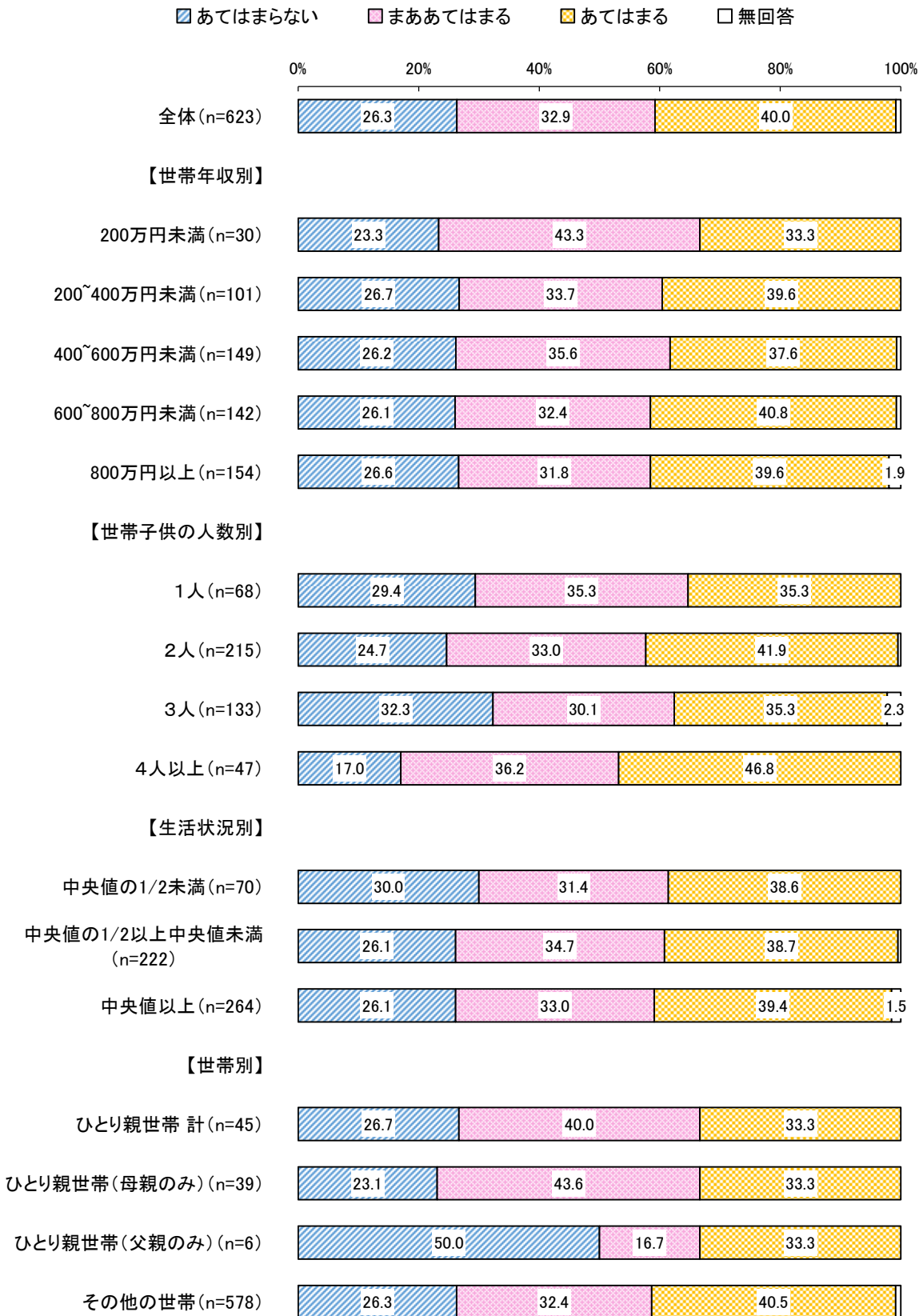
■ あてはまらない
 ■ まああてはまる
 ■ あてはまる
 □ 無回答



j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
【小学5年生】

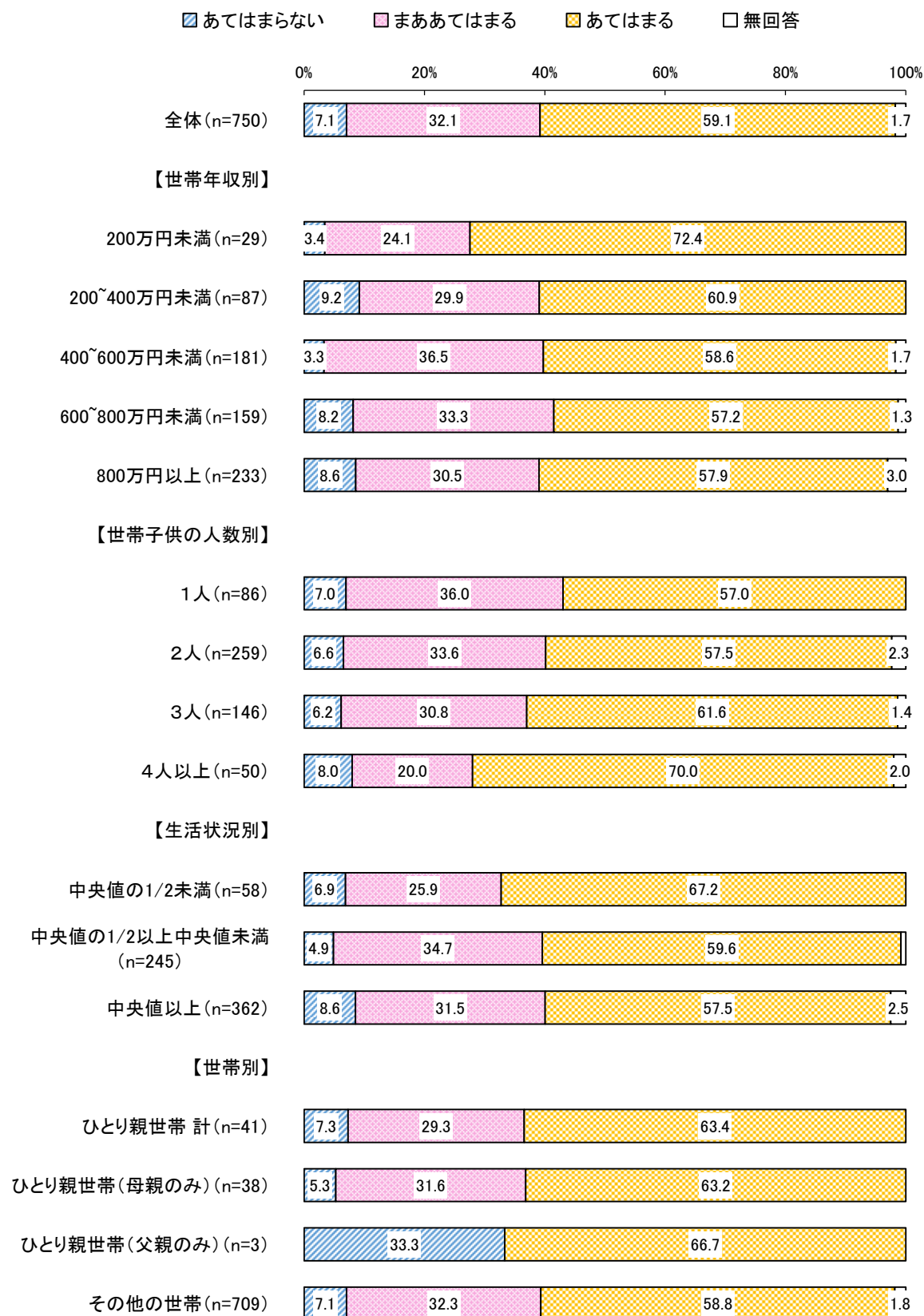


【中学2年生】



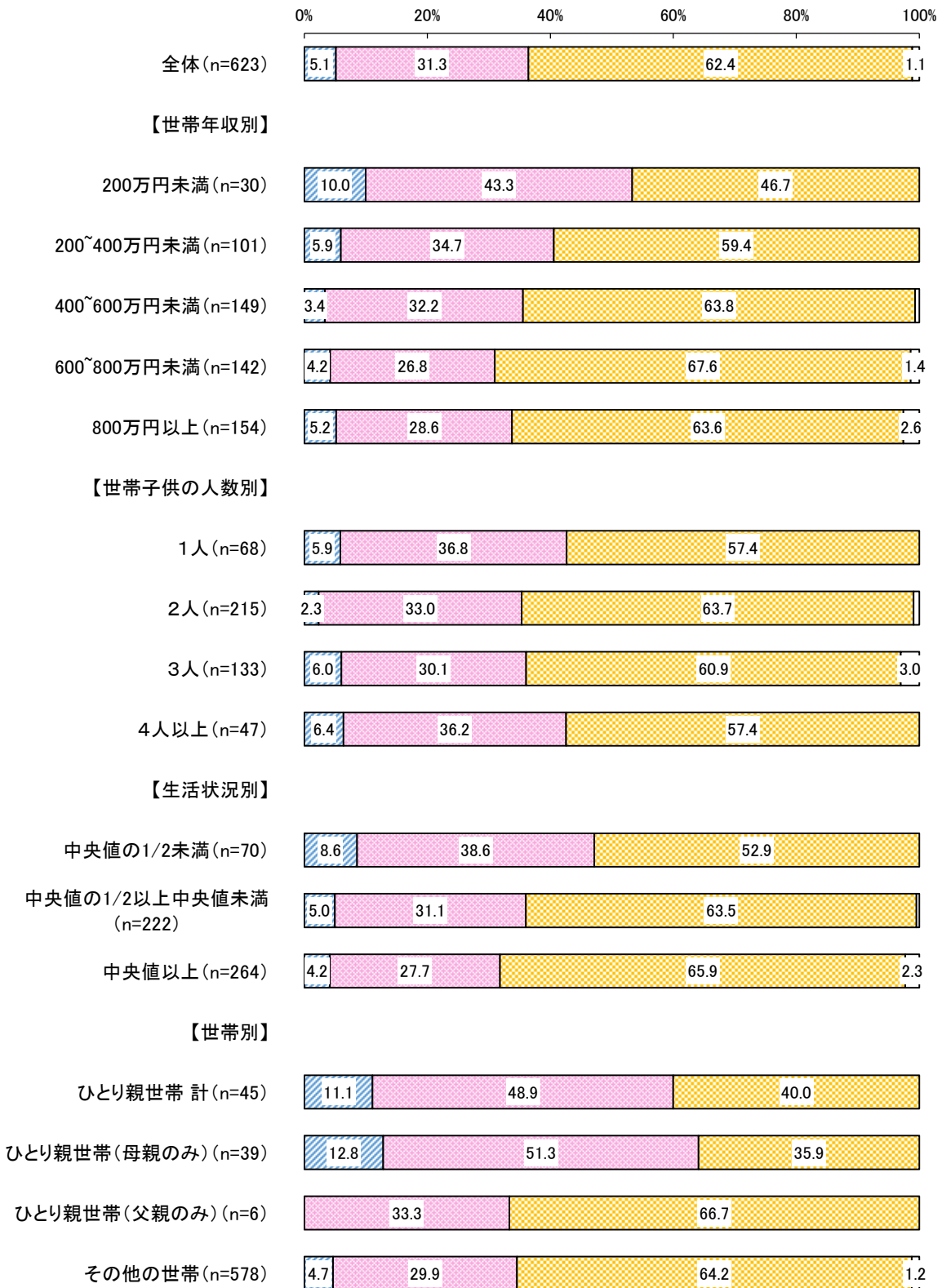
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。

【小学5年生】



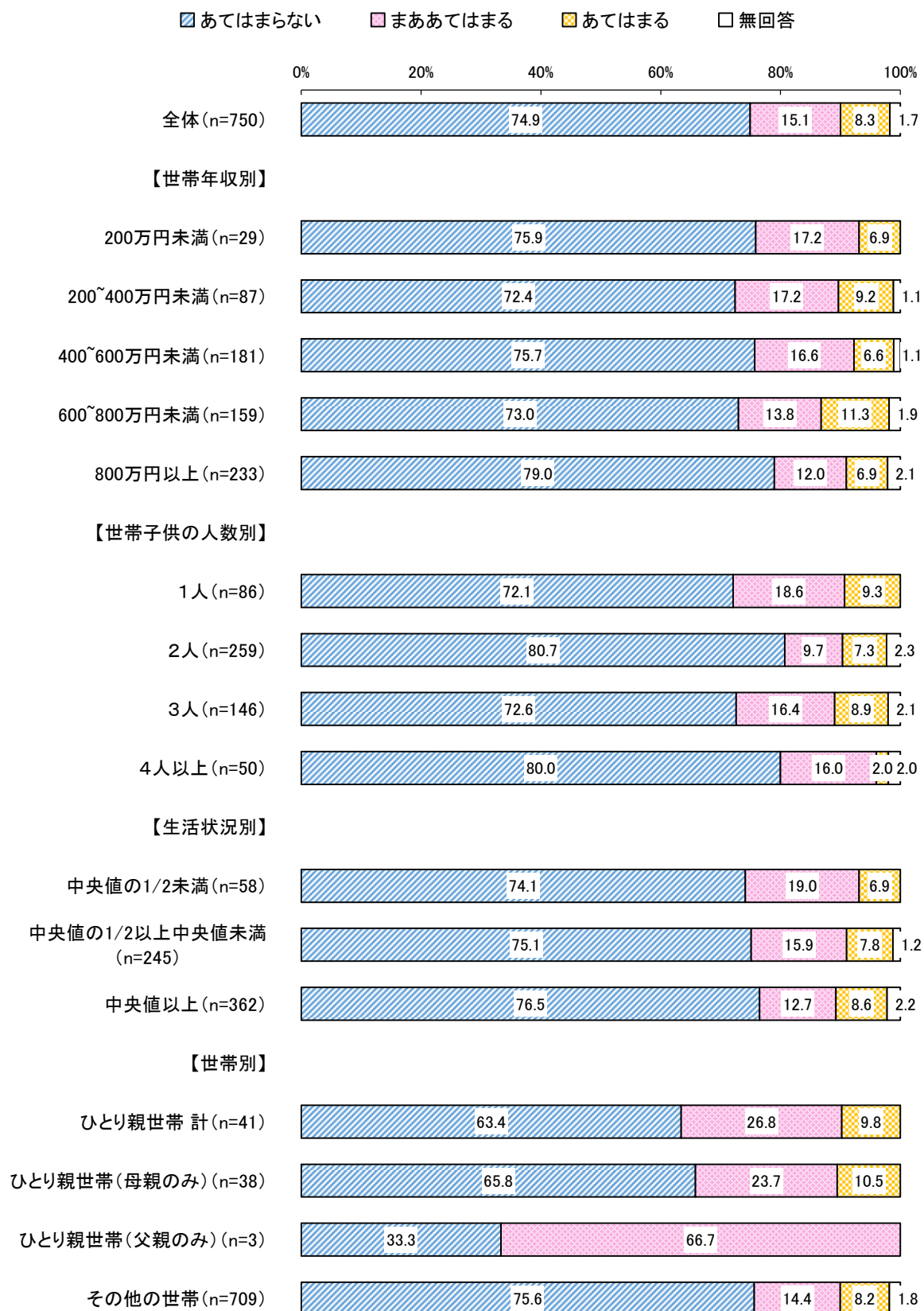
【中学2年生】

あてはまらない
 まああてはまる
 あてはまる
 無回答

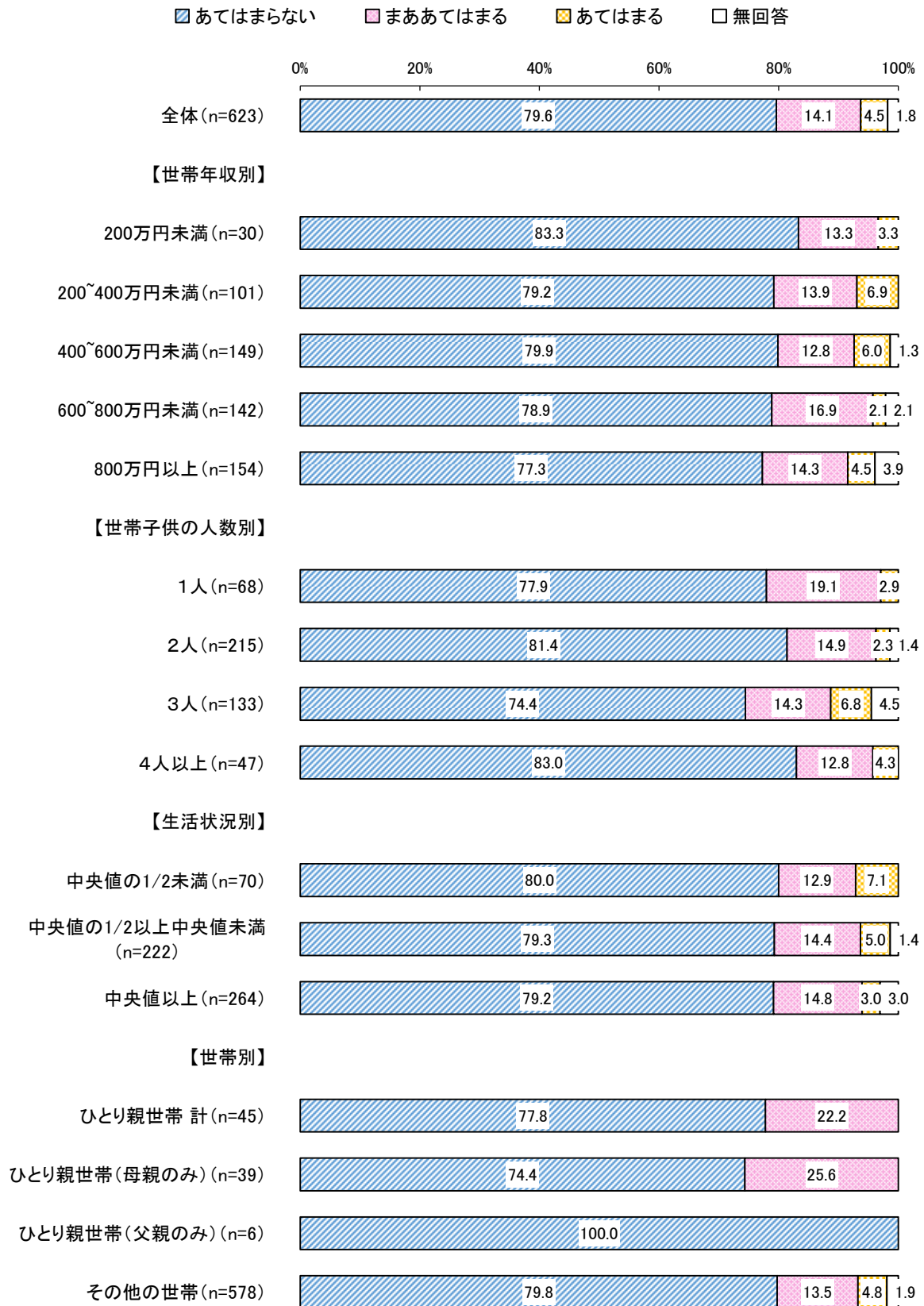


1) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。

【小学5年生】

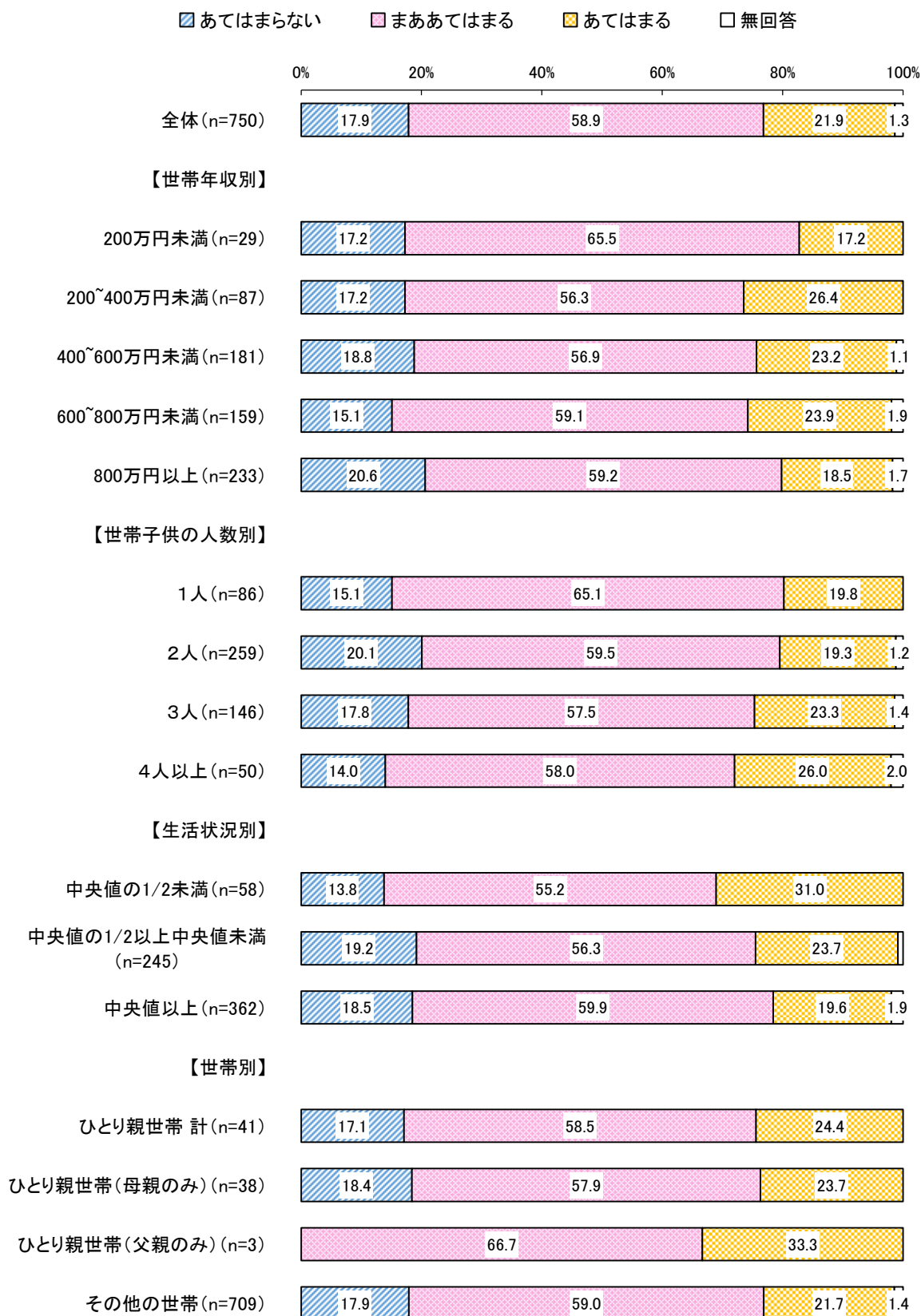


【中学2年生】



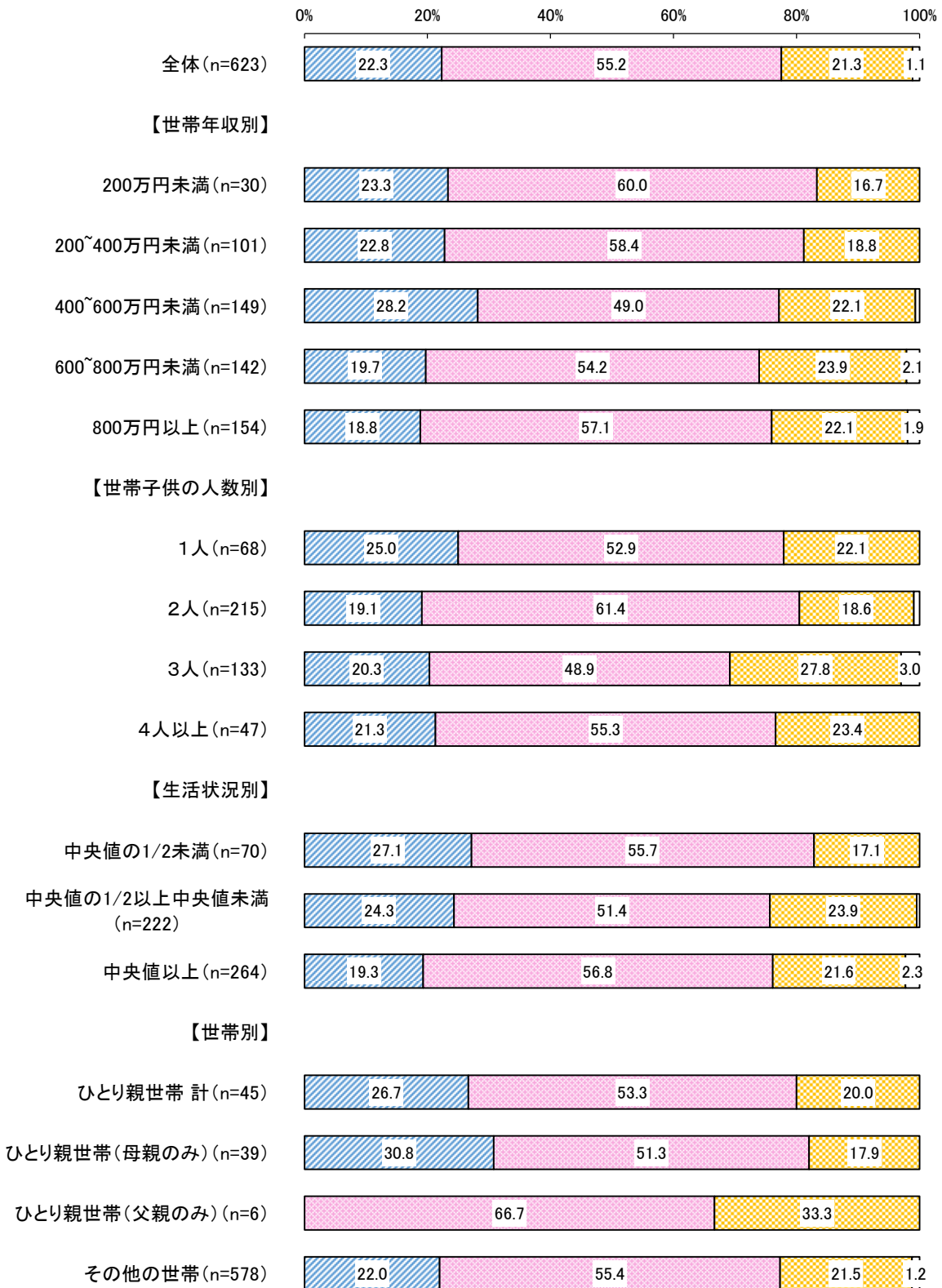
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

【小学5年生】



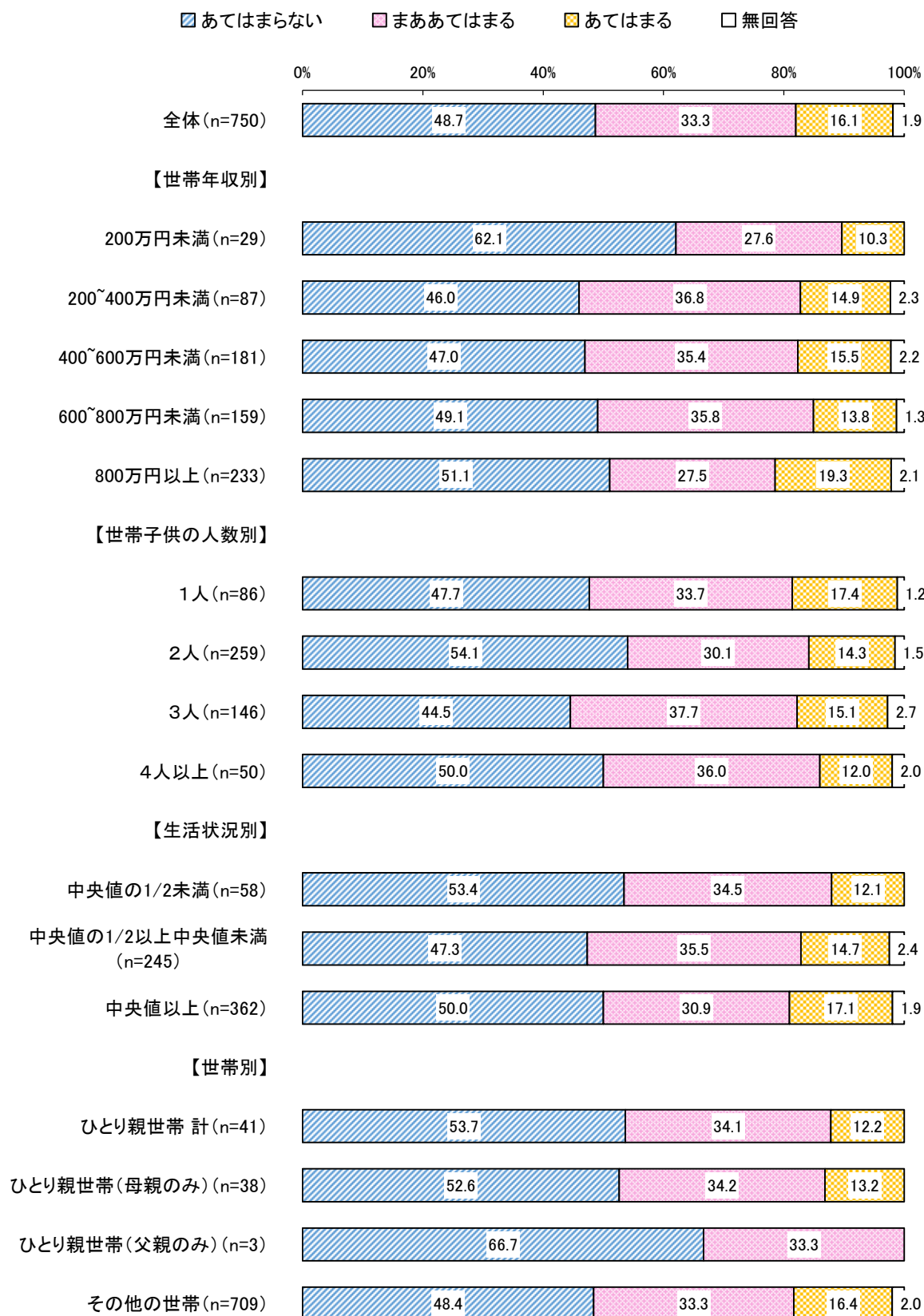
【中学2年生】

■ あてはまらない
 ■ まああてはまる
 ■ あてはまる
 □ 無回答

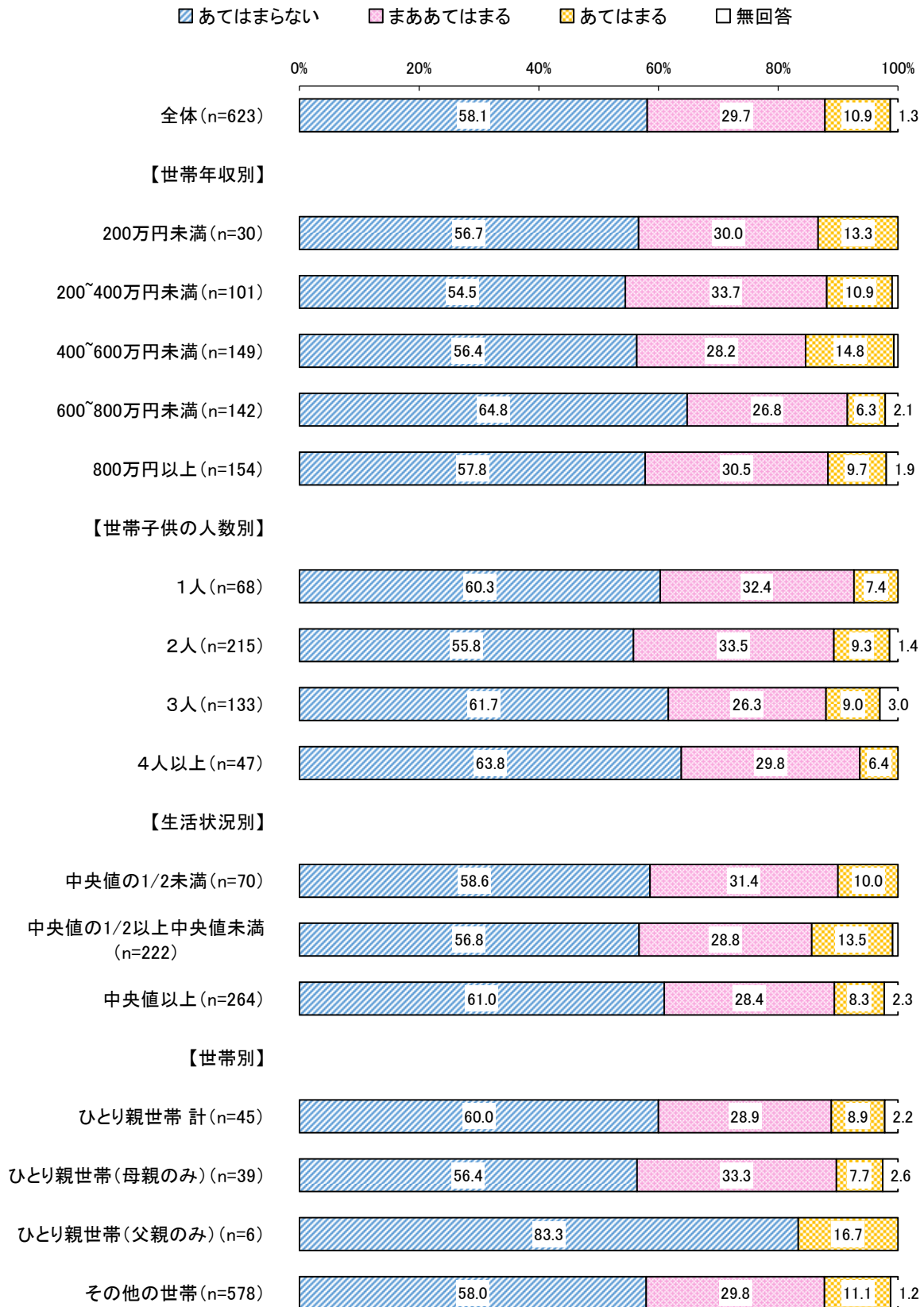


n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

【小学5年生】

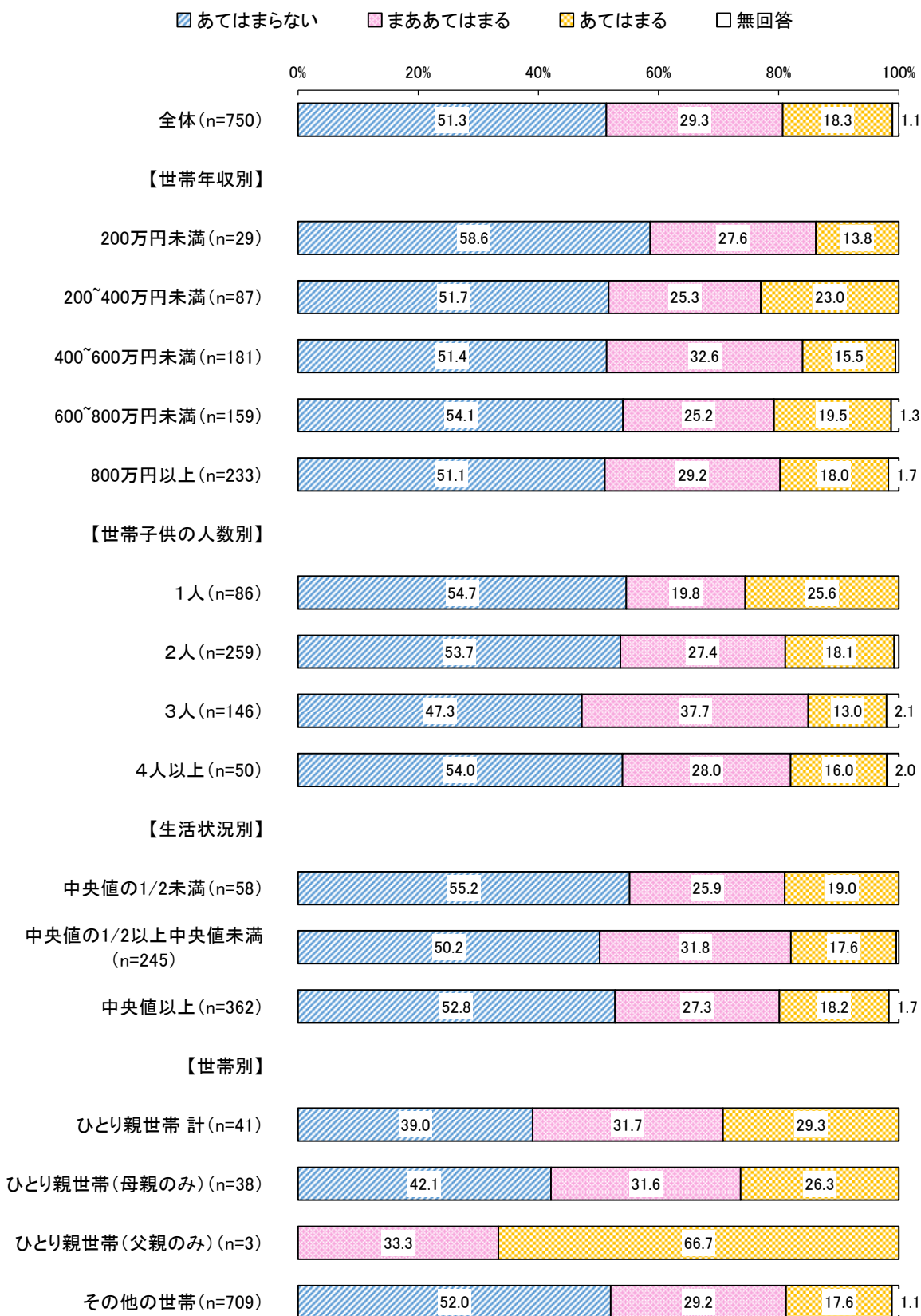


【中学2年生】

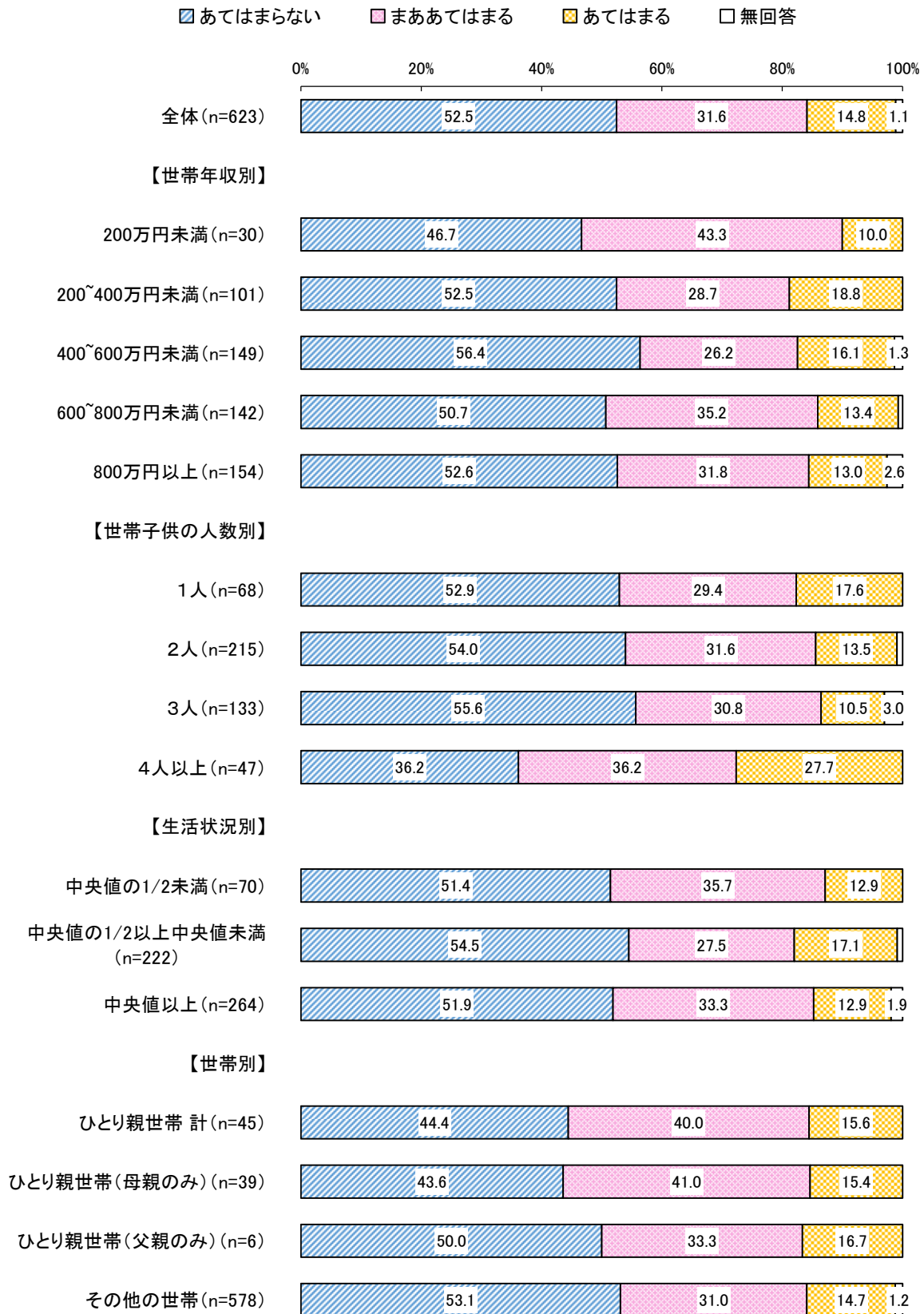


o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

【小学5年生】



【中学2年生】

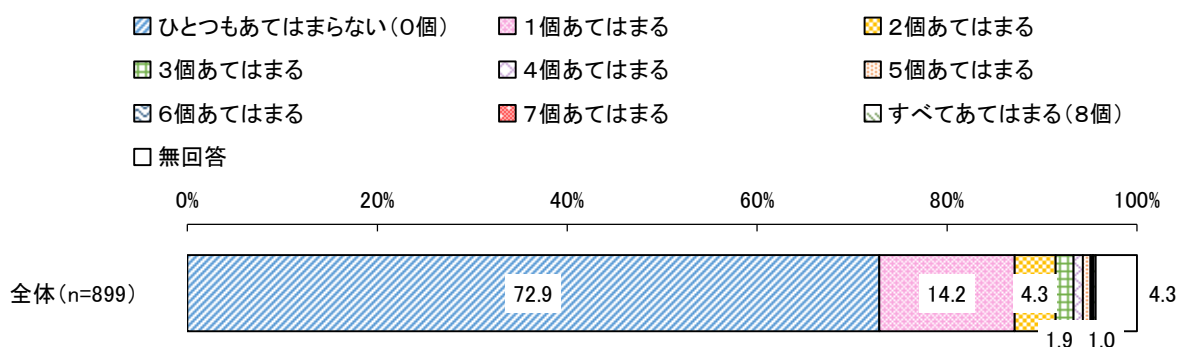


(12) 逆境経験

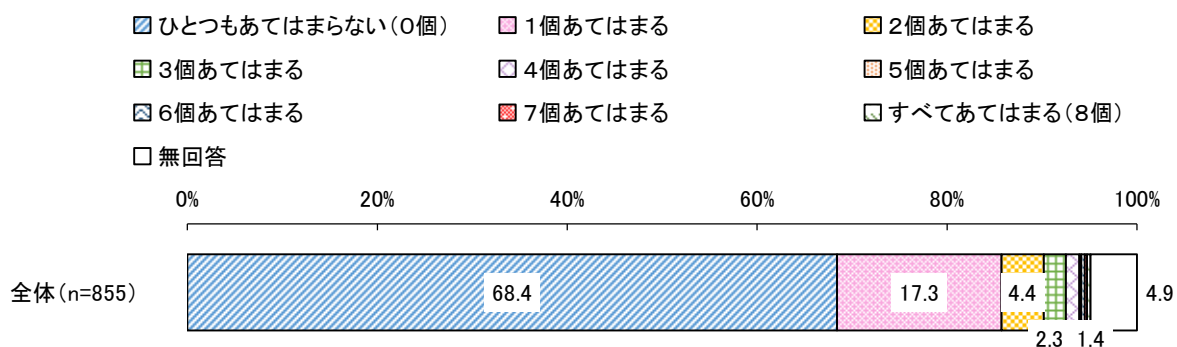
問16 あなたは今までに、以下のa~hのようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(あてはまるもの1つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

【小学5年生】



【中学2年生】



【全体】

逆境経験について、小学5年生では「ひとつもあてはまらない（0個）」（72.9%）の割合が7割強、「1個あてはまる」（14.2%）が1割強、2個以上あてはまる割合が1割弱となっている。中学2年生では「ひとつもあてはまらない（0個）」（68.4%）の割合が約7割、「1個あてはまる」（17.3%）が2割弱、2個以上あてはまる割合が約1割となっている。

【属性別】（図表Ⅱ-2-18、図表Ⅱ-2-19 参照）

世帯年収別にみると、小学5年生、中学2年生ともに世帯年収が低いほど1個以上あてはまる割合が高くなっている。

世帯子供の人数別にみると、小学5年生では大きな差はみられない。中学2年生では子供の人数が1人の世帯と4人以上の世帯で1個以上あてはまる割合が高くなっている。

生活状況別にみると、小学5年生、中学2年生ともに等価世帯収入が低いほど1個以上あてはまる割合が高い傾向にある。

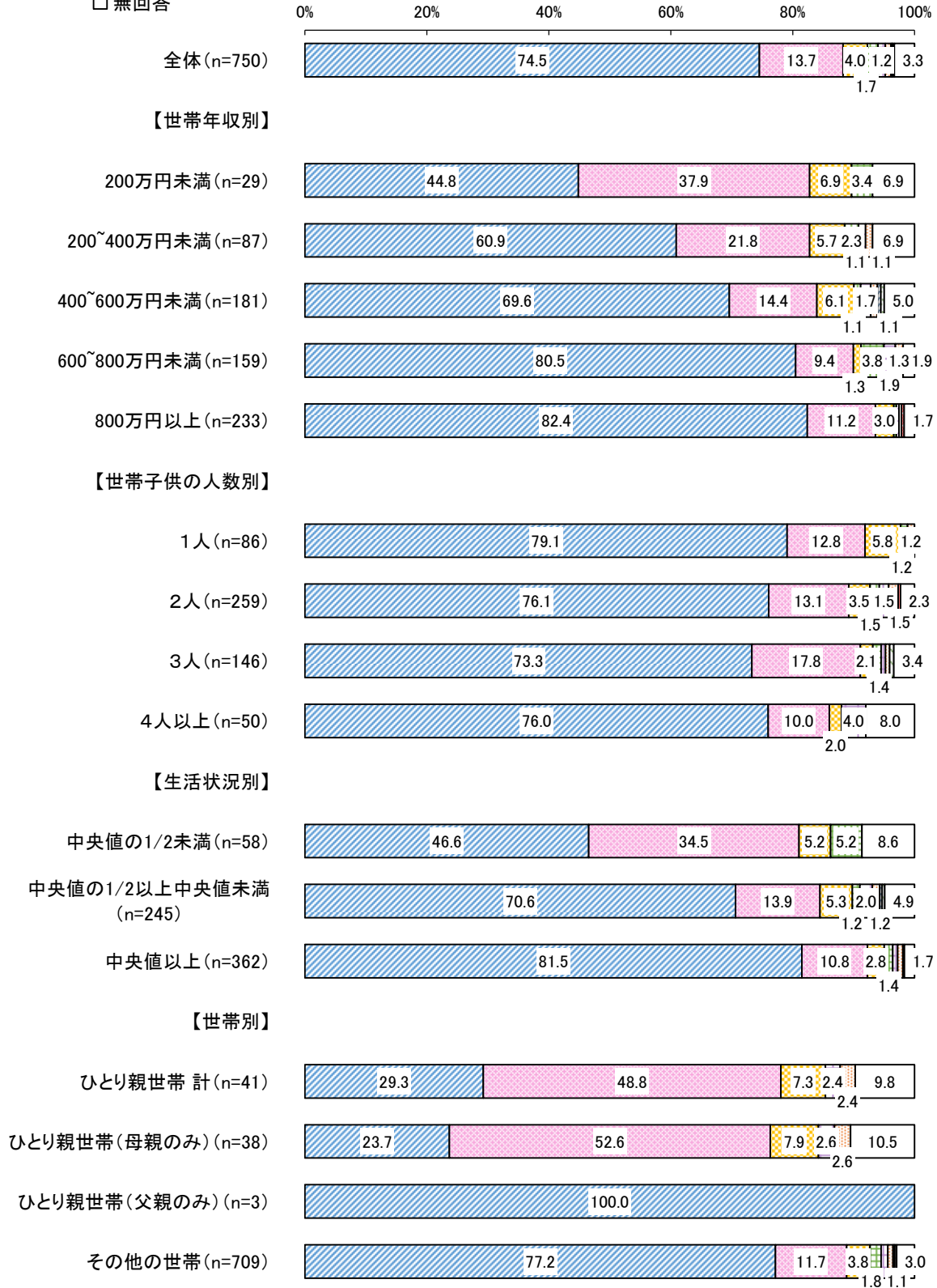
世帯別にみると、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯でその他の世帯より1個以上あてはまる割合が高くなっている。

生活の満足度との関連をみると、小学5年生、中学2年生ともに満足度が低いほど逆境経験にあてはまる割合が高くなる傾向にある。

図表Ⅱ-2-18 逆境経験 1/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】

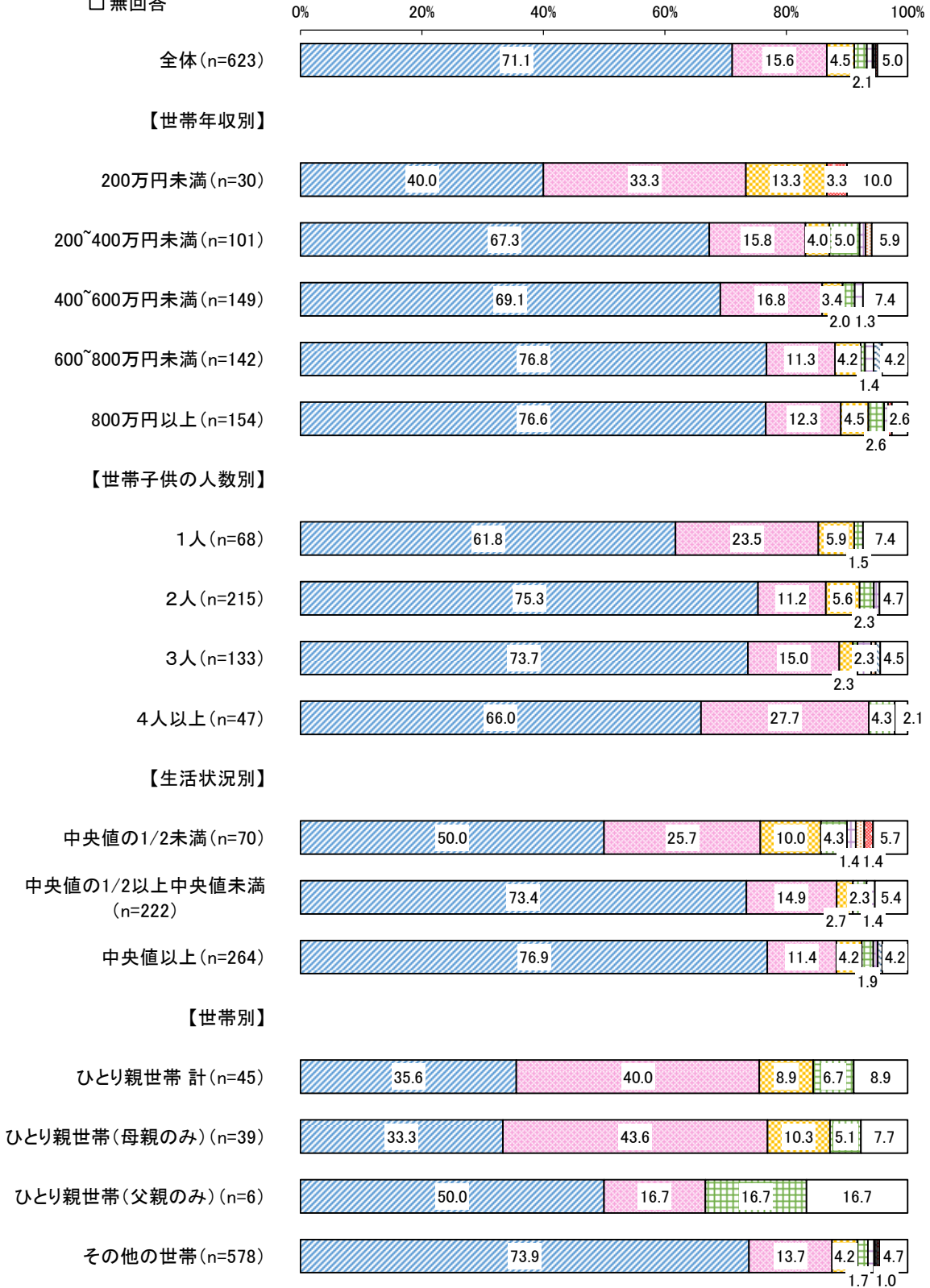
- ひとつもあてはまらない(0個)
- 1個あてはまる
- 2個あてはまる
- 3個あてはまる
- 4個あてはまる
- 5個あてはまる
- 6個あてはまる
- 7個あてはまる
- すべてあてはまる(8個)
- 無回答



図表Ⅱ-2-18 逆境経験 2/2 (世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

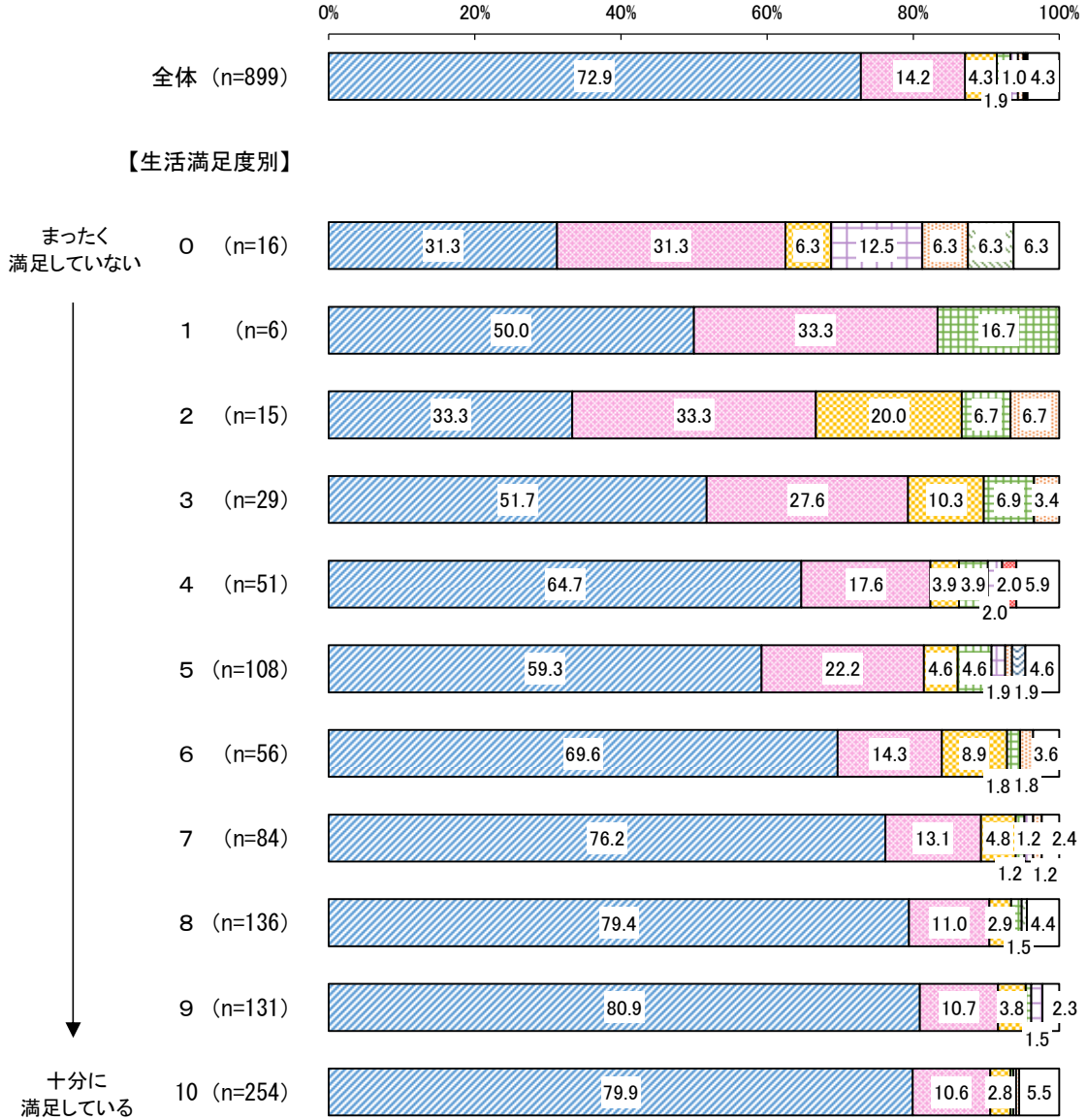
- ひとつもあてはまらない(0個)
- 1個あてはまる
- 2個あてはまる
- 3個あてはまる
- 4個あてはまる
- 5個あてはまる
- 6個あてはまる
- 7個あてはまる
- すべてあてはまる(8個)
- 無回答



図表Ⅱ-2-19 逆境経験 1/2 (生活満足度との関連)

【小学5年生】

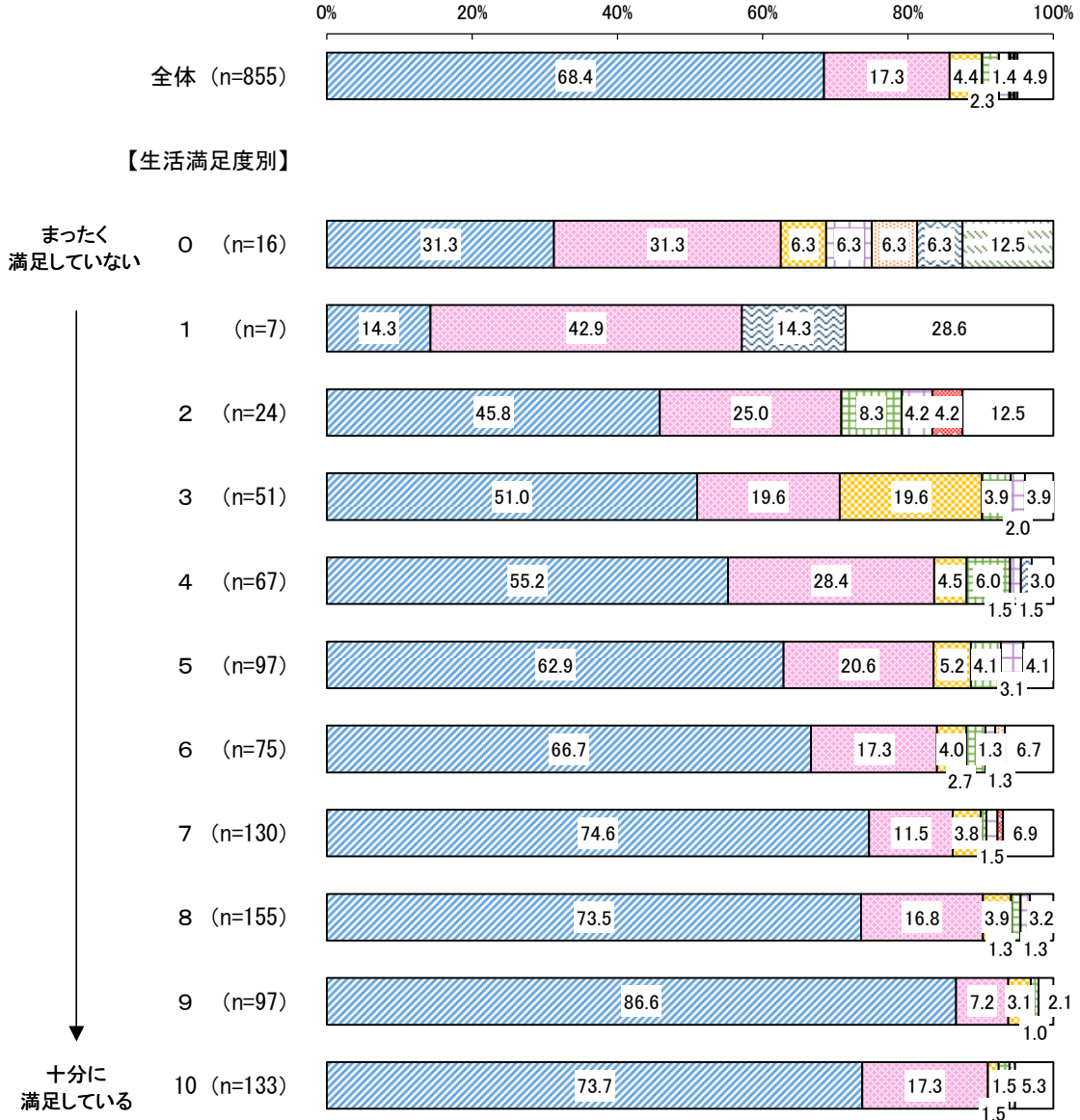
- ひとつもあてはまらない(0個) ■ 1個あてはまる ■ 2個あてはまる
- 3個あてはまる ■ 4個あてはまる ■ 5個あてはまる
- 6個あてはまる ■ 7個あてはまる ■ すべてあてはまる(8個)
- 無回答



図表Ⅱ-2-19 逆境経験 2/2 (生活満足度との関連)

【中学2年生】

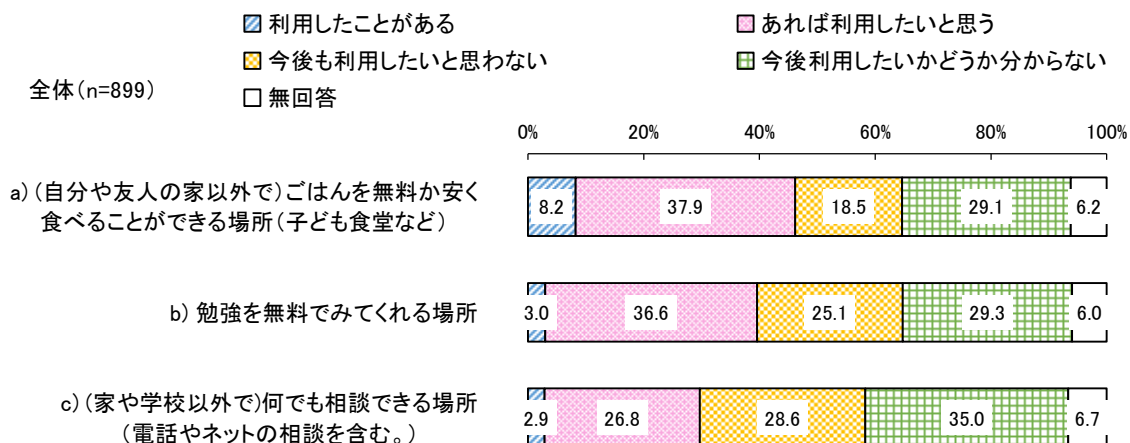
- ひとつもあてはまらない(0個) ■ 1個あてはまる ■ 2個あてはまる
- 3個あてはまる ■ 4個あてはまる ■ 5個あてはまる
- 6個あてはまる ■ 7個あてはまる ■ すべてあてはまる(8個)
- 無回答



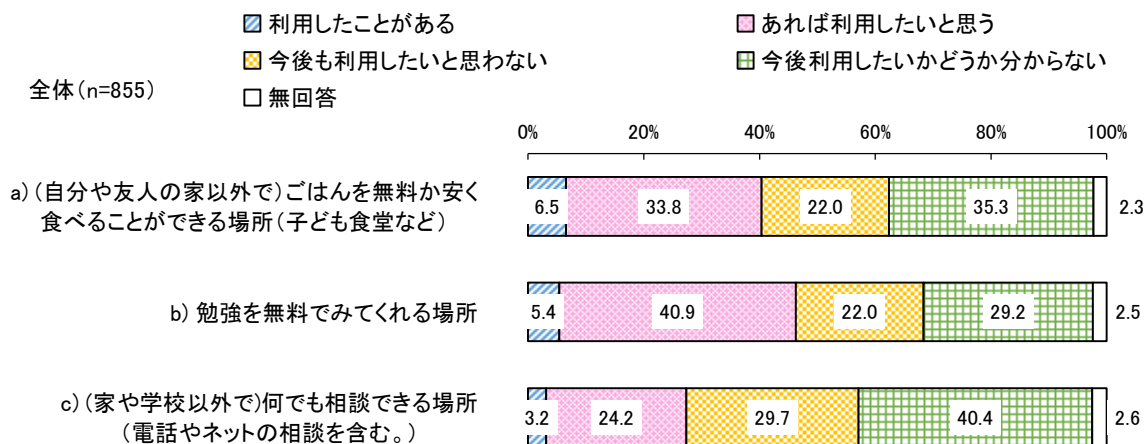
(13) 支援の利用状況

問17 あなたは、次のa~cのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【小学5年生】



【中学2年生】



【全体】

支援の利用状況について、「a) (自分や友人の家以外で) ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)」では、小学5年生で「利用したことがある」が8.2%、「あれば利用したいと思う」が37.9%、「今後も利用したいと思わない」が18.5%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.1%となっている。中学2年生で「利用したことがある」が6.5%、「あれば利用したいと思う」が33.8%、「今後も利用したいと思わない」が22.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が35.3%となっている。

「b) 勉強を無料でみてくれる場所」では、小学5年生で「利用したことがある」が3.0%、「あれば利用したいと思う」が36.6%、「今後も利用したいと思わない」が25.1%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.3%となっている。中学2年生で「利用したことがある」が5.4%、「あれば利用したいと思う」が40.9%、「今後も利用したいと思わない」が22.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.2%となっている。

「c) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)」では、小学5年生で「利用したことがある」が2.9%、「あれば利用したいと思う」が26.8%、「今後も利用したいと思わない」が28.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が35.0%となっている。中学2年生で「利用したことがある」が3.2%、「あれば利用したいと思う」が24.2%、「今後も利用したいと思わない」が29.7%、「今後利用したいかどうか分からない」が40.4%となっている。

【属性別】(図表Ⅱ-2-20 参照)

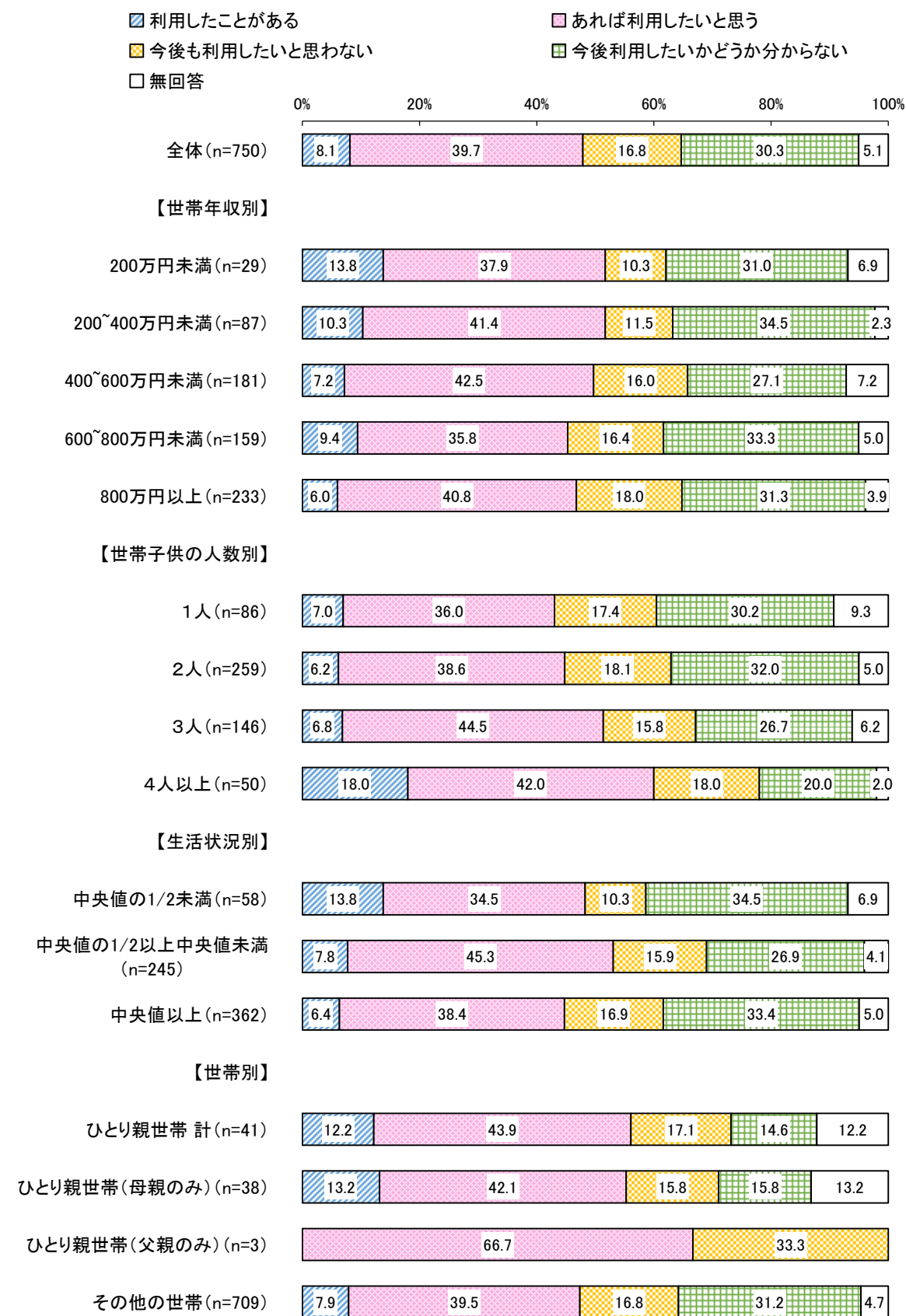
「a) (自分や友人の家以外で) ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)」では、「利用したことがある」割合は、小学5年生、中学2年生ともに、生活状況が「中央値の1/2未満」の世帯やひとり親世帯で高く、小学5年生では子供の人数が4人以上の世帯でも高くなっている。「あれば利用したいと思う」割合は、世帯子供の人数が多いほど高い傾向にある。

「b) 勉強を無料でみてくれる場所」では、「利用したことがある」割合は、中学2年生で年収が低い世帯、子供の人数が1人の世帯、生活状況が「中央値の1/2未満」の世帯、ひとり親世帯で高くなっている。「あれば利用したいと思う」割合は、世帯子供の人数が多いほど高い傾向にある。

「c) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)」では、小学5年生、中学2年生ともに、いずれの属性でもほとんど利用が見られない。中学2年生では年収が低い世帯や生活状況が「中央値の1/2未満」の世帯で「あれば利用したいと思う」割合がやや高くなっている。

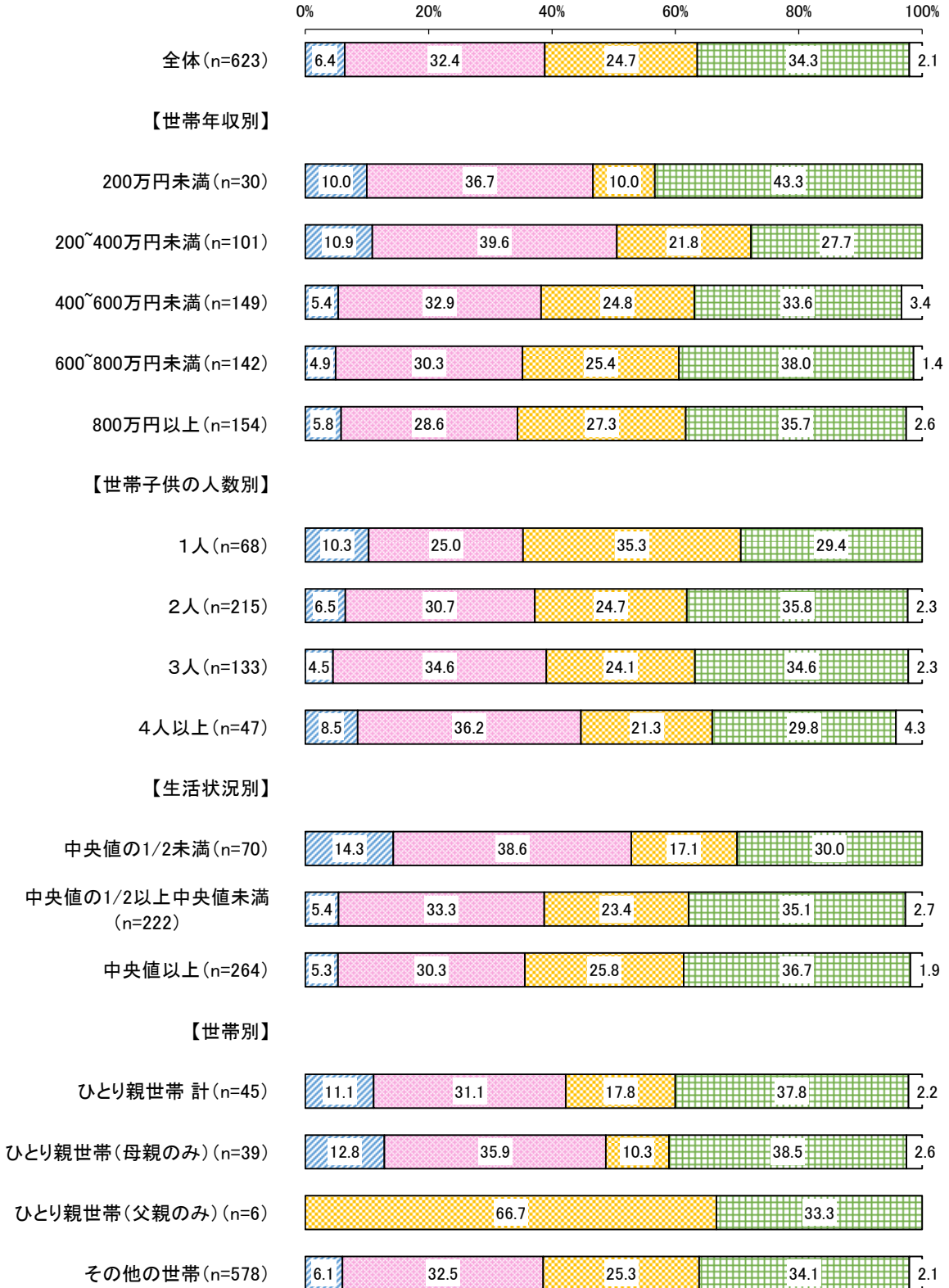
図表Ⅱ-2-20 支援の利用状況（世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別）

a)（自分や友人の家以外で）ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）
【小学5年生】



【中学2年生】

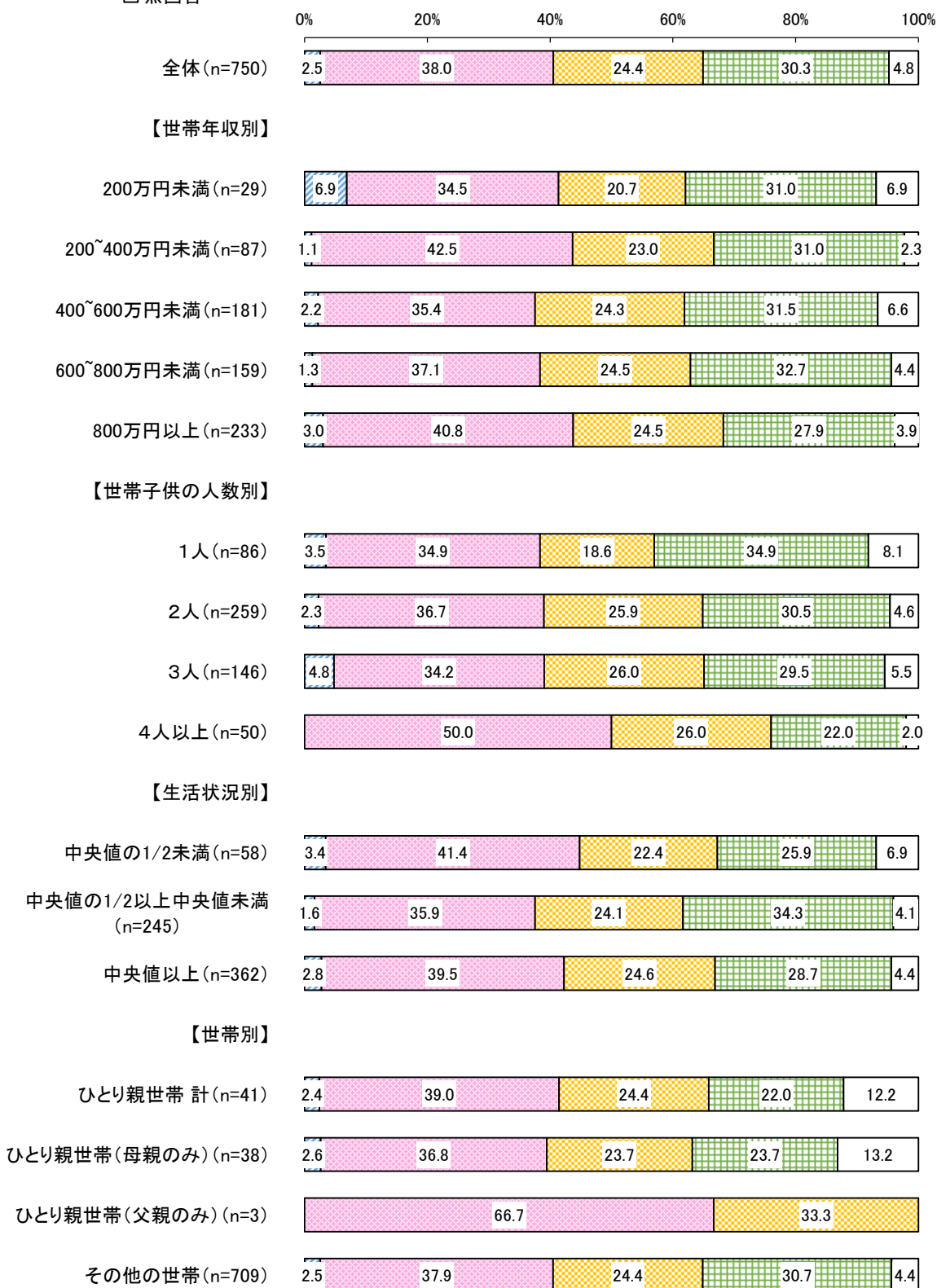
- 利用したことがある
- 今後も利用したいと思わない
- 無回答
- あれば利用したいと思う
- 今後利用したいかどうか分からない



b) 勉強を無料でみてくれる場所

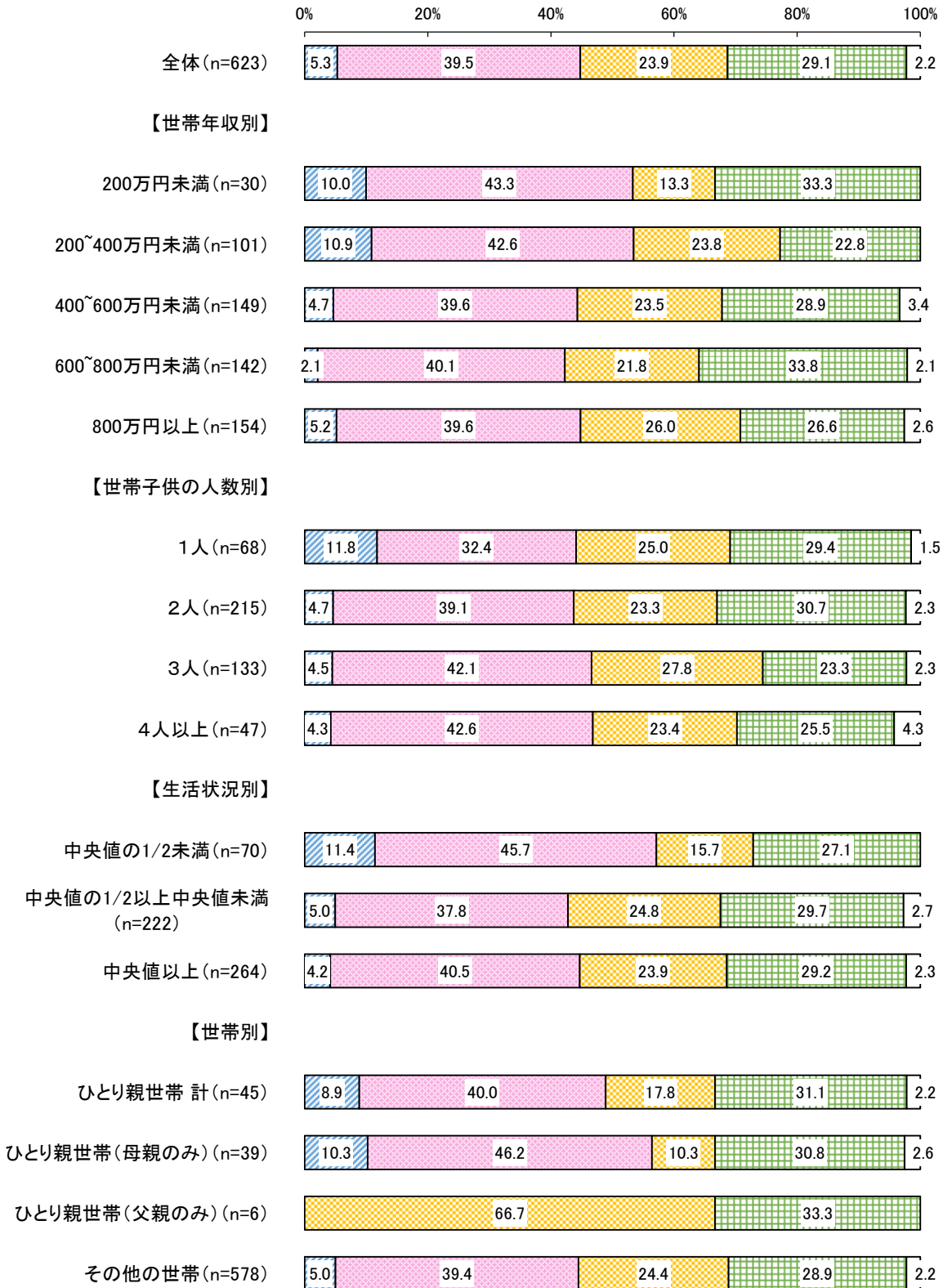
【小学5年生】

- 利用したことがある
- 今後も利用したいと思わない
- 無回答
- あれば利用したいと思う
- 今後利用したいかどうか分からない



【中学2年生】

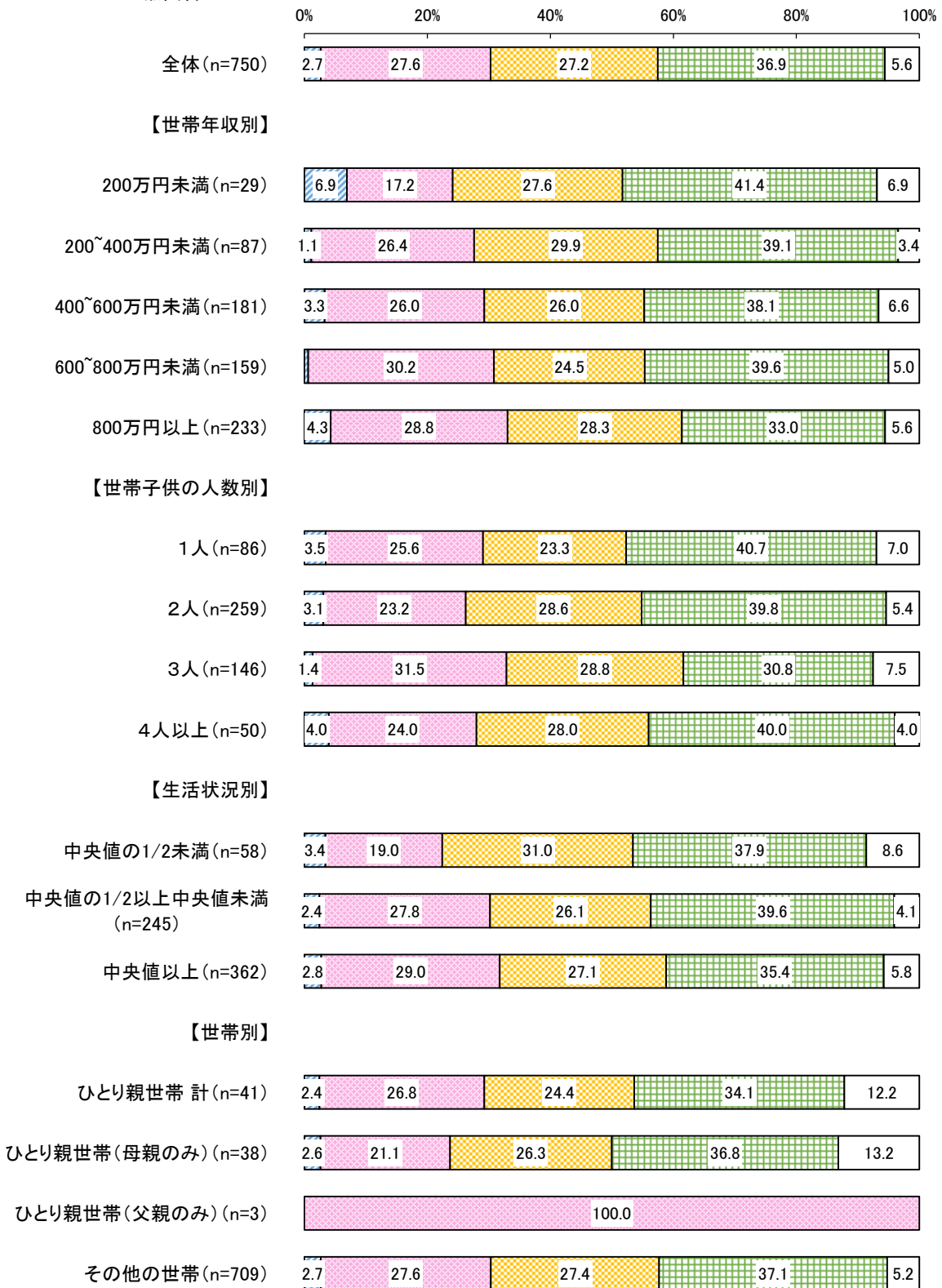
- 利用したことがある
- あれば利用したいと思う
- 今後も利用したいと思わない
- 今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



c) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)

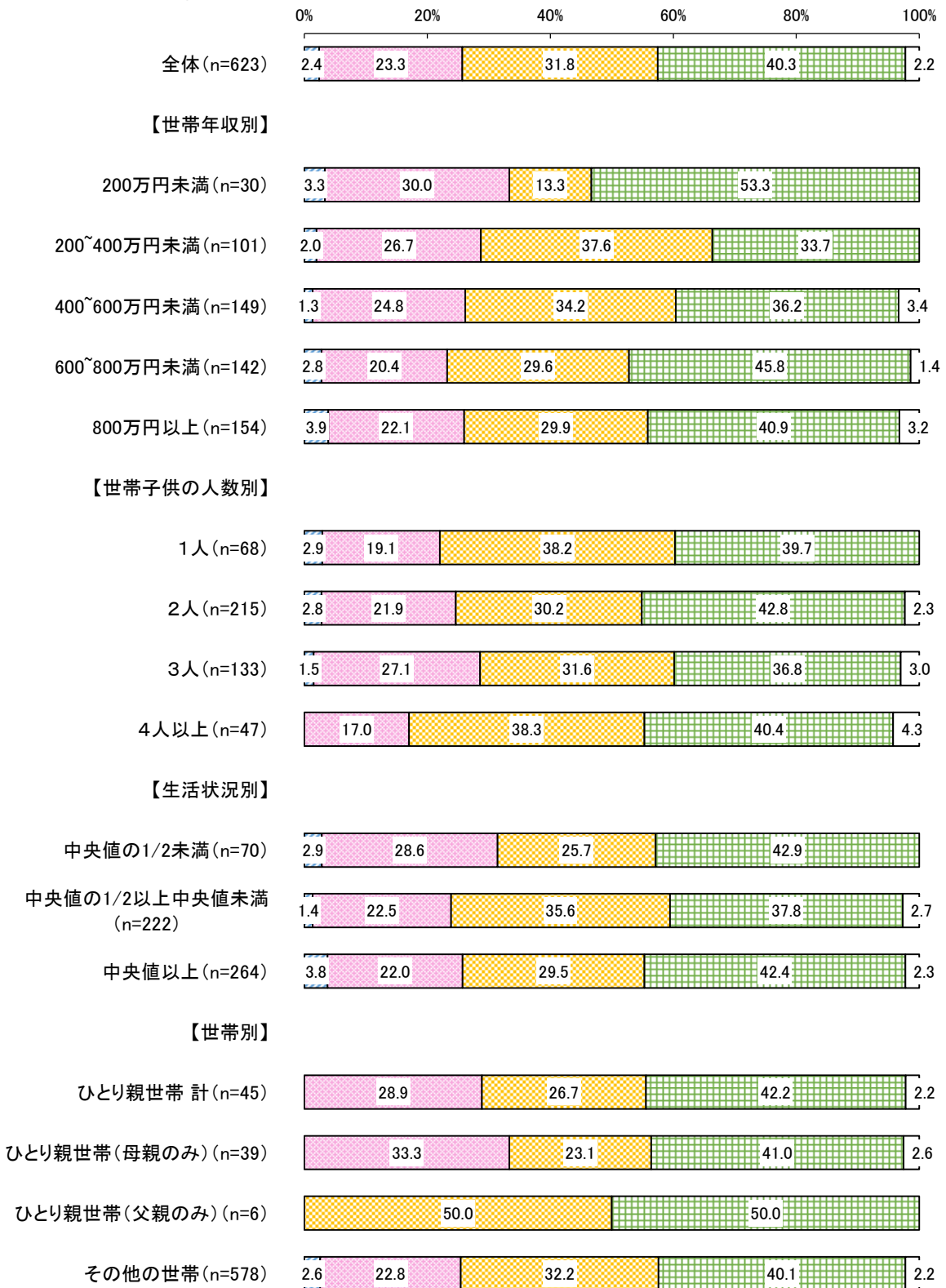
【小学5年生】

- 利用したことがある
- 今後も利用したいと思わない
- 無回答
- あれば利用したいと思う
- 今後利用したいかどうか分からない

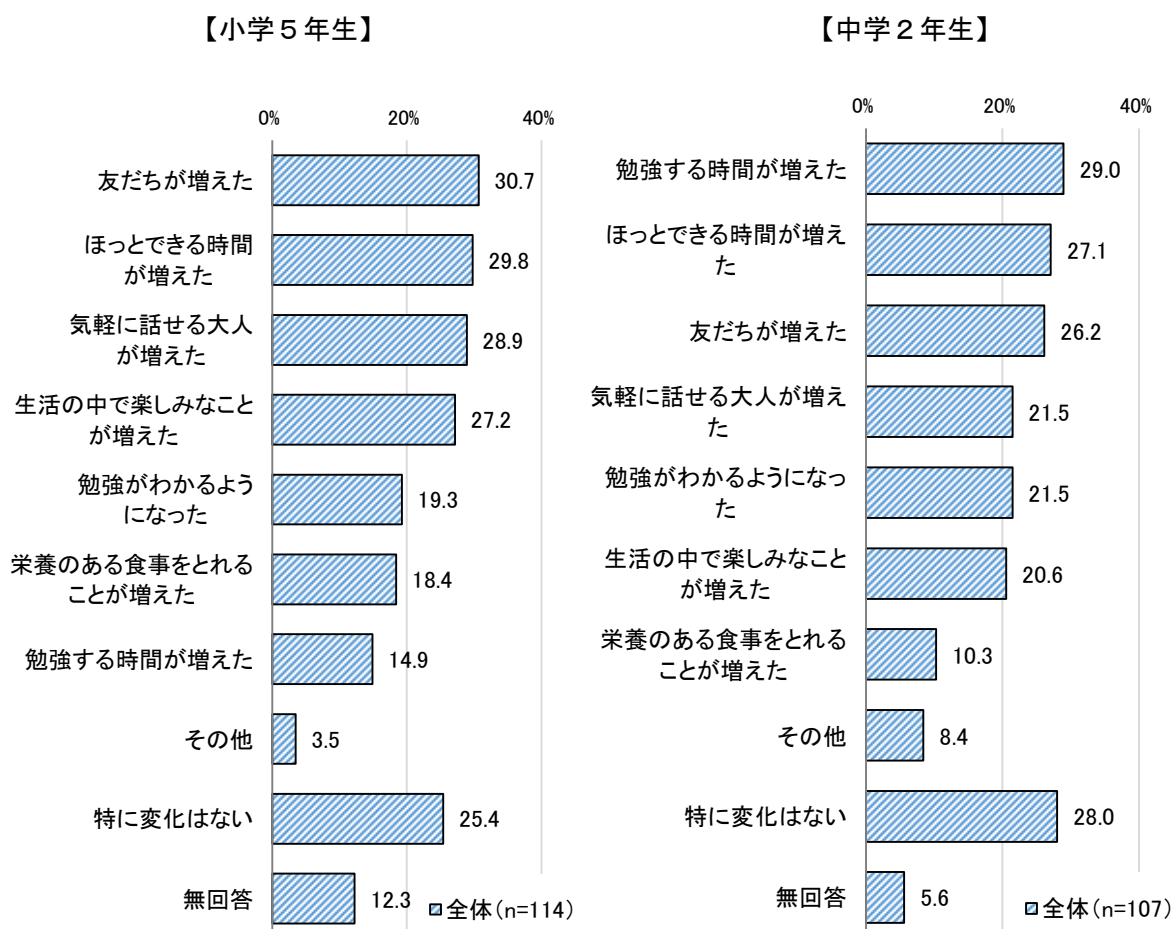


【中学2年生】

- 利用したことがある
- 今後も利用したいと思わない
- 無回答
- あれば利用したいと思う
- 今後利用したいかどうか分からない



問18 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)



【全体】

小学5年生では「友だちが増えた」(30.7%)の割合が最も高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」(29.8%)、「気軽に話せる大人が増えた」(28.9%)、「生活の中で楽しみなことが増えた」(27.2%)の順で続き、利用者の約6割が何らかの変化があったと回答している。中学2年生では「勉強する時間が増えた」(29.0%)の割合が最も高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」(27.1%)、「友だちが増えた」(26.2%)、「気軽に話せる大人が増えた」(21.5%)の順で続き、利用者の6割以上が何らかの変化があったと回答している。

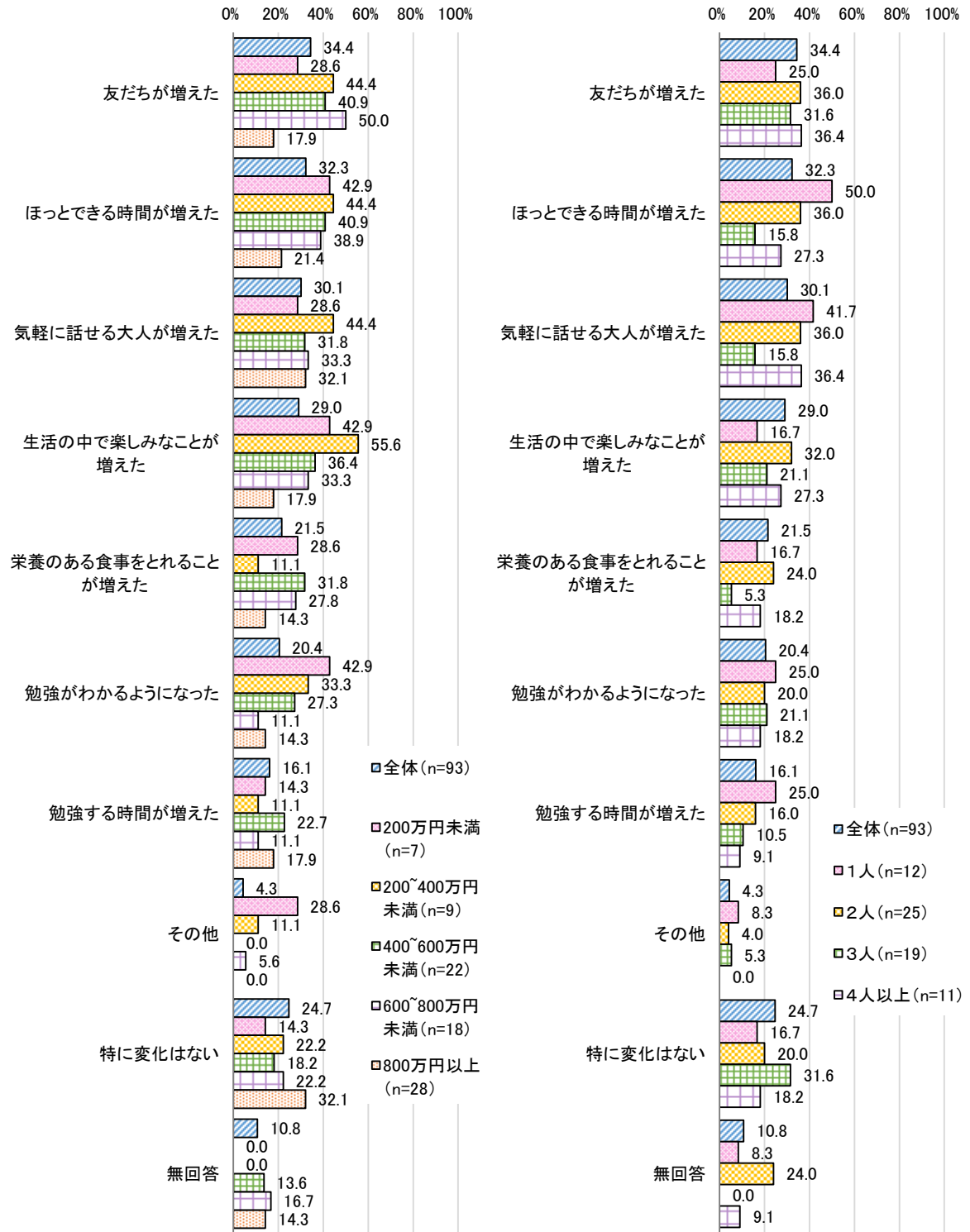
【属性別】(図表Ⅱ-2-21 参照)

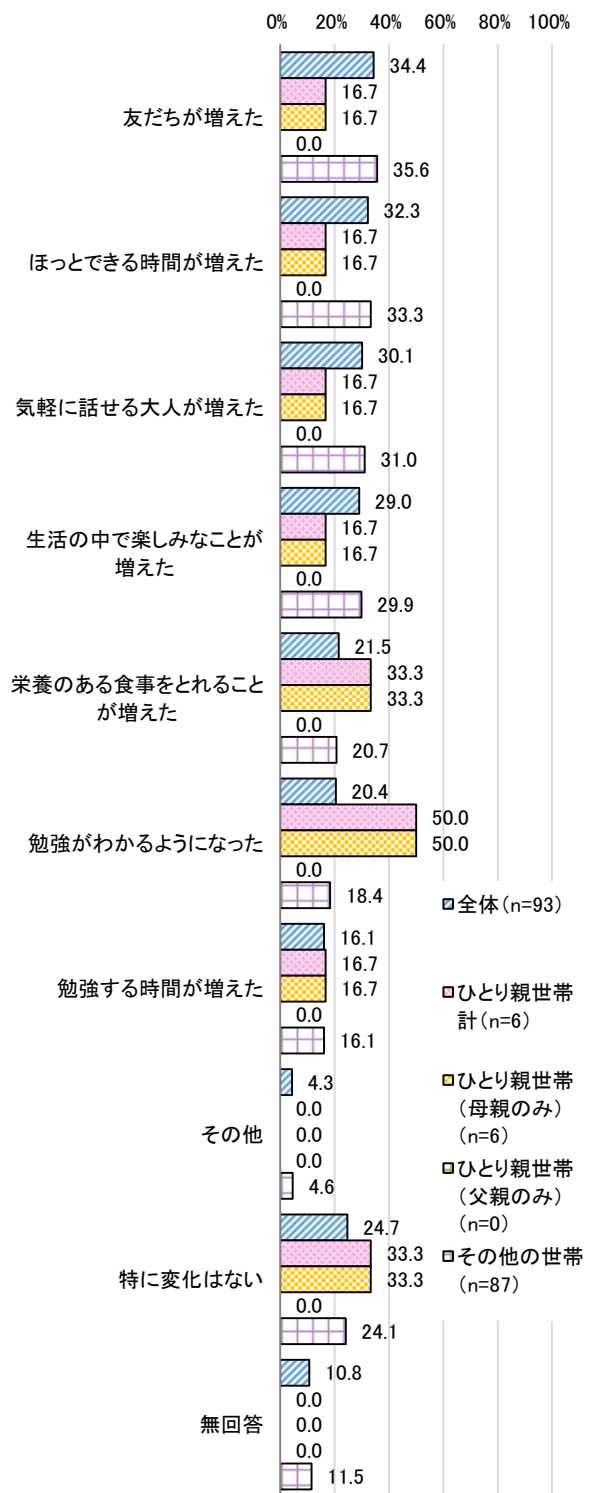
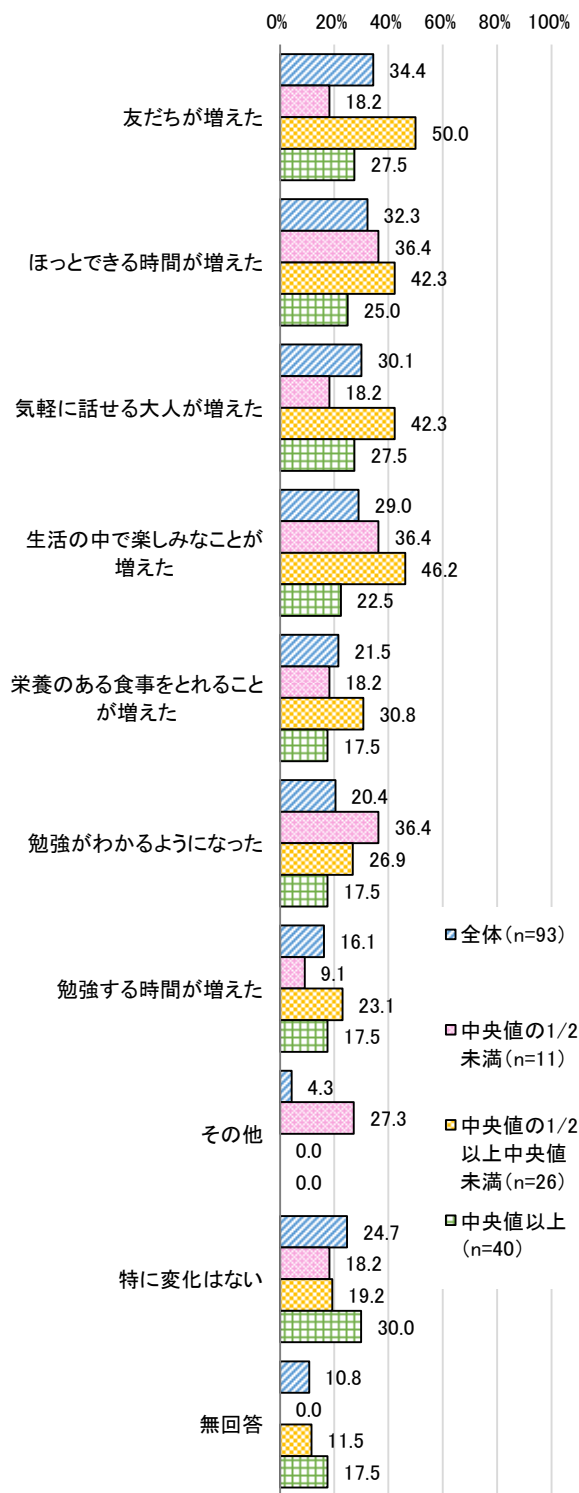
該当者数が少ないため、参考値としてグラフのみの掲載とする。

図表Ⅱ-2-21 利用したことによる変化 1/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【小学5年生】





図表Ⅱ-2-21 利用したことによる変化 2/2

(世帯年収別/世帯子供の人数別/生活状況別/世帯別)

【中学2年生】

